

0022

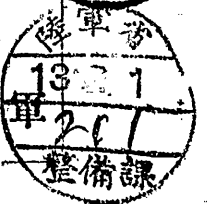
第 二 第

(裁決)行決 覽回後	長(部)局	連 帶	長(部)局	決行指定	決裁指定	保存期限	受 審	件 名
							領 號	野 戰 瓦 斯 隊 教 練 關 係 訓 令 件
長 課	長 課	長 課	長 課	官 次 官 次 務 政	官 次 官 次 務 政	官 次 官 次 務 政	密 受 第 一 八 四 八 號	起 元 龜 (課 名)
長 課	長 課	長 課	長 課	長 課 務 主 官 副 官 主 務 書記 官	長 課 務 主 官 副 官 主 務 書記 官	長 課 務 主 官 副 官 主 務 書記 官	教 育 總 監 部	筆 記 者
昭 和 年	昭 和 年	昭 和 十 三 年	昭 和 十 三 年	昭 和 十 三 年	昭 和 十 三 年	昭 和 十 三 年	昭 和 十 三 年	昭 和 十 三 年
三 月 六 日	三 月 六 日	十 二 月 十 一 日	十 一 月 廿 六 日	三 月 廿 七 日	三 月 廿 七 日	三 月 廿 七 日	三 月 廿 七 日	三 月 廿 七 日

政務官 (執行前)

政務官 (執行後)

筆記者



0023

大臣ヨリ教育總監へ回答案

十一月廿六日附教密第二六〇號照會ニ係ル首題ノ件
異存無之

陸密

陸密第一七二〇

昭和十三年十二月十二日





教密第一一六六號

野戰瓦斯隊教練ニ關スル訓令ノ件照會

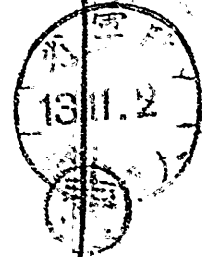
昭和十三年十一月廿六日

教育總監 西尾壽

陸軍大臣板垣征四郎殿

首題ノ件ニ關シ別冊ノ通訓令致度

追而異存無クハ 上開ニ達スベク申添フ



陸



野戦瓦斯隊教練規定編纂一般ノ要領

野戦瓦斯隊ノ編成ニ伴ヒ速カニ用□兩種瓦斯隊竝ニ野戦瓦斯小隊ニ訓練ノ準備ヲ與ヘ此等諸隊ノ特性ヲ遺憾ナク發揮セシムル爲必要ナル諸法則及諸制式ヲ定メタリ

一、野戦瓦斯隊(用)ハ撤毒又ハ消毒ニ任ジ野戦瓦斯隊(用)ハ主トシテ撤毒ニ所要ニ應ジ消毒ニ任ジ野戦瓦斯小隊ハ専ラ消毒ニ任ズルコトヲ基礎トシテ記述セリ

註 野戦瓦斯隊(用)ハ自動車編制ニシテ優秀ナル撤毒能力、運動力及装甲威力ニ依リ撤毒又ハ消毒ニ任ズ

野戦瓦斯隊(用)ハ駄馬編制ニシテ手撤(消)ニ依リ地形、時期ノ如何ニ關セズ撤毒時トシテ消毒ニ任ズ

野戰瓦斯小隊ハ鞍馬又ハ歐馬編制ニシテ手消ニ依リ消毒ニ任

ズ

ニ本規定ハ之ヲ第一部及第二部ニ區分ス

第一部ニ於テハ野戰瓦斯隊用及乙並ニ野戰瓦斯小隊ニ關スル諸制式
及諸法則ヲ記述ス

第二部ニ於テハ撤（消）毒ニ關スル戰術指揮ノ要領ニ關シ記述ス

三、第一部ニ於テハ左記事項ヲ明確ナラシム

1. 野戰瓦斯隊用ノ撤毒ハ左ノ要領ニ依ル

イ、中隊ノ撤毒ヲ一齊ニ行フベキヤ或ハ各小隊毎ニ撤毒地域ヲ配

當シテ行フベキヤハ狀況ニ依ルモノトシ此等ノ場合ニ應ズル必

要ナル事項ヲ記述ス

ロ、小隊ノ撤毒ハ一齊ニ行フヲ通常トシ主トシテ之ニ必要ナル事項ヲ記述シ狀況ニ依リ各分隊ニ撤毒區域ヲ配當シテ作業セシムル場合ヲ認メ所要ノ事項ヲ記述ス

2 野戰瓦斯隊用ノ消毒ハ左ノ要領ニ依ル

イ、中隊ノ消毒ハ通常小隊毎ニ消毒區域ヲ配當シテ行フモノトシ狀況ニ依リ各小隊ニ協力部隊ヲ指定シ若クハ中隊長直接之ヲ指揮シテ作業スル場合アルヲ認メ此等ニ必要ナル事項ヲ記述ス

ロ、小隊ノ消毒ハ小隊長直接指揮ノ下ニ行フモノトシ狀況ニ依リテハ各分隊ニ消毒スベキ位置ヲ示シ若クハ消毒區域ヲ配當シテ作業セシムルコトアルヲ認メ此等ノ場合ニ應ズル必要ナル事項ヲ記述ス

3 野戰瓦斯隊(乙)ノ撤毒ハ左ノ要領ニ依ル

イ、手撤部隊ノ特性上小(分)隊毎ニ撤毒區域ヲ配當シテ撤毒セシムルヲ通常トシ之ニ必要ナル事項ヲ記述ス

ロ、車撤撤毒ニ比シ地形ニ即應シテ其ノ特性ヲ發揮シ得ルヲ以テ此ノ趣旨ヲ強調シ之ニ必要ナル事項ヲ記述ス

4 野戰瓦斯隊(乙)ノ消毒ハ左ノ要領ニ依ル

イ、中隊ノ消毒ハ敵前ニ在リテハ通常各小隊ニ協力部隊ヲ指定シ作業セシムルモノトシ狀況ニ依リ各小隊毎ニ消毒區域ヲ配當シ作業セシムルコトアルヲ認ム

ロ、小隊ノ消毒ハ各分隊毎ニ消毒スベキ位置ヲ示シ狀況ニ依リ消毒區域ヲ配當シテ實施シ時トシテ各分隊ニ協力部隊ヲ指定シテ

作業セシムルコトヲ認ム

ハ、分隊ノ消毒ハ分隊ヲ更ニ消毒班ニ區分シ又ハ一若クハ若干名毎ニ作業セシムルコトアルヲ認ム

ニ、作業特ニ消毒點ノ構成ニ方リテハ單獨作業ヲ實施スルコト少カラザルニ鑑ミ各個教練ニ於テモ獨斷應用能力ヲ養成スルノ必要ヲ認メ之ニ關シ記述ス

五野戰瓦斯小隊ニ關シテハ野戰瓦斯隊乙ノ消毒作業ニ準ジ其ノ編成上差異アル點ノミヲ記述ス

第二部ニ於テハ左記諸項ヲ高唱ス

一野戰瓦斯隊ハ全能力ヲ發揮セシムル如ク統一使用シ分割使用ハ勉メテ之ヲ避ケ

2 野戰瓦斯隊ト他部隊トノ協同遊撃ハ撤(制)ニ誘テシテ之ガ利用
部隊ト最モ緊密ニ合致セシムルヲ主眼トス
3 撤(制)ニ誘テシテ敵ノ意表ニ出デ且全般ノ企圖ヲ暴露セシメザ
ルガ爲極力其ノ行動等ノ秘匿ニ勉ム

0031

卷八四八

教令第五四號

野戰瓦斯隊教練規定ニ関スル訓令ノ件

昭和十四年一月五日 教育總監部本部長代理神田正純

陸軍次官 山崎正隆

首題ノ件ニ関シ別冊ノ通答關係ノ向ハ訓令セラレ

本件ハ軍事極秘ニ付 友房ニ配製

セラレ刻

此ノ者由一配製ハ友ノ如クセラレ刻

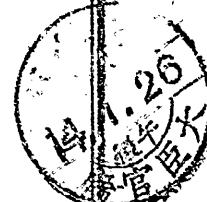
一月廿七 兵務課

軍用一 兵備一 兵務二 銃砲一 機械一

衣箱一 衛生一 友房三

計百

27日返書



陸



0032

卷八四八

教令第五四號

野戰瓦斯隊教練規定ニ関スル訓令ノ件通牒

昭和十四年一月二十日 教育總監部本部長代理神田正種

陸軍次官 山崎正隆殿

陸軍部本部長印

首題ノ件ニ関シ別冊ノ通答關係ノ向ヘ訓令セラレ
レニ付通牒ス

別冊一〇部

軍事極秘 三一部 自第四七號
至第四七號

受領書ノ月 29 日返送

年壹月廿七日
記帳簿

印

1.26
陸軍大臣官印

陸軍部本部長印

陸軍部本部長印

陸

陸軍部本部長印
兵務部

184が

0033

昭和十四年一月廿七日



陸軍省副官

教密第六六號

訓令貼附方ノ件通牒

昭和十四年一月廿七日 教育總監部庶務課長井出 節

陸軍省副官 國務省第七郎殿

昭和十四年一月二十一日附當部發送ノ野戰瓦斯隊
教練規定ノ表紙裏ニ別紙訓令ヲ貼附セラレ
度



陸



説明ターゲット

次の原稿

不鮮明

0034

4年 11月 18日

主務者又は

撮影立会者

加部東保夫



0034

野戰瓦斯隊教練規定

軍事極秘第 號
號

命令訓示

附圖	附表	(表紙共)	紙張	部	昭和十一年十月
				教育總監部	
			百拾八枚		
	四枚				

0035

0035

野戦瓦斯隊教練規定目次

第一部 一頁

 總則 一頁

 第一篇 野戦瓦斯隊(甲) 九頁

 通則 九頁

 第一章 激毒教練 三三頁

 第一節 中隊教練 三三頁

 要則 三三頁

 第二節 分隊 三三頁

 要旨 三三頁

 基本 三三頁

 分隊長以下ノ地位 三三頁

目次

目次

積載及卸下.....	二七
乗車、下車、始動、運轉停止及連結、離脱.....	二八
運動.....	三〇
填、貸.....	三一
撤、布.....	三二
現場附近ノ行動.....	三三
撤、毒.....	三四
要、旨.....	三五
準、備.....	三六
資、施.....	三七
夜間ノ動作.....	三八
戦間兵一般ノ心得.....	三九
第二款、小隊及中隊.....	四〇

4800

目次

密集	三
要旨	四
編成及隊形	五
密集ノ諸動作	六
整頓	七
右(左)向及後向	八
行進	九
方向變換	一〇
隊形變換	一一
解散及集合	一二
戰場附近ノ行動	一三
撤毒	一四
小隊	一五

三

0038

目次

要旨	六
準備	六
實施	七
中隊	七
要旨	七
準備	七
實施	七
補充及修理	八
第二章 大隊教練	八
第一節 消毒教練	八
第一節 中隊教練	七
第一款 分隊	七
基本	七

0039

0142

目次

填 賃	七
消 毒	七
要 旨	七
準 備	九
實 施	九
第二款 小隊及中隊	九
消 毒	九
小 隊	九
要 旨	九
準 備	九
實 施	九
中 隊	九
要 旨	九

五

0040

0040

目次

準備	六
實施	六
第二節 野戰瓦斯隊(乙)	九
通則	九
第一章 撤毒教練	九
第一節 各個教練	一〇
要則	一〇
第一款 基本	一〇
第二款 撤毒	一〇
第三款 戰團間兵一般ノ心得	一〇
第二節 中隊教練	一〇
要則	一〇
第一款 分隊	一〇

六

0041

1111

目次

要旨	一〇
基本	一〇
隊形	一〇
隊及卸下	一四
隊行進	一五
撤布	一七
戰場附近ノ行動	二三
撤毒	二三
要旨	二三
準備	二四
實施	二七
夜間ノ動作	二六
第二款 小隊及中隊	三〇

七

0042

007

目次

密集	一〇
要旨	一〇
編成及隊形	一一
密集ノ諸動作	一一
戰場附近ノ行動	一二
撤毒	一二
小隊	一三
要旨	一三
準備	一四
實施	一四
中隊	一五
要旨	一五
準備	一六

八

0043

目次

實施	二五
補充	二五
第二章 消毒教練	二五
第一節 各個教練	二五
要則	二五
第一款 基本	二五
第二款 消毒	二五
第二節 中隊教練	二五
第一款 分隊	二五
消毒	二五
要旨	二五
準備	二五
實施	二五

九

0044

1953

目次

第二款 小隊及中隊	15
消毒	15
小隊	16
要旨	16
準備	16
實施	16
中隊	16
要旨	16
準備	16
實施	16
第三篇 野戰瓦斯小隊	17
通則	17
第一章 鞍馬編制ノ野戰瓦斯小隊教練	17

10

0045

目次

乗駕、脱駕、車載及卸下	三
車載行進	五
第二部	九
總則	九
第一篇 撤毒	一〇
第一章 情報	一〇
第二章 他部隊トノ協同	一〇
第三章 撤毒指揮	一〇
第四章 撤毒地域構成ノ一般要領	一〇
第五章 補充	一〇
第二篇 制毒	一〇
第一章 情報	一〇
第二章 他部隊トノ協同	一〇

一一

目次

第三章	制毒指揮	100
第四章	制毒路、制毒帯、制毒點構成ノ一般要領	104
第五章	補充	107
附録		107
其一	觀兵ノ制式	107
	野戰瓦斯隊(甲)	107
	野戰瓦斯隊(乙)	111
其二	輕裝甲車ノ射撃	113
附表	指揮連絡記號	113
附圖	指揮官旗	113
附録附圖		
第一	閱兵式ノ隊形	
第二	分列式ノ隊形(野戰瓦斯隊(甲))	

0047

1917

目次

第三 分列式ノ隊形(野戰五新隊(乙))

一三

0048

野戦瓦斯隊教練規定目次終

目次

一四

野戰瓦斯隊教練規定

第一部

總則

第一 教練ノ目的ハ指揮官及兵ヲ訓練シテ諸制式及諸法則ニ習熟セシムル
ト同時ニ軍紀嚴正ニシテ精神鞏固ナル軍隊ヲ練成シ以テ戰鬪百般ノ要求ニ
適應セシムルニ在リ

動作ノ熟達、技術ノ巧妙固ヨリ可ナリト雖モ精神充實セザルトキハ實戰ニ
於テ其ノ眞價ヲ發揮シ難シ故ニ教練ヲ實施スルニ方リテハ常ニ思ヲ實戰ニ
致シ能ク軍人ノ本分ヲ自覺シ服從ノ本義ニ基キ誠意奮勵スルコト緊要ナリ

第二 中隊長以上ノ諸隊長ハ本規定ヲ遵守シテ部下ヲ教育シ教練ノ目的ヲ
達スベキ責任ヲ有ス故ニ自ラ適切ナル教育ノ手段、方法ヲ選定スベシ然レ

總則

6500

總則

下モ妄リニ細密ナル事項ヲ規定シ制式、法則ノ内容ヲ複雑ナラシムルヲ許
サズ

第三 本規定ノ制式及法則ニハ戰鬥ノ要求ニ從ヒ訓練ノ目的ニ應ジ輕重ア
ルノミナラズ各制式、各法則中ニモ自ラ主客ノ部分アリ故ニ諸隊長ハ能ク
之ヲ判別シ特ニ重要事項ノ徹底ニ遺憾ナキヲ期セザルベカラズ

第四 野戰瓦斯隊撤(消)毒ノ基礎タル諸教練ハ中隊ニ於テ之ヲ完了スルモ
ノトス

他兵種就中歩兵ト協同スル教練ハ特ニ緊要ナリ故ニ勉メテ機會ヲ求メテ之
ヲ行フヲ要ス

第五 企圖及行動ノ秘匿、奇襲的ニ敢行スル撤(消)毒作業、各該地形ニ於ケ
ル迅速整齊ナル作業特ニ敵陣下ニ於ケル作業等ハ野戰瓦斯隊ノ爲最モ重要
ナル事項ナリ故ニ特ニ力ヲ用ヒ之ガ熟練ヲ期セザルベカラズ

第六 奇襲的ニ作業ヲ敢行スル爲ニハ氣象、夜暗、地形等ノ利用、隊形ノ

五十一

選擇、假裝遮蔽ノ適切等ニ依リ好機ニ投シ輕快ナル指揮ト神速機敏ナル行
動トヲ以テ作業ヲ行フ如ク慣熟スルコト緊要ナリ

第七、命令、報告、通報ノ迅速確實ナル傳達ハ作業間ニ於ケル指揮及連絡
困難ナル野戰瓦斯隊ノ爲特ニ必要ナリ故ニ各級指揮官ハ絶エズ深甚ナル注
意ヲ拂ヒ諸糧ノ手段ヲ盡クシテ其ノ傳達ヲ敏活且確實ナラシムル如ク演練
スルヲ必要トス特ニ配號ニ依ル指揮連絡及之ニ應ズル動作ハ野戰瓦斯隊ノ
特性ニ稽ヘ基本教練ノ時期ヨリ演練シ之ヲ熟達ノ域ニ至ラシムルヲ要ス

第八、野戰瓦斯隊各級指揮官ハ作業間直接部下ノ動作ヲ指導、觀察スルコ
ト困難ナルヲ以テ特ニ各級指揮官以下ノ嚴正ナル軍紀、適切ナル獨斷、緊
密ナル協同等ヲ必要トス故ニ教練ノ初期ヨリ之ガ涵養ニ勉ムルヲ要ス

第九、野戰瓦斯隊ハ人馬、資材等ノ缺損セル場合ニ於テモ幹部及兵ノ適切
ナル協同ト應急處置トニ依リ遺憾ナク任務ヲ遂行シ得ル如ク訓練スルヲ要
ス

規則

三

總則

四

- 第十 實戦ニ在リテハ過劇ノ行動ヲ要求スルコトアルノミナラズ長時間同一ノ動作ヲ連続行フコト多キヲ以テ重要ナル課目ハ長時間ニ互リ之ヲ反復演練スルコト緊要ナリ
- 第十一 戰況ヲ設ケテ行フ教練ニ在リテハ指揮官ハ確實ニ部下ヲ掌握シ部下ハ進ンテ其ノ掌握下ニ入り以テ部下ヲシテ指揮官ノ意ノ如ク行動セシムル如ク訓練スルコト緊要ナリ
- 第十二 戰況ヲ設ケテ行フ教練ニ在リテハ教練ノ實施ヲシテ常ニ實戰的ナランメ趣エズ發刺タル企圖心ノ養成ニ留意スルコト緊要ナリ之ガ爲特ニ戰況ノ現示ヲ實況ニ近カラシムルヲ必要トス
- 第十三 戰況ヲ設ケテ行フ教練ニ於テハ勉メテ戰場ノ實況ニ近キ地形、氣象ヲ求メテ各種ノ動作ヲ演練スルコト緊要ナリ然レドモ實施ニ方リテハ諸種ノ制限ヲ受クルコト特ニ多キヲ以テ之ガ利用ヲ巧ニスル等有ユル工夫ヲ擬ラン能ク教練ノ目的ヲ達スルコトニ留意セザルベカラズ

第十四 戦況ヲ設ケテ行フ教練ニ於テハ實戦ノ光景及感想ヲ現スコトニ勉ムベシ又演習ノ經過ヲ過早ニシ或ハ實戦ニアルベカラザル動作ヲ演ゼシムベカラズ

第十五 叵惑及炎熱ハ野戦瓦斯隊ノ活動ニ影響スルコト極メテ大ナリ防毒具ヲ装着セル場合ニ於テ特ニ然リトス故ニ機會ヲ求メテ之ヲ實地ニ訓練スルコト必要ナリ

第十六 指揮官ハ教練ニ於テモ實戦ニ於テ取ルベキ姿勢ト位置トヲ選ビ防護具ヲ装着シテ部下ヲ指揮スルコトニ慣熟スルコト必要ナリ

上級指揮官ハ教練上必要アルトキハ其ノ欲スル所ニ從ヒ姿勢、位置及防毒具装着ノ程度等ヲ選ブコトヲ得又下級指揮官ニモ斯クノ如キ自由ヲ許スコトアリ

第十七 想定ハ教練ノ目的ニ適合シ戰場ノ實況ヲ現スニ勉ムルト共ニ成ルベク簡單ナラシムルヲ要ス又常ニ一定不變ノ狀況ヲ現出セシムルコトヲ避

規則

五

總則

六

クル等教練ヲシテ模型ニ陥ラシメザルノ著意ヲ必要トス

第十八 教練ト共ニ諸教練ニ示セル諸演習ヲ併セ行ヒ以テ幹部以下ヲシテ各、其ノ本務ニ習熟セシムルヲ要ス

第十九 兵器資材ノ取扱及保存ノ良否ハ野戰瓦斯隊ノ能力ニ影響スルコト極メテ大ナリ故ニ幹部以下兵器資材ノ構造、機能ニ精通シ點檢調整及取扱ニ熟達シ且戰闘間ト雖モ爲シ得ル限リ此等ノ點檢手入等ヲ行ヒテ之ガ整備ヲ固リ以テ其ノ威力ヲ發揚スルニ遺憾ナカラシムルコト緊要ナリ故ニ教練ノ實施ニ方リテハ幹部以下此ノ慣習ヲ養成スルヲ要ス

第二十 野戰瓦斯隊ノ教練ハ軍機ニ關スルモノ少カラザルノミナラズ又危害ヲ伴フコトアルヲ以テ常ニ軍紀ヲ嚴正ナラシムルト共ニ演習地ノ選定、演習ノ構成、諸勤務員ノ部署等ヲ適切ニシ要スレバ特別ノ規定ヲ設ケ以テ軍機ノ保護、危害ノ豫防等ニ就キ遺漏ナキヲ要ス而シテ危害等ノ願慮上實戰ニ於テ取ルベキ行動ヲ爲ス能ハザルトキハ幹部ハ所要ノ説示ヲ爲シ以テ

荷モ貸載ニ臨ミ其ノ行動ヲ誤ルガ如キコトナカラシムルヲ要ス

第二十一 幹部ハ常ニ其ノ態度、服装ヲ正シクシ特ニ瓦斯軍紀ヲ嚴守シ常ニ自ラ活潑嚴正ナル動作ノ模範ヲ示スベシ是幹部ノ率先射行ハ兵ニ精神上多大ノ感奮ヲ與フルモノナレバナリ

第二十二 指揮官ノ企圖ハ號令若クハ命令ニ依リ告達ス

號令及命令ハ能ク部下ヲ驅リテ水火ヲモ敢テ辭セザラシムベキモノナルヲ以テ堅確ノ決意、嚴肅ノ態度ヲ以テ下スベシ而シテ號令ハ明快ノ音調ヲ以テ發唱シ命令ハ簡明確切ニシテ下達迅速ナルヲ要ス之ガ爲ニハ勉メテ號令詞ヲ用フルヲ便トス記號ヲ以テ號令及命令ニ代フル場合モ亦以上ノ趣旨ニ依ルモノトス

第二十三 車輛(馬)ノ間隔トハ併列セル車輛(馬)ノ中心ト中心トノ隔リヲ、距離トハ先行セル車輛(馬)ノ後端ト後続セル車輛(馬)ノ前端トノ隔リヲ謂フ

規則

七

9500

總則

第二十四 第二章ニ於テハ野戰瓦斯隊ノ消毒ニ服スル場合其ノ任務裝備上
 第一章ニ依ル能ハザル事項ノミヲ記述ス
 第二十五 本規定ニ示サザル事項ニ關シテハ歩兵操典ニ據ルモノトス

第一篇 野戰瓦斯隊(甲)

通則

第二十六 野戰瓦斯隊(甲)ノ本領ハ優秀ナル撒毒能力、運動力及裝甲威力ニ依リ敵陣下ニ於テモ克ク撒毒又ハ消毒ノ任務ニ服シ以テ全軍戰勝ノ途ヲ拓クニ在リ故ニ指揮官以下剛膽ニシテ忍耐力ニ富ミ責任觀念旺盛ニシテ果斷克ク其ノ本領ヲ發揮スルヲ要ス

野戰瓦斯隊(甲)ハ兵器ヲ尊重シ資材ヲ節用シ最大ノ能力發揮ニ遺憾ナカラシムルト共ニ將校ハ常ニ科學ノ進歩發達ニ留意シ之ガ研鑽ヲ重ネ以テ任務ノ遂行ニ資セザルベカラズ

野戰瓦斯隊(甲)ノ主務變換ハ高級指揮官ノ命令ニ依ルモノトス

第二十七 各種地形ニ於ケル迅速整齊ナル作業ヲ爲シハ作業地ノ偵察ヲ綿密ニシ地形ヲ利用、進路ノ選定ヲ適當ニシ所要ニ應ジ豫メ障礙ノ排除ヲ行

野戰瓦斯隊(甲) 通則

野戰瓦斯隊(甲)ノ運用

一〇

第二十八 敵陣下ニ於ケル作業ノ爲ニハ戰況ニ即應スル地形地物ノ利用、
 隊形及速度ノ選擇、作業實施ノ爲好機ノ捕捉等ノ演練ヲ行ヒ各級指揮官ノ
 協同ト、獨斷トニ依リ豫期ノ作業ヲ敢行シ得ル如ク訓練スルコト必要ナリ。
 第二十九 野戰瓦斯隊(甲)ハ薄暮及黎明時ニ於ケル作業並ニ夜間ニ於ケル
 準備及行動ニ熟達シ且夜暗混雜スルコトナク靜慮確實ニ撤(消)毒ヲ爲シ得
 ル如ク訓練セザルベカラズ。
 第三十 戰場ニ於ケル迅速確實ナル資材ノ補充特ニ毒液若クハ面粉ノ填實
 ハ野戰瓦斯隊(甲)ノ爲緊要ナル事項トス故ニ屢々之ヲ演練シ其ノ動作ニ熟
 達セシムルヲ要ス。
 第三十一 野戰瓦斯隊(甲)主務ヲ變換スル場合ニ於テハ後車及撤毒用資材
 ノミヲ交換スルモノトス。

6900

1111

第三十二 教練ハ機能良好ナル資材ヲ以テ實施スルコト特ニ緊要ナリ是其ノ機能ノ良否ハ教育ノ成果ニ影響スルコト極メテ大ナレバナリ

第三十三 指揮官ハ狀況ニ依リ記號若クハ號音ヲ以テ號令若クハ命令ニ代

ヘ又一般ニ連絡ノ爲記號ヲ用アルコト多シ

記號トシテ特ニ定ムルモノ左記及附表ノ如シ

前進 操縦手ノ背ヲ一回押ス

停止 操縦手ノ襟ヲ一回引クカ又ハ腰ヲ輕ク一回押ス

急停止 操縦手ノ襟ヲ強ク數回引クカ又ハ腰ヲ數回押ス

増速 前進記號ニ同シ

減速 操縦手ノ襟ヲ連續ニ輕ク引クカ又ハ腰ヲ輕クニ回押ス

旋回 操縦手ノ轉回スベキ方側ノ肩ヲ引クカ又ハ反對側ノ肩ヲ押ス

後退 減速ノ記號ニ同シ

其ノ他所要ニ應ジ適宜ノ記號ヲ定ムルコトヲ得

野戰五折隊(甲) 通則

第一章 撤毒教練

第一節 中隊教練

要則

第三十四 中隊ハ中隊長ヲ核心トセル志氣結合ノ基礎ナリ乃チ中隊教練ハ中隊ヲシテ如何ナル場合ニ於テモ中隊長ノ意圖ニ從ヒ衆心一致能ク攻撃精神ヲ發揚シ困難ナル状態ニ耐ヘ克チ其ノ精神的團結ヲ保チ確實迅速ニ撤毒ヲ實施シ得ル如ク練成スルヲ主眼トス此ノ趣旨ニ基キ克ク訓練セラレタル中隊ハ豫メ修得セザルコトト雖モ能ク制式及法則ノ適當ナル應用ニ依リ目的ヲ達シ得ルモノトス

第三十五 中(小)隊長ハ中(小)隊ヲ指揮スル爲通常號令若クハ命令ヲ、分隊長ハ分隊ヲ指揮スル爲通常號令ヲ用フ

1900

0112

小(分)隊長ハ絶エズ中(小)隊長ニ注意シ其ノ號令ニ從ヒ諸運動ヲ行ヒ又中(小)隊長車ノ行動ニ依リ其ノ意圖ヲ付リ之ニ適應スル如ク動作シ得ザルベカラズ

第三十六 記號ニ依リ指揮スル場合ニ於テハ部下之ヲ了解スル迄其ノ記號ヲ總設スルモノトス而シテ了解ノ意ヲ表ハスニハ小隊長ハ中隊長ノ記號ヲ其ノ後復行スルコトナク其ノ小隊長ノ爲スベキ動作ニ關スル記號ヲ行ヒ分隊長ハ其ノ動作ヲ以テ實行ヲ示スモノトス
第三十七 小隊教練ニ在リテハ特ニ定ムルモノノ外中隊長ノ爲定メタル制式及法則ヲ準用ス

第一款 分隊

要旨

野戰五新隊(甲) 操券教練

第三十八 分隊教練ハ分隊長以下ヲ訓練シ協力一致シテ確實且敏捷ニ動作シ特ニ撤毒動作ニ熟達セシメ以テ小隊及中隊教練ノ確乎タル基礎ヲ作ルヲ主眼トス

第三十九 夜間ノ動作ハ基本ノ時期ヨリ之ヲ實施シ夜暗ニ於ケル動作就中防毒具ヲ裝著シテ行フ兵器ノ點檢、調整、取扱及行動ニ習熟セシムルヲ要ス

第四十 撤毒準備ニ於テハ通常器材ノ點檢、調整、填毒等ヲ又撤毒實施ニ於テハ撤布動作特ニ撤布ト運動トノ連繫ヲ演練スルモノトス

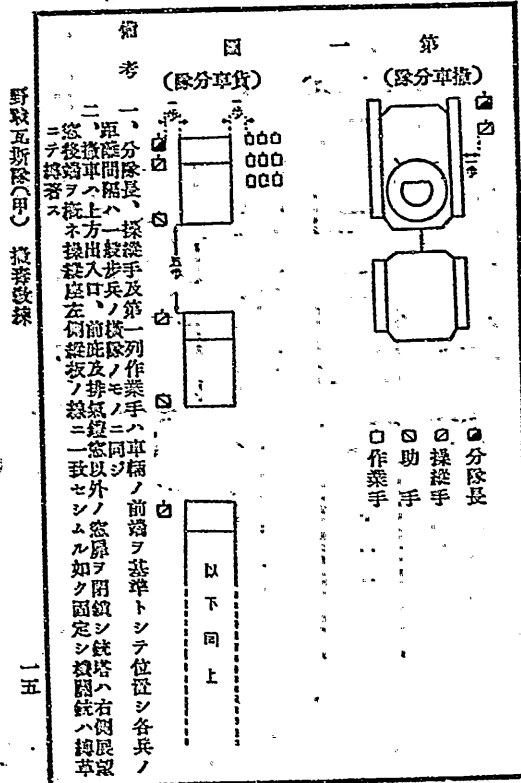
基本

分隊長以下ノ定位

第四十一 下車ノ定位第二圖ノ如シ

8900

1002

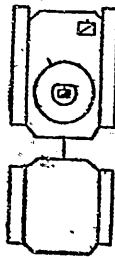


野戰瓦斯隊(甲) 投毒銃

064

第四十二 乗車ノ定位第二圖ノ如シ

野梨瓦新隊(甲) 撥等敬線



第 (図分車撥)

考

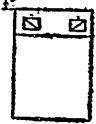
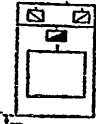
分隊長ハ腰掛ニ腰ヲ下ロシ若クハ其ノ右側ニ立チ前方ヲ注視シ操縦手
ハ操縦座ニ正ニ面シテ坐シ右足ヲ輕ク「ガス」踏板ニ、左足ヲ底板ニ
置キ兩手ヲ膝ノ上ニ置ク

第二 (図分車貨)

第 (図分車貨)

考

一、操縦手ハ前項ニ準ジ其ノ他ノ者ハ自己ノ位置ニ腰ヲ下ロシ要スレ
ニ、背篋車ヲ握リ上登ヲ保持ス
二、背篋ハ自動貨車ニ積載シ銃ハ各自携帯シ撥車分隊ノ背篋ハ先頭車
輻ニ積載スルモノトス



以下同上

5900

積載及卸下

第四十三 資材ヲ積載セシムルニハ「積ム用意」ノ號令ヲ下ス
操縦手、助手及作業手ハ荷匡ノ後板ヲ開キタル後分隊長ノ位置ニ集合ス
分隊長ハ人員、其ノ擔任區分其ノ他必要ノ事項ヲ示シ「積メ」ノ號令ヲ下
シテ積載ヲ開始セシメ積載終レバ兵ハ積載ノ狀況ヲ檢シ通常後板ヲ閉ヂ積
載前ノ定位ニ復ス

第四十四 卸下ヲ爲サシムルニハ「卸ス用意」ノ號令ヲ下ス
兵ハ「積ム用意」ノ場合ニ準ジテ動作シ分隊長ノ位置ニ集合ス
分隊長ハ積載ニ準ジ部署シ卸下スベキ位置其ノ他必要ノ事項ヲ示シ「卸セ」
ノ號令ヲ下ス
兵ハ所命ノ位置ニ積載品ヲ卸下シ通常荷匡ノ後板ヲ閉ヂ卸下前ノ定位ニ復
ス

野戦瓦斯隊(甲) 標準教練

9900

野城五新隊(甲) 投毒攻撃

一八

乗車、下車、始動、運轉停止及連
結、離脱

第四十五 乗車及下車ハ停止間ニ於テ行フモノトス

第四十六 分隊長以下ヲ乗車セシムルニハ左ノ號令ヲ下ス

乗車

撤車ニ在リテハ操縦手ハ左向ヲ爲シ出入口ノ右側ニ到リ右手ヲ出入口側板
ニ、左手ヲ銃搭上部ニ懸ケ右足ヲ轉輪上部ニ置キ次デ體ヲ引キ上ガ左足ヨ
リ入口ノ後方ニ乗り兩手ヲ以テ體ヲ支ヘ足部ヨリ徐ロニ座席ニ入ル此ノ際
適宜兩手ヲ入口前部ニ置キテ體ヲ支ヘ其ノ動作ヲ補助スルモノトス
分隊長ハ右ニ準ジ銃搭上部ヨリ座席ニ入り定位ニ就クモノトス
貨車ノ場合モ右ニ準ジ乗車シテ定位ニ就クモノトス
乗車ノ際要スレバ左手ヲ以テ劍鞘ヲ保護ス

五五二

2900

第四十七 分隊長以下ヲ下車セシムルニハ左ノ號令ヲ下ス

下車

乗車ト概ネ反對ノ順序、方法ニ依リ下車ノ定位ニ就ク

第四十八 分隊長以下ヲ各別ニ乗(下)車セシムルニハ「乗車」(「下車」)ノ號令ノ前ニ「分隊長」又ハ「操縦手」等ヲ加フルモノトス

第四十九 機關ヲ始動セシムルニハ乗車セシメタル後左ノ號令ヲ下ス

運轉始メ

操縦手ハ始動ノ操作ヲ爲シ分隊長ハ之ヲ監視ス

第五十 機關ノ運轉ヲ停止セシムルニハ左ノ號令ヲ下ス

運轉止メ

操縦手ハ運轉停止ノ操作ヲ爲ス

第五十一 後車ニ前車ヲ連結セシムルニハ兵二名ヲ後車ノ牽引桿兩側ニ位置セシメタル後左ノ號令ヲ下ス

野戰瓦斯隊(甲) 發着教練

野戰五航隊(甲) 技藝教練

二〇

前車ヲ繋ケ

分隊長ハ前車ヲ後車ノ前方ニ近ク概テ後車ノ方向ト一致スル如ク誘導シ爾後兩車ノ中間側方ニ在リテ兵ヲ動作ヲ監視ス
兵ハ協同シテ牽引桿ヲ前車ノ牽引鉤ニ鉤シ次第前車ノ後扉ヲ開キテ操作機ヲ裝著ス

動作終レバ分隊長及操縦手ハ下車ノ定位ニ、兵ハ舊位ニ復ス

操作機ヲ接続スルコトナク前車ヲ連結スル場合ニハ號令ノ前ニ「操作機ヲ除キ」ト令スルモノトス

第五十二 後車ヨリ前車ヲ離脱セシムルニハ左ノ號令ヲ下ス

前車ヲ脱セ

連結ト概テ反對ノ順序、方法ニ依ル

運動

6900

第五十三

運動ハ先ヅ後車ヲ附スルコトナク平易ナル地形ニ於テ前座ヲ開キテ基礎ノ動作ヲ教育シ次デ之ヲ閉鎖シ其ノ進歩ニ伴ヒ後車ヲ附シ各種ノ地形及夜間ニ於テ分隊長ノ指揮ニ從ヒ輕易ニ行動シ得ル如ク周到綿密ニ訓練シ且漸次撤毒ト連繫セシムベキモノトス

第五十四

教練ニ於ケル撤車ノ各種行進速度ノ標準左ノ如シ

低速

時速四 杆

常速

時速十二 杆

高速

時速二十 杆

全速

地形及機關ノ許シ得ル最大速度

運動ハ別命ナケレバ常速ヲ用フルモノトス而シテ地形其ノ他ノ關係ニ依リ要スレバ速度ヲ伸縮スルコトヲ得又全速ハ狀況特ニ之ヲ要スル場合ニ於テ短時間之ヲ用フルモノトス

第五十五

直行進ヲ起サシムルニハ要スレバ速度及行進目標ヲ示シタル後

野戰瓦斯隊(甲) 操券教練

0400

野戰瓦斯隊(甲) 撤發教練

左ノ號令ヲ下ス

前へ進メ

操縦手ハ前進ノ操作ヲ爲シ發進後漸次所定ノ速度ニ移シ正シキ方向ト齊一ナル速度トヲ以テ行進ス

第五十六 停止セシムルニハ左ノ號令ヲ下ス

止レ

操縦手ハ停止ノ操作ヲ爲シ徐ロニ停止ス

急停止セシムルニハ號令ヲ反復スルモノトス

第五十七 停止間右(左)向ヲ爲サシムルニハ左ノ號令ヲ下ス

其ノ場ニ右(左)へ

少シク前進シツツ内方軌道ニ於テ半徑約三步ノ環形ヲ畫ク如ク分隊長ノ指示ニ從ヒ九十度右(左)ニ方向ヲ換ヘ停止ス

第五十八 停止間後向ヲ爲サシムルニハ左ノ號令ヲ下ス

三二

1200

其ノ場ニ右(左)へ旋回^{ヒシヨク}

第五十七ノ要領ニ從ヒ百八十度方向ヲ換へ停止ス

第五十九 右(左)〔半右(左)〕へ方向ヲ換へ續キテ行進セシムルニハ左ノ號令ヲ下ス

左(右)〔斜に右(左)〕へ進メ

行進間ニ在リテハ内方軌道ニ於テ半徑約八歩ノ環形ヲ畫ク如ク右(左)ニ九十度方向ヲ換へ停止間ニ在リテハ少シク前進シツツ同一要領ニ依リ方向ヲ換へ續キテ行進ス

第六十 後向行進ヲ爲サシムルニハ左ノ號令ヲ下ス

半輪に右(左)へ進メ

第五十九ノ要領ニ從ヒ百八十度方向ヲ換へ續キテ行進ス

第六十一 後退ヲ爲サシムルニハ左ノ號令ヲ下ス
後へ進メ

野戰瓦斯隊(甲) 技藝教練

二三

分隊長ノ指示ニ依リ徐ロニ後退ス

行進間ニ在リテハ撤車ヲ確實ニ停止セシメタル後行フモノトス

第六十二 行進間速度ヲ伸縮セシムルニハ「速度ヲ伸バセ」或ハ「速度ヲ縮メ」ト號令シ操縦手ハ之ニ應ジ徐ロニ速度ヲ伸バシ又ハ縮ム

分隊長ハ要スレバ速度伸縮ノ程度ヲ指示スルモノトス

第六十三 運動間操縦手ハ絶エズ分隊長ノ號令、記號、機關及諸装置ノ状態等ニ注意スルト共ニ自ラ地形ヲ判断シ之ニ應ズル操縦ヲ適切ナラシムルヲ要ス分隊長ハ絶エズ車體特ニ機關ノ状態及後車ニ注意スルト共ニ外部ヲ觀察シ要スレバ操縦手ヲ誘導スルモノトス

不齊地通過ニ方リ注意ヲ喚起スルヲ要スルトキハ分隊長及操縦手ハ相互ニ其ノ旨ヲ告知スルモノトス例ヘバ「壕」、「堆土」ト唱フルガ如シ

第六十四 自動貨車ノ運動ハ撤車ニ準ズルモノトス

0073

填 實

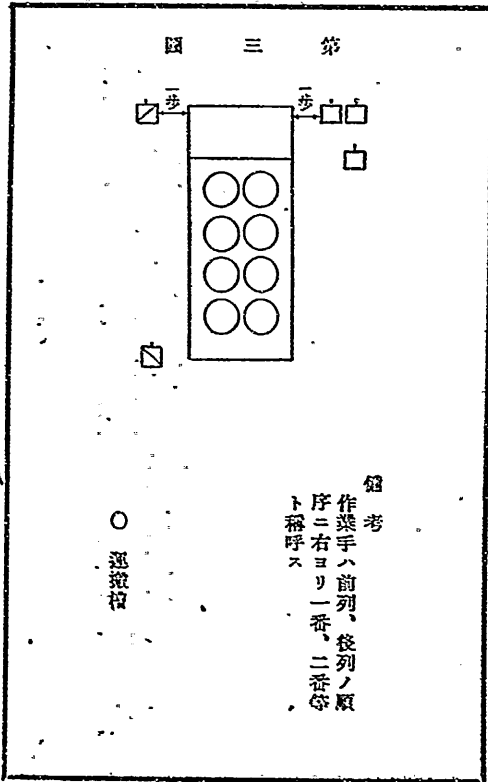
第六十五 撤車ニ毒液ヲ填實スル爲貨車分隊ヲシテ填實準備ヲ爲サシムル
ニハ分隊長ハ各撤車分隊ニ作業手三名ヲ配當シ填實ニ使用スベキ毒液積載
貨車及作業手ヲ第三圖ノ如ク配置シタル後左ノ號令ヲ下ス
填實準備

野戰瓦斯隊(甲) 撤毒教練

二五

0074

甲



野嶽瓦新隊(甲) 遊歩符

三六

0075

0075

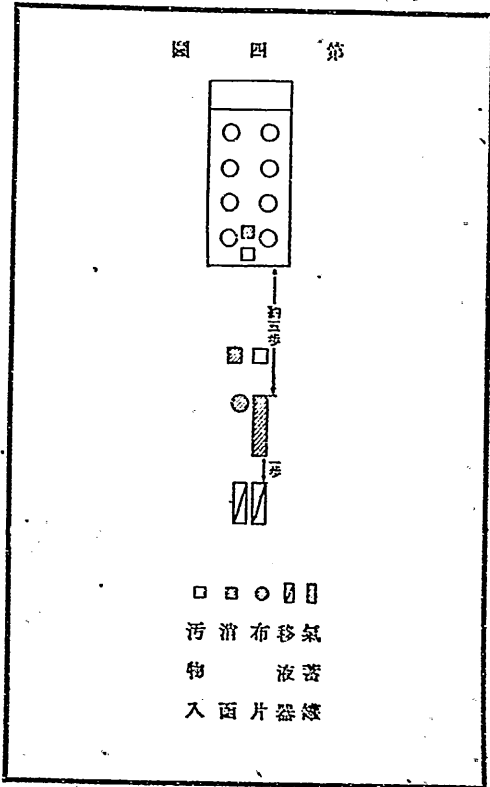
一番及二番ハ直チニ乗車シ所要ノ移液器、氣蓄罐等ヲ三番、操縦手及助手ニ渡ス
三番、操縦手及助手ハ協力シテ之ヲ第四圖ノ如ク設置ス

野原五郎(甲) 操縦手

二七

9400

第四圖



野野瓦新隊(甲) 操巻致様

二八

4400

右終了セバ一番、二番、操縦手及助手ハ協力シテ「ゴム」布ヲ貨車ノ側板ニ裝著ス

三番ハ移液器ヲ結合シテ之ヲ一番ニ渡ス

一番及二番ハ空氣口及導出口蓋ヲ脱シ夫々移液器ノ空氣管及移液管ヲ之ニ裝著ス此ノ際各部ノ活栓ハ豫メ之ヲ全部閉鎖シ置クモノトス

三番及助手ハ地上ニ在リテ之ヲ援助ス

動作終了セバ定位ニ復ス

第六十六、填實準備ヲ解カシムルニハ左ノ號令ヲ下ス

準備ヲ解ケ

各作業手、操縦手及助手ハ概ネ第六十五ト反對ノ順序ニ動作シ資材ノ簡易消毒ヲ行ヒ之ヲ積載シ定位ニ復ス

第六十七、撤車ヲ填實位置ニ進入セシムルニハ撤車分隊長ハ後車ヲ填實準備ノ姿勢ニ在ル貨車ノ一側ニ到ラシムル如ク誘導ス

野戰瓦斯隊(甲) 撤毒教範

二九

野戦瓦斯隊(甲) 撤毒教練

三〇

第六十八 撤車填貨位置ニ進入停止セバ撤車分隊長ハ直チニ液槽内ノ排壓

ヲ確認シタル後逆轉ヲ止メ「下車」ヲ令ス

填貨準備ヲ爲シタル貨車分隊ノ操縦手、助手及作業手ハ別命ナク填貨間撤

車分隊長ノ指揮下ニ入ルモノトス

第六十九 填貨用意ヲ爲シシムルニハ撤車分隊長ハ左ノ號令ヲ下ス

填貨用意

一番ハ貨車上ニ在リテ動作スニ番、三番ハ協力シテ後車ノ填貨口ヲ開キ注

液管各一箇ヲ取り之ヲ填貨口ニ挿入シテ保持ス

貨車ノ助手ハ各作業手ヲ補助ス

準備終レバ一番ハ分隊長ニ報告ス

第七十 填貨ヲ爲シシムルニハ撤車分隊長ハ左ノ號令ヲ下ス

填貨始メ

二番、三番ハ注液管ノ活栓ヲ、一番ハ送氣管ノ活栓ヲ開キ聽ヲ操作シ移注

6200

ヲ開始ス

所要ノ毒量ヲ填貸セバ各活栓ヲ閉テ填貸口ヲ閉鎖ス此ノ間兩操縦手ハ協力
シテ氣密織ノ裝著又ハ交換ヲ行フ

貨車ノ助手ハ各作業手ノ動作ヲ補助ス

第七十一 填貸ヲ止メシムルニハ撤車分隊長ハ左ノ號令ヲ下ス

填貸止メ

各作業手ハ作業ヲ止ム

第七十二 分隊長ハ填貸終了セバ別命ナク撤車ニ操縦手ヲ乗車セシメ撤車
ヲ約十步前進セシム

撤布

第七十三 撤布ノ基本様式ハ箱型及耕型トス

第七十四 撤布ノ操作ハ通常分隊長自ラ之ヲ行フモノトス

野戰瓦斯隊(甲) 操縦教練

第七十五 分隊長ハ撤布開始前液槽ニ加壓シ撤布開始後噴嘴ノ流出狀況ニ注意ツツ操縦手ヲ指導スルモノトス

第七十六 撤布間ニ於テハ別命ナキトキハ冷却風吸入風筒上ノ窓ヲ除キ其ノ他ノ窓ヲ閉鎖スルモノトス

第七十七 撤毒地内ニ於テ故障ヲ發生シ之ガ排除ノ爲脱面ヲ要スル場合ニ於テハ勉メテ車輛ヲ撤毒地外ニ出シタル後行フモノトス

第七十八 分隊撤布ヲ終レバ適宜液槽内ノ高壓空氣ヲ排出シ置クモノトス

戰場附近ノ行動

第七十九 戰場附近ニ行動スル分隊ハ勉メテ上空及地上ノ敵ニ遮蔽シ其ノ企圖ヲ暴露セザルコト緊要ナリ一車ノ不用意ナル行動モ延イテハ全般ノ企圖ヲ敵ニ察知セラルルノ動機トナルコトアルヲ以テ其ノ行動ハ特ニ慎重ナルヲ要ス

第八十 戰場附近ノ行動開小隊疎開セバ分隊長ハ地形ノ利用、進路ノ選定等ヲ適切ニシ勉メテ敵眼、敵火ニ掩蔽シツツ前進スルモノトス

第八十一 分隊長ハ所要ニ應ジ操縦手ニ對シ豫メ分隊ノ行動、標示、標兵、誘導兵其ノ他行動ノ基準トナルベキ事項ヲ現地ニ就キ明確ニ指示シ爾後機會ヲ得ル毎ニ之ヲ補綴スルモノトス
操縦手ハ分隊長ノ指示ニ從ヒ撤車ノ速度及進路ヲ選定シ所命ノ目標(方向)ニ向ヒ前進スルモノトス

撤毒

要旨

第八十二 分隊撤毒教練ノ主眼トスル所ハ基本ノ教練ニ於テ教育セシ諸制式、諸法則ヲ各種ノ狀況、地形等ニ適應セシメ分隊ヲシテ如何ナル場合ニ於テモ分隊長ノ指揮ニ從ヒ停止恰モ一體トナリ確實迅速ニ撤毒シ得シムル

野戰瓦斯隊(甲) 撤毒教練

野戦瓦斯隊(甲) 投毒教練

三四

ニ在リ

第八十三 分隊撤毒教練ハ小隊内ノ分隊トシテ演練スルモノトス

準備

第八十四 分隊ハ通常中隊準備位置ニ於テ中(小)隊長ノ命令ニ基キ撤重ヲ點檢、調整、燃料脂油ノ補充、毒液ノ填實、操作機ノ接続等所要ノ準備ヲ整フルモノトス

狀況ニ依リ中隊準備位置ニ進入ニ先ダテ前項ノ諸準備ニ著手スルコトアリ

第八十五 分隊長ハ偵察ニ方リテハ狀況之ヲ許セバ操縦手ヲ伴ヒ現地ニ就キ分隊ノ行動ニ關シ必要ノ事項ヲ指示シ要スレバ標示ヲ行ヒ又ハ標兵ヲ配置スルモノトス

第八十六 分隊毎ニ撤毒區域ヲ擔任スル場合ニ於テハ分隊長ハ其ノ任務ニ

〇九三

基キ第八十五ニ準シ分隊撤毒區域、進入退出路等ヲ偵察シ小隊長ノ命令ニ
基キ撤毒要領ノ細項ヲ定ムルモノトス

第八十七 標示ハ狀況特ニ地形、豫想スル撤毒開始ノ時期等ニ依リ材料及
設置法ヲ定ムベシト雖モ匍メテ所在ノ地物、材料ヲ利用シ簡易ニ設置シ敵
ノ視察ヲ避クルコト緊要ナリ

實 施

第八十八 小隊一齊撤布ノ場合ニ於テハ分隊長ハ小隊長ノ指揮ニ從ヒ所命
ノ關係位置及方向ヲ維持シ一齊ニ行動シツツ小隊長ノ命令ニ依リ撤布ヲ開
始スルモノトス

第八十九 分隊毎ニ撤毒區域ヲ分務スル場合ニ於テハ分隊長ハ小隊長ノ撤
毒開始ノ命ニ依リ出發位置ヨリ前進シ撤布ヲ開始スルモノトス此ノ際分隊
長ハ自己ノ企圖スル所ニ基キ敵火ノ狀態及明暗ノ度等ニ相へ地形ノ利用、

野戰瓦斯隊(甲) 撤毒教練

速度ノ選擇ヲ適切ニシ以テ迅速的確ニ撤毒ヲ敢行スルコト必要ナリ

第九十 撤毒間撤車ニ故障ヲ生ジク場合ニ於テハ分隊長ハ直チニ記號ヲ以テ小隊長ニ報告シ速カニ之ガ排除ニ勉メザルベカラズ

活嘴開閉器故障ノ爲撤布不能ニ陥リタルトキハ分隊長ハ手ヲ以テ活嘴ヲ開ク等百方手段ヲ盡クシテ撤布ヲ續行セザルベカラズ

第九十一 不齊地等ニ於テ低速度ヲ以テ撤毒スルノ止ムヲ得ザル場合ニ於テハ分隊長ハ毒液ノ流出量ニ注意シ之ガ浪費ニ陥ラザル爲獨斷撤布様式ヲ變更スル等ノ著意ヲ必要トス

第九十二 分隊毎ニ撤毒區域ヲ分擔スル場合ニ於テ分隊撤毒ヲ終了セバ速カニ小隊集合位置ニ到リ應急消毒ヲ行フモノトス

第九十三 敵火ノ下ニ於ケル撤毒ハ分隊長以下毅然トシテ作業ニ從事シ如何ナル障礙ヲモ排除シ一意其ノ任務ノ達成ニ勉メザルベカラズ

5800

0000

夜間ノ動作

第九十四 夜間ノ動作ハ先ヅ熟地ニ於テ晝間、薄暮、月明ノ夜等ニ於テ行ヒ逐次其ノ程度ヲ向上シテ暗夜生地ニ及シ且各種ノ地形ヲ選定シテ之ヲ教育ヲ行フヲ必要トス

第九十五 夜間操縦手ハ前照燈ヲ使用スルコトナク誘導者ノ誘導ニ應ジ撤車ヲ操縦スルコトニ慣レ習熟スルニ從ヒ自ラ地形ヲ識別シ適切ナル操縦ヲ行ヒ整齊圓滑ニ行動シ得ルニ至ルヲ要ス

敵ニ照明セラレタル場合ノ操縦竝ニ微燈火ヲ用ヒテ行フ迅速ナル行動モ亦演練スルコト必要ナリ

第九十六 夜間ノ運動ニ方リテハ著明ナル目標、標示、晝間記憶セル地形、地物等ニ依リ行進方向ヲ維持スルコトニ慣熟スルコト緊要ナリ

第九十七 夜間ノ遠動ニ方リテハ速度及進路ノ選定ヲ適切ニシ行進、方向

野戰瓦斯隊(甲) 操縦教練

三七

9800

野戰五折隊(甲) 撤毒教練

三八

變換及不齊地通過ノ際ニハ特ニ操作ヲ慎重ナラシムベシ又前照燈ヲ使用セザル場合ニ於テハ分隊長ハ通常下車シテ撤車ノ誘導ニ任ズベキモノトス
夜困難ナル地形ニ於テ特ニ然リトス

夜間ニ在リテハ中隊長ノ命令アル場合ノ外前照燈ノ使用ヲ禁ズ

第九十八 夜間燈火ヲ用フルコトナク實施スル車輛ノ點檢、調整、整齊ナル行進、音響防止ノ處置等ニ習熟スルハ極メテ緊要ナリ

第九十九 夜間ノ撤毒ハ諸種ノ手段ヲ盡クシテ整齊確實ナラシムルコト緊要ナリ之ガ爲メシ得ル限リ薄暮迄ニ諸準備ヲ完了スルヲ要ス

夜間撤毒ノ爲メ晝間餘裕少キ場合ニ於テモ少クモ撤毒地ノ偵察、標示ハ薄暮ノ時期ヲ利用シテ實施シ標兵ヲ使用スル場合ニ於テハ成ルベク現地ニ配置スルヲ可トス

標示ノ爲メ標燈ヲ使用スルハ中隊長ノ命令又ハ許可ヲ得タル場合ニ限ル而シテ之ガ使用ニ方リテハ特ニ錯誤ヲ生ゼザルノ工夫ヲ必要トス

2800

夜間撤毒準備ヲ爲ス場合ニ於テハ企圖ノ秘匿ニ留意シ特ニ火光ノ使用、警戒ノ處置等ニ關シ十分ノ注意ヲ拂ヒ且靜肅、確實ニ實施スルコト必要ナリ
第百 夜間撤毒準備ヲ行フニ方リテハ危害豫防ニ注意シ又器材ノ位置ヲ明瞭ナラシムルノ著意緊要ナリ之方爲適當ナル標識ヲ附シ或ハ標示ヲ爲スヲ要ス

第百一 夜間撤毒ニ方リテハ分隊長ハ第九十七ニ準ジ所要ニ應ジ自ラ撤車ヲ誘導シ又狀況ニ依リ自ラ操縦スルヲ可トスルコトアリ

分隊長自ラ誘導又ハ操縦ニ任ズル場合ニ於テハ操縦手又ハ配屬セラレタル作業手ヲシテ撤布操作ヲ行ハシムルモノトス又撤布ノ景況ハ目視困難ナルヲ以テ之ガ判斷ニ習熟スルヲ要ス

第百二 夜間撤車ハ至近ノ距離ヨリ不意ニ肉薄攻撃ヲ受クル虞アルヲ以テ分隊長以下絶エズ四周ヲ警戒シ且迅速ニ之ニ對應スルノ準備ヲ整ヘアルコト緊要ナリ

野戰瓦斯隊(甲) 撤毒教練

戰鬪間兵一般ノ心得

第百三 撤毒ハ行軍及劬勤ノ後開始スルコト少カラザルノミナラズ且長時間防毒具ヲ裝著シテ行フモノナルガ故ニ兵ハ勇猛沈著能ク自信ト忍耐トヲ以テ有ユル困苦缺乏ニ堪ヘ戰場ノ慘烈ナル感情ニ克チ以テ撤毒ノ要求ヲ充足シ得ザルベカラズ縦ヒ巧妙ナル宣傳等ノ流布セラルルコトアルモ兵ハ一意上官ニ信頼シ自己ノ本分ヲ恪守シ戰勝獲得ノ一途ニ邁進スルヲ要ス

第百四 夜間兵ハ音響防止ノ處置ヲ適切ニシ行動ヲ靜肅ニシ燈火ヲ用フルコトナク諸作業ヲ實施シ得ルコト緊要ナリ

第百五 消毒材料ノ節用ハ野戦瓦斯隊(甲)ノ能力保持上極メテ緊要ナリ故ニ兵ハ常ニ之ガ濫用ヲ戒ムルヲ要ス

第百六 兵ハ敵ノ火力熾シニシテ死傷極メテ多キト雖モ自己ノ責任ヲ自覺シ從容自若トシテ專ニ當リ最後ノ一人ニ至ル迄作業ヲ繼續シ車輛ト生

死ヲ同ジウスルノ覺悟ヲ必要トス、

第百七 兵ハ縦ヒ指揮官ヲ失フニ至ルモ志氣ヲ沮毀スルガ如キコトナク益、勇奮率先範ヲ示シ自ラ他ヲ率キルノ概ヲ以テ作業ヲ繼續スルヲ要ス此ノ際作業ヲ完成シ得ルト否トハ一ニ懸リテ殘存セル者ノ雙肩ニ在ルコトヲ銘肝スベシ

第百八 兵ハ作業間負傷シ又ハ瓦斯ニ依リ傷害ヲ受クルモ志氣ヲ旺盛ニシ百方手段ヲ盡クシテ任務ヲ繼續スベシ而シテ遂ニ作業ニ堪ヘザルニ至レバ小隊長以上ノ指揮官ノ命ニ依リ餘ロニ後退スベキモノトス

第百九 瓦斯ニ對シテハ兵ハ防護ノ處置適切ナルトキハ敢テ恐ルルニ足ラザルコトヲ銘心シ嚴ニ瓦斯軍紀ヲ守リ縦ヒ防護具ノ破損シ或ハ完備セザル場合ニ於テモ應急ノ處置ヲ講ジ其ノ損害ヲ減少スルニ勉メザルベカラズ然レドモ瓦斯防護ニ囚レ苟モ諸作業ヲ忽セニスルガ如キコトアルベカラズ

野戰瓦斯隊(甲) 操縦教練、

野戦部隊(甲) 損害概算

四二

瓦斯警報ヲ聞クカ若クハ瓦斯ヲ被ラントスルキハ直チニ比隣相傳ヘ別命ヲ待タズ各自迅速確實ニ裝面スベシ

防毒面ノ脱除ハ分隊長以上ノ指揮官ノ命令ニ依ルモノトス

第百十 軍紀嚴正ニシテ沈著且機敏ニ行動スル兵ハ優勢ナル騎兵ノ襲撃或ハ飛行機、戰車等ノ攻撃ヲ受ケ若クハ歩、砲兵ノ猛射ヲ受クルモ毅然トシテ克ク自己ノ任務ニ向ヒ邁進シ得ルモノトス

第百十一 兵ハ許可ナク其ノ所屬部隊ヲ離ルルコトヲ得ズ若シ任務ヲ帯ビズ或ハ尙戰鬪ニ堪ヘ得ベキ輕傷ニシテ恣ニ所屬部隊ヲ去リ又ハ戰鬪中命令ヲ受ケズシテ負傷者ヲ介護若クハ運搬シ其ノ他任務ヲ受ケテ一時所屬部隊ヲ離ルル場合ニ於テモ其ノ任務ヲ遂行後速カニ復歸セザルガ如キハ卑怯ノ行爲ニシテ軍人ノ本分ヲ傷ツクルモノトス

兵若シ所屬部隊ノ所在ヲ失ヒタルトキハ直チニ近傍ニ於テ戰鬪スル部隊ニ合シ其ノ將校ニ届告シ其ノ命ニ從フベシ而シテ戰鬪終レバ直チニ其ノ所屬

隊ニ合シ其ノ將校ニ届告シ其ノ命ニ從フベシ而シテ戰鬪終レバ直チニ其ノ所屬

1600

部隊ニ復歸スルヲ要ス

第二款 小隊及中隊

密 集

要 旨

第一百十二 密集隊形ハ軍隊ノ團結力鞏固ニシテ指揮掌握容易ナリ故ニ勉メテ此ノ隊形ヲ以テ停止シ運動スベキモノトス

第一百十三 中(小)隊密集教練ハ中(小)隊ノ團結ヲ鞏固ニシ中(小)隊長ノ號令特ニ記號ニ依リ各種隊形ノ用途ニ鑑ミ確實且敏捷ニ規定ノ動作ヲ實施シ得シムルヲ主眼トス

第一百十四 中(小)隊密集教練ヲ準備スル爲中(小)隊長以下徒歩ニテ記號ニ應ズル諸動作ヲ訓練スルヲ可トス

野戰瓦斯隊(甲) 檢査教練

四三

第百十五 各小隊貨車分隊及段列等ハ特ニ示スモノノ外本款ノ規定ヲ準用スルモノトス

第百十六 中隊ハ整頓、行進方向及速度ヲ規正スル爲基準小隊ヲ設ケ其ノ他ノ小隊ハ基準小隊ヨリ規定ノ距離間隔ヲ保持シ其ノ速度ニ一致セシムルモノトス

基準小隊ハ各小隊併列シアルトキハ其ノ中央小隊、各小隊重疊スルトキハ先頭小隊トス要スレバ某小隊ヲ指示シテ基準小隊ト爲スコトアリ

小隊ニ在リテハ別命ナケレバ小隊長車ヲ以テ基準トス

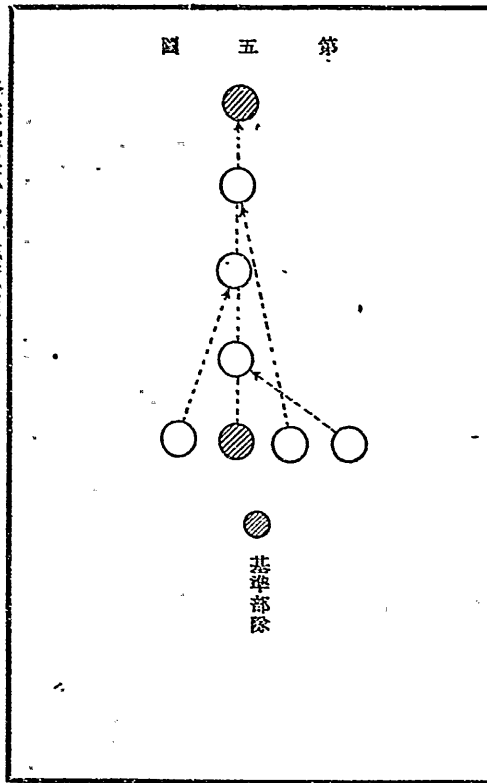
第百十七 横廣ノ隊形ヨリ縦長ノ隊形ニ移ルニハ特ニ規定シアルモノノ外第五圖ノ要領ニ依ル

0093

0034

第五圖

野球瓦斯隊(甲) 練習教練



四五

0094

野戦互射隊(甲) 教範教練

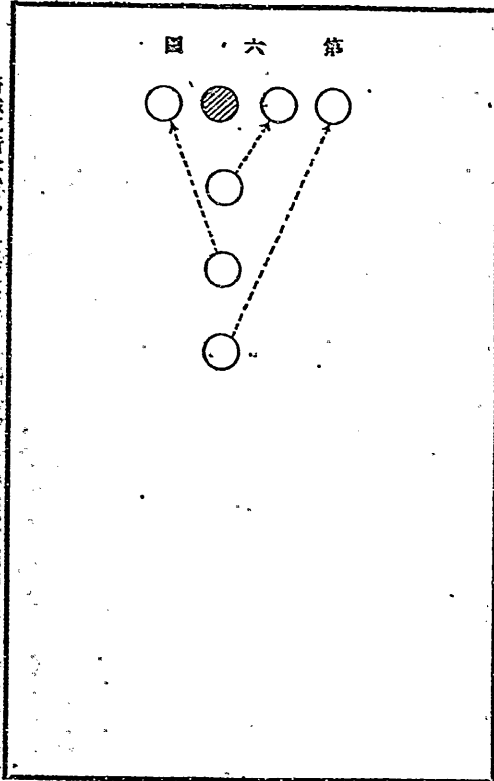
四六

基準部隊ハ停止間ニ在リテハ行進ヲ起シ所要ノ距離ヲ取リタル後停止シ行
 進間ニ在リテハ現在ノ速度ヲ持續シ其ノ他ノ部隊ハ停止間ニ在リテハ其ノ
 儘待チ行進間ニ在リテハ成ルベク速カニ新隊形ニ移ル如ク適宜速度ヲ減ジ
 若クハ停止シ餘地ヲ得ルニ從ヒ右、左交互ニ新位置ニ就クモノトス
 第一百十八 縦長ノ隊形ヨリ横廣ノ隊形ニ移ルニハ特ニ規定シアルモノノ外
 第六圖ノ要領ニ依ル

9600

第 六 圖

野 球 五 新 隊 (甲) 撤 隊 效 果



四七

9600

0000

野戰瓦斯隊(甲) 撥寄教練

四八

基準部隊ハ停止間ニ在リテハ適宜小距離ヲ前進シタル後停止シテ進行間ニ在リテハ適宜低速ニ移リ其ノ他ノ部隊ハ停止間ニ在リテハ進行ヲ起シ進行間ニ在リテハ一段高キ速度ヲ取り先頭部隊ノ次ニ位置スル部隊ヨリ右、左交互ニ側方ニ進出シ新位置ニ就クモノトス

編成及隊形

第百十九 中隊ハ若干ノ小隊及段列ヨリ成リ小隊ハ第一ヨリ逐次番號ヲ附ス

中隊ハ指揮班ヲ編成ス

小隊ハ若干ノ分隊ヨリ成リ第一ヨリ逐次番號ヲ附ス

段列ハ若干ノ分隊ヨリ成リ第一ヨリ逐次番號ヲ附ス

第百二十 中(小)隊長ノ搭乘セル車輛ヲ中(小)隊長車ト稱シ之ヲ表示セントスルトキハ中(小)隊長旗ヲ使用ス

4600

1110

指揮官旗ノ様式ハ附圖第一ノ如シ

第百二十一 中隊ノ密集隊形ハ横隊、併立縦隊及縦隊トス

横隊及併立縦隊ハ主トシテ集合及運動ニ、縦隊ハ主トシテ運動ニ用フ

第百二十二 中隊ノ横隊、併立縦隊及縦隊ノ隊形第七乃至第九圖ノ如シ

小(分)隊ハ時宜ニ依リ正規ノ順序ニ拘ラズ配置シ又距離間隔ハ之ヲ伸縮スルコトヲ得

中隊指揮班、各小隊貨車分隊及段列ノ隊形ハ中隊長之ヲ定ム

中隊長ハ時宜ニ依リ中隊指揮班及段列ノ位置ヲ變更スルコトヲ得

中隊長ハ指揮班ノ乗車區分ニ關シ指示スルノ外各小隊段列等ノ側車附自動

二輪車、搬車ノ乗員以外ノ者及小隊ニ屬セザルモノノ位置、行動等ニ就キ

所要ニ應ジ指示スルモノトス

野戰瓦斯隊(甲) 操着教練

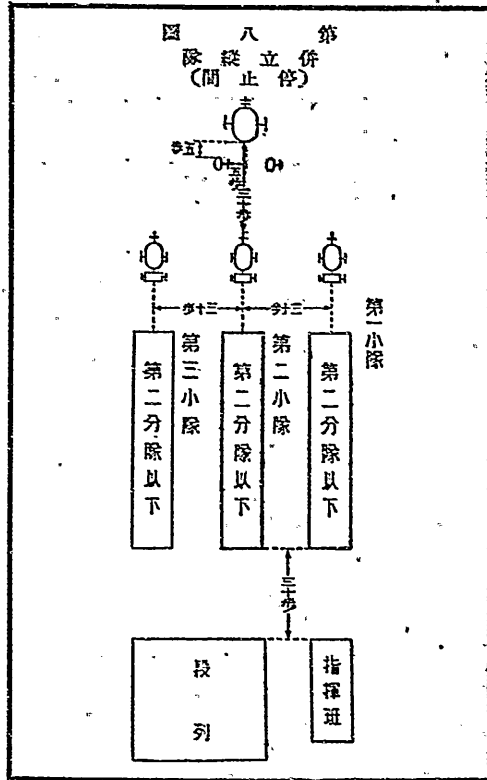
四九

備考

- 一、中隊長ハ中隊ノ中央前ニ位置スルモノトス
 - 二、各小隊ハ撥車分隊ヲ小隊長車ノ後方ニ一線トシ貨車分隊ヲ其ノ後方ニ配置スルモノトス
 - 三、下車セル場合ニ於テハ中(小)隊長ハ中(小)隊長車ノ前方ニ歩ニ、段列長ハ段列ノ中央前ニ歩ニ位置シ採用自動車及自動貨車ノ乗員ハ三列側面縦隊(分隊自動車手ハ一)ヲ作り其ノ車輛ノ右(左)側ニ、側車附自動二輪車ノ乗員(自動車手)ハ其ノ車輛ノ左(右)ニ一歩ヲ間シ車輛ノ前部ヲ基準トシテ整列スルモノトス
- 側面縦隊ニ於ケル各兵ノ距離間隔ハ一般歩兵ノ縦隊ノモノニ同シ

野戦五新隊(甲) 撥車隊

0100



1010

備考

- 一、中隊長ハ中隊ノ中央前ニ位置スルモノトス
- 二、下車セル場合ニ於テハ中(小)隊長ハ中(小)隊長車委員ノ右側ニ、段列長ハ其ノ搭乗セル車ノ自動車手ノ外側ニ位置ス其ノ他ノ者ハ第七圖備考ニ準ズ
- 三、各小隊ノ各車距離ハ五歩トス但シ行進間ニ在リテハ約三十歩トス

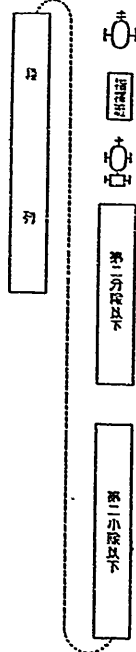
野戰砲隊(甲)

操券銃隊

五三

0102

第九圖
（閉止時）



第一小段
第一小段

第九圖（甲）機差機架

五五

0103

備考

- 一、各班距離五歩トス
- 二、其ノ他第八圖備考ニ準ズ

野城五新隊(甲) 撤去後様

五

密集ノ諸動作

整頓

第二百二十三 中隊ノ整頓ハ通常分隊長以上ヲ下車セシメテ行フモノトス
横隊ニ在ル中隊ヲ整頓セシムルニハ左ノ號令ヲ下ス

分隊長何歩前へ

各分隊長ハ前進シ基準小隊ノ右分隊長ニ整頓ス

中隊長ハ要スレバ其ノ位置ヲ正シタル後左ノ號令ヲ下ス

準へ(右(左)へ 準へ) (前進ノ記號ヲ併用ス)

直レ (停止ノ記號ヲ併用ス)

「準へ」ノ號令ニテ各分隊長ハ頭ヲ左ニ廻ハシ左臂ヲ肩ノ高サニ側方ニ伸バシ各撤車ハ右起動輪ノ前端ヲ分隊長ノ左手ノ位置ニ到ラシムル如ク低速ニ

0104

テ前進シ整頓線ニ、其ノ他ノ車輛ハ逐次其ノ關係位置ヲ保チ定位ニ就ク
 「直レ」ノ號令ニテ分隊長ハ頭ヲ正面ニ復シ臂ヲ下ロシ下車ノ定位ニ復ス
 中(小)隊長車ハ中隊ノ整頓ヲ終ヘタル後適宜定位ニ就クモノトス
 其ノ位置ニ於テ整頓セシムルニハ中隊長ハ分隊長ノ位置ヲ正シタル後「準
 ヘ(右(左)へ)準(へ)直レ」ノ號令ヲ下スモノトス
 併立縦隊ニ在リテハ基準小隊ヲ示シ各小隊毎ニ整頓セシム

右(左)向及後向

第二百二十四 停止間右(左)向又ハ後向ヲ爲サシムルニハ中隊長ハ「指揮官
 ニ準(へ)」ノ記號ヲ爲シ中隊長車ヲシテ其ノ動作ヲ爲サシム
 各車ハ其ノ場ニ於テ右(左)向又ハ後向ヲ爲ス

行進

野戰五新隊(甲) 操券教練

第二百二十五 中隊ヲ前進セシムルニハ中隊長ハ要スレバ豫メ基準小隊ノ行進目標ヲ示シタル後「前進」ノ記號ヲ爲ス

中隊ハ概ネ一齊ニ行進ヲ起シ横隊又ハ併立縦隊ニ在リテハ中隊長車ハ行進目標ニ向ヒ直進シ基準小隊長車ハ中隊長車ノ後方ヲ所定ノ距離ヲ保持シ或ハ所命ノ行進目標ニ向ヒテ行進シ其ノ他ノ小隊長車ハ基準若クハ隣接小隊長車ヨリ概ネ所定ノ間隔ヲ保テ其ノ速度ニ準ヒ之ト併行シテ行進シ其ノ他ノ車輛ハ小隊長車ヨリ所定ノ距離間隔ヲ保テ行進ス縦隊ニ在リテハ之ニ準ズ

第二百二十六 行進間ノ整頓ハ行進方向ノ正確ト速度ノ齊一トニ依リ保持シ得ルモノトス若シ整頓線ヨリ進ミ或ハ遅レ又ハ間隔ヲ失ヒタルトキハ漸次之ヲ恢復スルモノトス

第二百二十七 中隊ヲ停止セシムルニハ中隊長ハ「停止」ノ記號ヲ爲ス
中隊長車及基準小隊ハ停止シ其ノ他ノ小隊ハ基準小隊ニ準ヒ停止ス此ノ際

2010

別命ヲケレバ停止間ノ定距離ニ閉縮スルモノトス

第二百二十八 行進間右(左)向又ハ後向或ハ斜ニ右(左)向ヲ爲サシムルニハ

中隊長ハ「指揮官ニ準ヘ」テ記號ヲ爲シ所望ノ方向ニ前進ス

各車ハ中隊長車ノ動作ニ準ヒ前進スルモノトス

方向變換

第二百二十九 方向ヲ換フルニハ行進間ニ在リテハ中隊長車ハ方向變換ニ適

スル速度ヲ取り基準小隊長車ハ中隊長車ニ準ヒ軸翼方側ノモノハ減速シ外

翼方側ノモノハ増速シ停止間ニ在リテハ之ニ準ジテ行フモノトス

第二百三十 併立縦隊ノ方向ヲ換ヘシムルニハ中隊長ハ「併立縦隊作レ」ノ

記號ヲ爲ス行進間ニ在リテハ中隊長車ハ中隊正面ノ約半幅ニ等シキ半徑ノ

弧形ヲ畫キツツ所望ノ方向ニ旋回シ縦キテ行進ス

基準小隊長車ハ中隊長車ニ、其ノ他ノ小隊長車ハ基準小隊長車ニ準ヒツツ

野戰五折隊(甲) 操券教練

五九

旋回シ續キテ行進ス

其ノ他ノモノハ小隊長車ノ方向ヲ換ヘタル位置ニ到リ逐次方向ヲ換ヘ小隊長車ニ續行ス

停止間ニ在リテハ前進ヲ起シ各車ハ右ニ準ジテ方向ヲ換ヘ中隊ノ深サダケ新方向ニ前進シテ停止ス

第三百三十一 縦隊又ハ横隊ノ方向ヲ換ヘシムルニハ中隊長ハ夫々「縦隊作レ」、「横隊作レ」ノ記號ヲ爲ス

各車ハ第三百三十二準ジテ行動ス

隊形變換

第三百三十二 併立縦隊ヨリ同方向ニ横隊ヲ作ラシムルニハ中隊長ハ「横隊作レ」ノ記號ヲ爲ス

中隊長車ハ適宜小距離前進シタル後停止スルカ或ハ低速ニ移リ各小隊ハ小

隊毎ニ横隊ヲ作ル

小隊ノ縦隊ヨリ同方向ニ横隊ヲ作ラシムルニハ「横隊作レ」ヲ記號ヲ爲シ各車ハ第百十八ノ要領ニ準ジテ動作スルモノトス

第百三十三 併立縦隊ヨリ同方向ニ縦隊ヲ作ラシムルニハ中隊長ハ「縦隊作レ」ノ記號ヲ爲ス

基準小隊ハ行進ヲ起スカ或ハ續キテ行進シ其ノ他ノ小隊ハ第百十七ノ要領ニ準ジ斜右又ハ斜左ニ行進シ基準小隊ノ後方ニ到リ之ニ續行ス

併立縦隊ノ右(左)ヨリ逐次縦隊ヲ作ラシムルニハ中隊長ハ「指揮官ニ準フニ及バズ」ノ記號ヲ爲シ右(左)方ニ移動シ「縦隊作レ」ノ記號ヲ爲ス

右(左)翼小隊ハ行進ヲ起スカ或ハ續キテ行進シ其ノ他ノ小隊ハ斜右(左)ニ行進シ比隣小隊ノ後方ニ到リ之ニ續行ス

第百三十四 縦隊ヨリ同方向ニ併立縦隊ヲ作ラシムルニハ中隊長ハ「併立縦隊作レ」ノ記號ヲ爲ス

野戰瓦斯隊(甲) 投毒教練

0110

野戦五新隊(甲) 操券教練

六一

小隊ハ第百十八ノ要領ニ準シ定規ノ間隔ヲ得ル如ク行動シ新線ニ就ク
 縦隊ノ右(左)方ニ併立縦隊ヲ作ラシムルニハ中隊長ハ「指揮官ニ準フニ及
 バズ」ノ記號ヲ爲シ併立縦隊ヲ作ラシムル方側ニ移動シ「併立縦隊作レ」ノ
 記號ヲ爲ス
 各小隊ハ其ノ直前ノ小隊ノ右(左)方ニ定規ノ間隔ヲ得ル如ク行動シ新線ニ
 就ク
 縦隊ヨリ同方向ニ横隊ヲ作ラシムルニハ先ヅ併立縦隊ヲ作り次ニ横隊ニ移
 ラシムルモノトス
 第百三十五 横隊ヨリ同方向ニ併立縦隊ヲ作ラシムルニハ中隊長ハ「併立
 縦隊作レ」ノ記號ヲ爲ス
 中隊長車ハ行進ヲ起スカ或ハ緩キテ行進シ各小隊ハ小隊毎ニ縦隊ヲ作
 ル
 小隊ノ横隊ヨリ同方向ニ縦隊ヲ作ラシムルニハ「縦隊作レ」ノ記號ヲ爲シ各

0111

車ハ第百十七ノ要領ニ準ジ動作スルモノトス

第百三十六 横隊ヨリ同方向ニ縦隊ヲ作ラシムルニハ中隊長ハ「縦隊作レ」ノ記號ヲ爲ス

各小隊ハ逐次縦隊ニ移リツツ第百三十三ノ要領ニ準ジ行動スルモノトス

解散及集合

第百三十七 中隊ヲ解散セシムルニハ乗車シアルトキハ下車セシメタル後左ノ號令ヲ下ス

解_レ

第百三十八 下車シ解散シアル中隊ヲ集合セシムルニハ左ノ號令ヲ下ス

集_レ

小隊長以下下車ノ定位ニ就キ整頓ス
乗車分散シアル中隊ヲ集合セシムルニハ中隊長ハ集合ノ記號ヲ爲シタル後

野戦瓦斯隊(甲) 散着教練

所望ノ隊形ヲ示ス各小隊ハ正規ノ順序ニ速カニ中隊長車ノ位置ニ到リ示サレタル隊形ヲ取ル

戰場附近ノ行動

第三百二十九 本條以下ニ於テハ主トシテ中隊ノ行動要領ニ就キ記述ス獨立小隊ハ之ニ準ズ

第三百四十 戰場附近ニ行動スル中隊ハ所要ニ應ジ搜索並ニ警戒ヲ行フモノトス

第三百四十一 戰場附近ニ行動スル中隊ハ狀況之ヲ許セバ夜間、薄暮又ハ黎明時ヲ利用シ企圖ノ秘匿ニ勉ムルモノトス

空閒行動スル場合ニ於テハ地形、陰影等ヲ利用シ成ルベク長ク指揮掌握ニ便ナル隊形ヲ保持スルコトニ勉ムベキモノトス

第三百四十二 中隊長ハ爲シ得ル限り豫メ各小隊及中隊段列長ニ中隊ノ行進

0112

113

目標、進路、隊形等所要ノ事項ヲ指示シ置クヲ可トス狀況ニ依リ中隊段列長ヲシテ各小隊貨車分隊ノ行動ヲ區處セシムルコトアリ

小隊長及中隊段列長モ亦前項ノ要領ニ準ジ適宜所要ノ指示ヲ爲シ置クヲ可トス

貨車分隊ノ行動ニ就テハ中隊長ノ指示ニ基キ小隊長適宜之ヲ命ズルモノトス

第四百十三 戰場附近ニ行動スル中隊上空及地上ノ敵ニ暴露セントスルノ虞アルニ至レバ狀況特ニ地形ヲ考慮シ小隊及段列毎ニ逐次躍進セシメ又ハ行進目標ヲ示シテ各別ニ行動セシメ止ムヲ得ザレバ疎開隊形ヲ以テ前進シ要スレバ各小隊及段列等ノ隊形ヲ指示スル等適宜ノ處置ヲ講ジ損害ノ減少、企圖ノ秘匿ニ勉ムベキモノトス

第四百十四 中隊ヲ疎開スルニハ中隊長ハ各小隊ノ關係位置及基準小隊ノ行進目標(方向)ヲ示シ「疎開」ノ記號ヲ爲ス

野戰瓦斯隊(甲) 教養教練

基準小隊ハ示サレタル行進目標(方向)ニ向ヒ其ノ他ノ小隊ハ現在ノ關係位置ヲ保持シ又ハ命ゼラレタル配置ニ移リ距離間隔ヲ取リ其ノ位置ニ就クモノトス

第四百十五 中隊疎開ノ爲各小隊ノ關係位置ハ狀況特ニ地形ニ依リ定ムベシト雖モ通常併立縦隊又ハ横隊ニ在ル小隊及段列ヲ重疊シタルモノノ距離間隔ヲ開キタル隊形ヲ有利トシ小隊及段列ノ間隔ハ百米ヲ標準トス

第四百十六 中隊疎開ニ移レバ小隊ハ地形、陰影ノ利用等ニ依リ勉メテ敵火ヲ避ケ且敵眼ニ遮蔽シテ行動スルモノトス

中隊段列ノ行動モ亦右ニ準ズ

第四百十七 小隊ヲ疎開スルニハ小隊長ハ要スレバ基準分隊及其ノ行進目標(方向)各分隊ノ關係位置ヲ示シタル後「疎開」ノ記號ヲ爲ス

疎開ニ於テハ別命ナケレバ各分隊ノ間隔ハ約三十米、距離ハ約五十メートルモ地形ノ利用ヲ適切ナラシムル爲各分隊ニ於テ適宜伸縮スルコトヲ

五五

得
 貨車分隊ハ更ニ分隊長ノ指揮ニ依リ前項ニ準ジ疎開スルモノトス
 第四百十八 疎開シアル中隊ヲ密集隊形ニ復セシムルニハ中隊長ハ「集合」
 ノ記號ヲ爲ス
 各小隊ハ別命ナケレバ現在ノ關係位置ヲ保テ密集隊形ヲ以テ中隊長ノ許ニ
 集合ス
 第四百十九 中隊ハ對空警戒ヲ部署シ敵機ノ攻撃ニ際シテハ通常全力ヲ以
 テ射撃ヲ行フモノトス
 第四百五十 夜間ノ行動ニ方リテハ中隊ハ勉メテ道路ニ依ルヲ可トシ時間
 ノ餘裕アル限り綿密ニ進路ノ偵察、標示及所要ノ補修ヲ行ヒ要スレバ
 標兵ヲ配置スル等所要ノ準備ヲ行フヲ要ス路外行進ニ於テ特ニ然リトス村
 落内等道路交錯シ混雜ヲ豫想スル場合ニ於テハ豫メ迂回路ヲ選定シ又ハ所
 要ノ人員ヲ先行セシメ交通整理ヲ爲ス等適宜ノ處置ヲ講ズルコト必要ナ

野戰瓦新隊(甲) 技藝教練

0116

0117

野戦五新隊(甲) 撤毒教範

六八

撤毒

小隊

要旨

第五百十一 小隊長ノ的確ナル作業指揮、分隊長以下ノ適切ナル協同動作、概宜ニ適スル獨斷專行、嚴肅ナル作業軍紀及瓦斯軍紀ハ小隊撤毒ノ爲必須ノ要件ナルヲ以テ小隊ノ撤毒教練ニ在リテハ之ヲ演練ニ勉ムルト共ニ分隊長ノ能力ヲ遺憾ナク向上セシムルコト緊要ナリ。

第五百十二 小隊ノ教練ハ中隊長ノ指揮下ニ在リテ撤毒スルコトヲ主トシ

テ演練スルモ獨立シテ撤毒スルコトヲモ亦演練スルヲ要ス
小隊獨立シテ撤毒スル場合ニ於ケル小隊長ノ動作ハ中隊長ニ準ズルモノト
ス
第百五十三 小隊ノ撤毒ハ一齊撤布ニ依ルヲ通常トス

準備

第百五十四 中隊一齊撤布ノ場合ニ於テハ狀況之ヲ計セバ小隊長ハ中隊長
ノ企圖ニ基キ勉メテ各撤軍分隊長其ノ他必要ノ兵員ヲ伴ヒ小隊前進地區ノ
偵察ヲ行ヒ所要ニ應ジ標示ヲ行フモノトス

第百五十五 小隊毎ニ撤毒區域ヲ分擔スル場合ニ於テハ小隊長ハ任務、撤
毒區域、友軍ノ配備、火網構成等ノ狀態、使用毒量、撤毒時機等ニ基キ第
百五十四ニ準ジ偵察ヲ行ヒ隣接小隊長ト所要ノ協定ヲ遂ゲ撤毒要領ヲ定

野戰瓦斯隊(甲) 撤毒教練

小隊一齊撤布ノ場合ニ於テハ撤毒様式、撤布隊形、撤布ノ爲ノ運動要領、
 進入退出路要スレバ出發位置等必要ナル事項ヲ定ム。
 狀況特ニ地形ニ依リ分隊毎ニ撤毒區域ヲ分擔セシメ又ハ手撤々毒ヲ實施ス
 ル場合ニ於テハ其ノ分隊ノ撤毒區域、撤毒様式、毒液ノ配當等必要ナル事
 項ヲ定ム。

第百五十六 小隊長ハ小隊又ハ分隊ノ撤毒要領ヲ定ムルニ方リテハ平等撤
 布ヲ避ケ重要區域ニ於ケル撤毒量ヲ大ナラシムル如ク部署スルコト緊要ナ
 リ。

第百五十七 小隊毎ニ出發位置ヲ選定シ且之ニ進入スル要領ハ中隊ニ示ス
 モノニ準ズ。

夜間出發位置ニ進入ノ爲部下部隊ヲ誘導スルニ方リテハ小隊長ハ通常下車
 シ要スレバ警戒ノ手段ヲ講ジ出發位置進入前各分隊長ニ其ノ占ムベキ位置
 ヲ示スモノトス。

第五百十八 小隊長ハ成ルベク分隊長ヲ集メ現地ニ就キ撤毒ニ關スル命令ヲ下達ス

第五百十九 小隊ノ有スル資材ヲ以テ填毒スル場合ニ於テハ小隊長ハ豫メ所要ノ指示ヲ與ヘ貨車分隊長ヲシテ填毒準備ヲ爲サシメ置クモノトス

填毒ハ小隊長指揮ノ下ニ撤車分隊長ヲシテ實施セシムルヲ通常トスルモ時トシテ貨車分隊長ヲシテ實施セシムルコトアリ

第六十 小隊長ハ常ニ貨車分隊長ヲ確實ニ掌握シ填毒ノ爲ノ行動ニ關シ的確ニ指示シ以テ小隊ノ作業進捗ニ伴ハシムルコト緊要ナリ此ノ際貨車分隊長ノ行動ノ爲我方企圖ヲ暴露セザルノ著意緊要ナリ

第六十一 小隊填毒ヲ終レバ小隊長ハ撤車ヲ指揮シテ爾後ノ行動ニ移リ貨車分隊長ハ續イテ次回ノ填毒ヲ準備シ若クハ其ノ準備ヲ解ク

實 施

野戰五新隊(甲) 撤毒教練

七一

第百六十二 小隊長ハ中隊長ヨリ撤毒開始ヲ命ゼラレタルトキハ自ラ小隊ヲ指揮シ一齊撤布ヲ實施シ若クハ各分隊ニ撤毒開始ヲ命ズ

第百六十三 小隊一齊撤布ヲ實施スル場合ニ於テハ撤布開始ニ先ダチ撤布隊形ニ移ルモノトス

撤布隊形ハ通常撤車ノ横隊又ハ梯次配置ニシテ距離間隔ヲ開キタルモノヲ用フ

撤布隊形ヲ作ラシムルニハ小隊長ハ基準撤車ノ行進目標(方向)、各撤車ノ關係位置並ニ距離間隔ヲ示シタル後「撤布隊形作レ」ノ記號ヲ爲ス各分隊ハ迅速ニ其ノ位置ニ就クモノトス

小隊ノ撤布開始ハ小隊長之ヲ命ズルモノトス

第百六十四 壺間敵前ニ於テ奇襲的ニ作業ヲ敢行セントスル場合ニ於テハ

小隊ノ撤布開始ハ之ヲ同時チラシムルコト特ニ緊要ナリ

第百六十五 敵火ノ下ニ於テ撤毒スル場合ニ於テハ小隊長ハ能ク部下分隊

ヲ掌握シ我が歩砲火其ノ他ノ掩護手段ト緊密ニ協調シ一意撤毒ヲ敢行スルヲ要ス此ノ時ニ於ケル小隊長ノ勇敢機敏ナル率先垂範ト分隊長ノ機宜ニ適スル獨斷トハ撤毒ノ完成ニ至大ナル影響ヲ及スモノトス

第百六十六 分隊毎ニ撤毒區域ヲ分擔セシムル場合ニ於テハ小隊長ハ撤毒間小隊ヲ指揮スルニ便ナル地點ニ位置シ作業實施ヲ指導監督スルモノトス

第百六十七 小隊自衛ノ爲警戒區域ヲ配當セラレタルトキハ關係部隊ト連絡ヲ密ニシ監視兵ヲ配置シ要スレバ危険ナル方向ニ斥候ヲ派遣ス

直接掩護ノ部隊ヲ配屬セラレタルトキハ當時ノ狀況ニ依リ之ヲ部署ス

第百六十八 撤毒間撤毒天蓋ヲ開クヤ否ヤハ狀況特ニ敵火、風向及明暗ノ度ニ依ルモノトス

第百六十九 小隊長ハ常ニ作業手ノ體力保持ニ注意シ勉メテ防毒具裝著ノ期間ヲ短縮スルノ著意アルヲ要ス

第百七十 撤毒撤布ヲ終リ引續キ作業ヲ繼續セシトスル場合ニ於テハ小隊

野戰五隊隊(甲) 撤毒教範

長ハ豫メ受テ之ヲ命令ニ基キ小隊ヲ填實位置ニ就カシメ填實ヲ行フモノトス

第百七十一 小隊一齊撤布ヲ行フ場合ニ於テ撤毒ヲ完了セバ中隊集合位置ニ到リ應急消毒要スレバ簡易消毒ヲ爲シ爾後ノ行動ヲ準備スルモノトス

中隊

要旨

第百七十二 中隊ヲ確實ニ掌握シテ時機ニ投ジ適切ニ撤毒ヲ實行スルハ中隊長ノ責任ナリ故ニ中隊長ハ機眼ニ富ミ輕快適切ナル指揮ニ依リ常ニ中隊ノ鞏固ナル團結ヲ保持シ明確ナル企圖ニ基キ小隊長以下ニ協同ト獨斷トノ源據ヲ與ヘ中隊段列ノ運用ヲ適切ニシ以テ中隊ノ能力ヲ最高度ニ發揚セザルベカラズ

0122

第七十三 中隊ノ撤毒ハ一齊撤布ニ依ルベキヤ、中隊長統一指揮ノ下ニ
各小隊毎ニ撤毒區域ヲ分擔セシメテ實施スベキヤハ狀況ニ依ルモノトス
第七十四 中隊ノ撤毒ハ以下示ス外第二部ニ據ルモノトス

準備

第七十五 中隊長ハ全般ノ狀況ヲ明カニシ中隊ノ使用方面擬定セバ機ヲ
失セズ所要ノ捜索ヲ行ヒ之ニ基キ意見ヲ具申スルト共ニ逐次爾後ノ行動ヲ
準備スルモノトス

第七十六 中隊長ハ上級指揮官ヨリ撤毒ニ關スル命令ヲ受クレバ所要ニ
應ジ協同又ハ配屬部隊長ニ就キ其ノ企圖、要求及該方面ノ狀況ヲ承知シ所
要ノ協定及偵察ヲ行フモノトス

第七十七 中隊長ト協同部隊長トノ協定ハ爲シ得ル限り現地ニ就キ狀況
ノ緩急ニ應ジ撤毒計畫立案ニ必要ナル事項ノ一部若クハ全部ニ關シ行フモ

野戦瓦斯隊(甲) 撤毒教練

ノトス

第七十八 中隊長ハ狀況ノ緩急ヲ考慮シ敵情、我方軍ノ企圖、友軍ノ配備、火網ノ構成ト地形トノ關係、撤毒地域、中隊準備位置、出發位置及進入退出路、要スレバ壕穴位置等撤毒計畫立案ニ必要ナル事項ニ就キ所要ノ偵察ヲ行フモノトス

中隊長ハ此ノ際所要ニ應ジ標示ヲ行フモノトス

第七十九 中隊長ハ任務、敵情、地形、氣象、關係諸隊長トノ協定特ニ協同部隊長ノ企圖、戰術指導要領、就中防禦ニ在リテハ火網ノ構成及逆襲計畫並ニ中隊ノ使用シ得ル毒量等ニ基キ撤毒計畫ヲ定ム而シテ其ノ精粗ハ當時ノ狀況ニ適應セシムルコト緊要ナリ

中隊ノ撤毒計畫ニ於テハ通常撤毒目的、撤毒地域、撤毒重點、撤毒様式、撤布隊形、小隊毎ニ撤毒區域ヲ分擔セシムル場合ニ於テハ各小隊撤毒區域、毒液ノ配當、撤毒開始及完了ノ時機、中隊準備位置、出發位置、要スレバ

填實位置、進入時機、撤布ノ爲ノ運動要領、段列ノ行動、補充、修理、作
 業ノ掩護及援助、連絡、狀況特ニ氣象ノ變化並ニ毒效力ノ減退ニ慮ズル對
 策、撤毒終了後ノ行動等ニ關シ所要ノ事項ヲ決定スルモノトス
 第百八十 中隊長撤毒計畫ヲ概定セバ中隊ヲ中隊準備位置ニ進入セシメ機
 ヲ失セズ撤毒ノ諸準備ヲ行フモノトス
 第百八十一 中隊準備位置ハ敵眼、敵火ニ掩蔽シ資材ノ準備ニ便ニシテ進
 入進出容易且修理其ノ他ノ作業實施ニ適スル位置ニ選定スルヲ要ス此ノ際
 他部隊ノ爲主要道路ヲ閉塞セザルコトニ留意スルヲ要ス
 第百八十二 中隊準備位置ニ進入セバ中隊長ハ速カニ小隊ヲシテ車輛ノ點
 檢、調整、修理、毒液ノ填實、燃料脂油及水ノ補充、移液器ノ點檢調整等
 撤毒ノ爲ノ準備ヲ整ヘシムルモノトス而シテ此ノ際ニ於ケル毒液ハ中隊段
 列ヨリ直接補充スルヲ通常トス
 狀況ニ依リ中隊準備位置ニ就クコトナク直チニ出發位置ニ進入スルコトヲ

野戰瓦斯隊(甲) 撤毒隊

リ此ノ際ノ撤毒準備ハ概合アル毎ニ逐次行ヒ作業開始迄ニ之ヲ完了スベキモノトス

第百八十三 出發位置ハ之ヲ一地ニ選定スルヲ通常トスルモ状況ニ依リ所要ノ小隊毎ニ之ヲ設クルコトアリ何レノ場合ニ於テモ之ガ選定ハ勉メテ中隊長自ラ任ズルヲ可トス

第百八十四 出發位置ハ成ルベク撤毒地域ニ接近シ且、後ノ行動ニ便ナルヲ要ス然レドモ過度ニ第一線ニ接近シ部隊ノ混雜ヲ惹起スルコトヲ避ケ且夜間ニ於テハ普魯ヲ敵ニ窺取セラレザルコト緊要ナリ

状況特ニ地形及我方企圖ニ依リ故テニ第一線ト離隔シ後方或ハ側方ニ出發位置ヲ求ムルコトアリ

第百八十五 撤毒ノ爲第一回ノ填實ハ中隊準備位置ニ於テ、爾後ノ填實ハ填實位置ニ於テ行フヲ通常トス

填實位置ハ勉メテ敵眼、敵火ニ掩蔽シ且成ルベク撤毒地域ニ接近シ車輛ノ

進入進出容易、通風良好ニシテ他ニ危害ヲ及サザルヲ要ス

第百八十六 毒液ハ先ヅ中隊段列ノモノヲ使用シ各小隊携行ノモノハ勉メテ之ヲ控置スルヲ可トス状況ニ依リ先ヅ小隊ノモノヲ使用シタルトキハ機ヲ失セズ段列ヲ以テ補充シ置クコト緊要ナリ

第百八十七 中隊撤毒ノ爲通過困難ナル障碍ハ遠カニ所要ノ作業ヲ施シ通過ニ支障ナカラシムルヲ要ス

第百八十八 手撤々毒ヲ實施スル場合ニ於テハ中隊長ハ各小隊ヨリ所要ノ作業手ヲ集メ直轄ノ手撤分隊ヲ編成スルカ若クハ適宜ノ小隊ニ補給繼ヲ交付シ小隊長ヲシテ實施セシムルモノトス

第百八十九 中隊撤毒計畫確定セバ状況ノ許ス限リ撤毒開始迄ニ關係部隊ニ其ノ要項ヲ通報スルコト緊要ナリ而シテ夜間撤毒ヲ實施スル場合ニ於テハ遅クモ日没迄ニ通報スルニ勉ムルヲ要ス

第百九十 中隊撤毒開始ノ時機ハ上級指揮官ノ命令ニ依ルカ又ハ其ノ企圖

野戰瓦斯隊(甲) 撤毒教練

ニ基キ中隊長協同部隊長ト協議ノ上之ヲ決定スルモノトス

第百九十一 作業掩護ノ爲中隊自ラ發煙ヲ實施スル場合ニ於テハ中隊長ハ所要ノ發煙班ヲ編成シ又ハ準備セル前車ヲ以テ煙幕ヲ構成セシム此ノ際友軍ノ戰鬪ニ不利ナル影響ヲ及サザルノ著意緊要ナリ

第百九十二 中隊長ハ各小隊長及中隊段列長ヲ集メ現地ニ就キ撤毒ニ關スル命令ヲ下達ス

第百九十三 出發位置ニ進入ノ時機ハ企圖秘匿ノ爲爾後ノ準備ニ支障ナキ限リ勉メテ遅カラシムルヲ可トス

第百九十四 中隊準備位置ニ於ケル諸準備完了後撤毒實施迄ニ時間ノ餘裕アル場合ニ於テハ通常其ノ位置ニ中隊ヲ待機セシメ所要ノ車外員ノミヲ出發位置ニ推進シテ豫メ諸準備ヲ整ヘシムルモノトス此ノ際中隊長ハ協同部隊トノ連絡容易ニシテ中隊ノ指揮ニ便ナル地點ニ位置シ出發位置進入ノ好機ヲ待ツヲ通常トス

0128

0129

第百九十五 出發位置ニ招致スルヲ要セザル段列ノ車輛等ハ通常中隊準備位置ニ殘置スルモノトス

第百九十六 出發位置ニ前進スル中隊ハ中隊長自ラ之ヲ指揮スルヲ通常トシ狀況ニ依リ進路、要スレバ行進要領、行進順序、出發時期等ヲ示シ小隊毎ニ前進セシムルコトアリ

第百九十七 廣漠地ノ如キ遮蔽物ニ乏シキ地區ニ於テ中隊準備位置及出發位置ヲ選定セザルベカラザル場合ニ於テハ特ニ撤軍ノ偽裝ヲ完全ニシ爲シ得レバ豫メ遮蔽物ヲ設置スル等十分準備ヲ整ヘ且中隊ヲ分散配置スルヲ要ス

第百九十八 中隊出發位置ニ進入セバ速カニ出發準備ヲ完了スルモノトス

第百九十九 中隊撤毒作業ノ爲掩護隊ヲ配屬セラレタルトキハ中隊長ハ當時ノ狀況ニ基キ適宜部署スルモノトス

野戰互新隊(甲) 携毒教練

0130

野戦五新隊(甲) 撤毒教練

八二

第二百 小隊ヲ他部隊ニ配屬スル場合ニ於テハ中隊長ハ小隊長要スレバ中隊段列長ヲ集メ全般ノ狀況特ニ中隊主力ノ行動、小隊ノ配屬セラルベキ部隊、配屬ノ時機、地點、之ニ到ル進路、使用毒量、補充、段列ノ配屬、中隊長ノ位置並ニ連絡法、要スレバ掩護及援助等ニ關シ所要ノ事項ヲ命令スルモノトス

第二百一 中隊長ハ部下ヲ他部隊ニ分屬シタル場合ニ於テハ各種ノ手段ヲ講ジテ連絡ノ保持ニ勉メ段列ヲシテ補充及修理ヲ圓滑ナラシムルト共ニ適時分屬シタル部下ヲ手裡ニ掌握スルノ準備ヲ整ヘアルコト緊要ナリ

第二百二 中隊長ハ撤毒ニ關スル命令ヲ下シタル後ト雖モ敵情ノ搜索ニ勉メ第一線部隊ト緊密ナル連絡ヲ保持シ爾後得タル狀況ヲ逐次小隊ニ通報シ且中隊段列ノ行動ヲ適切ニ指導スルモノトス

實施

五新六

第二百三 撤毒開始ノ時機到ルヤ中隊長ハ撤毒ノ爲自ラ中隊ヲ率キテ前進
シ若クハ各小隊ニ撤毒開始ヲ命ズ

中隊奇襲的ニ作業ヲ實施シ或ハ火力又ハ煙幕等ニ依ル掩護下ニ之ヲ敢行セ
ントスル場合ニ於テハ各小隊作業開始ヲ勉メテ同時ナラシムルコト特ニ緊
要ナリ

第二百四 中隊長ハ撤毒實施ノ爲好機ヲ捕捉シ獨斷之ヲ開始スルヲ要スル
コト隊ナリ

第二百五 撤毒ノ爲出發位置ヲ發進シタル中隊ハ適時撤布ノ爲ノ隊形ヲ作
リツツ撤毒地域ニ進入スルモノトス

中隊一齊撤布ノ爲ノ隊形ハ各小隊ヲ一線ニ排列シ或ハ之ヲ梯次ニ配置ス
中隊ノ撤布開始ハ中隊長之ヲ命令スルモノトス

第二百六 中隊長ハ撤毒實施間ニ於テモ所要ニ應ジ搜索ヲ續行シ適時敵ノ
妨害、地形ノ障礙等ヲ排除シ以テ中隊ヲシテ完全ニ豫期スル撤毒能力ヲ發

探セシムルコトニ勉ムルモノトス
第二百七 撤毒實施中隊長ハ所要ニ應ジ自ラ自衛ノ處置ヲ講ズルモノト
 ス時宜ニ依リ各小隊ニ發波ヲ擔任セシムルコトアリ
第二百八 撤毒長時間ニ互ルトキハ中隊長ハ作業手汚毒ノ狀況ト防器具ノ
 能力トニ稽ヘ適宜之ヲ更新スルノ著意必要ナリ
第二百九 小隊毎ニ撤毒區域ヲ分擔セシメタル場合ニ於テハ撤毒實施中
 隊長ハ一般ノ戰況ヲ觀察シ且中隊ヲ指揮スルニ容易ナル位置ニ在リテ各小
 隊及段列ノ作業ヲ指導シ之ヲシテ狀況ニ適合セシメ且常ニ上級指揮官及協
 同部隊長ト確實ニ連絡ヲ保ツヲ要ス
第二百十 中隊豫定ノ撤毒ヲ完了セバ簡易消毒ヲ爲シ爾後ノ行動ヲ準備ス
第二百十一 精密消毒ハ一戰圖終了後行フヲ通常トスルモ機會ヲ得ル毎ニ
 實施スルノ著意ヲ必要トス
第二百十二 中隊長ハ撤毒開始及終了ヲ關係部隊指揮官ニ報告若クハ通報

スルモノトス

補充及修理

第二百十三 中隊ハ如何ナル場合ニ於テモ補充、修理ニ就キ百方手段ヲ盡クシ常ニ遺憾ナク其ノ能力ヲ發揮シ得ザルベカラズ

第二百十四 中隊長ハ撤毒計畫ニ基キ機ヲ失セズ中隊段列長ニ命令シ毒液ノ補充ヲ圓滑ナラシムルヲ要ス時トシテ段列ノ一部ヲ小隊ニ配屬スルコトアリ

第二百十五 中隊ノ填貨準備及之ガ撤收ハ通常中隊段列長、各小隊ノ貨車分隊ヲ併セ指揮シテ行フモノトス

填貨ハ小隊長ノ指揮ニ依リ各小隊毎ニ實施セシムルヲ通常トス

第二百十六 中隊段列長ハ絶エズ中隊長及小隊長ト連絡ヲ確保シ毒液ノ補充ニ支障ナカラシムルコト緊要ナリ

野戰五新隊(甲) 搜尋教練

第二百十七 中隊段列長ハ中隊長ノ命令ニ依リ大隊段列又ハ軍補給廠ヨリ
毒液ノ補充ヲ受クルモノトス

第二百十八 作業間中隊段列長ハ修理車及豫備車ヲシテ機ヲ失セズ故障車
ヲ修理シ得ルノ準備ニ在ラシムルコト緊要ナリ

第二節 大隊教練

第二百十九 大隊ハ若干ノ中隊及段列ヨリ成リ大隊長ノ統一指揮ノ下ニ各
中隊及段列ノ緊密ナル協同連繫ニ依リ廣大ナル地域ニ互リ短時間ニ撤毒地
域ヲ構成シ得ルモノトス

第二百二十 大隊ノ撤毒ニ關シテハ第二部ニ準ズルモノトス

第二章 消毒教練

0135

第一節 中隊教練

第一款 分隊

基本

填實

第二百二十一 消車ニ面粉ヲ填實スル爲貨車分隊ヲシテ填實準備ヲ爲サシムルニハ分隊長ハ各消車分隊ニ作業手四名ヲ配當シ填實ニ使用スベキ面粉積載貨車及作業手ヲ第十圖ノ如ク配置シタル後左ノ號令ヲ下ス
填實準備

野戰瓦斯隊(甲) 消車教練

作業手ハ協力シテ消車填貨位置ノ兩側ニ晒粉容器ヲ卸下シ容器ノ蓋ヲ脱シ内容ヲ檢シ填貨ニ便ナル如ク集積ス

第二百二十二 消車ヲ填貨位置ニ進入セシムルニハ消車分隊長ハ後車ヲ晒粉容器集積位置ノ中央ニ位置セシムル如ク誘導ス

第二百二十三 消車填貨位置ニ進入停止セバ消車分隊長ハ直チニ運轉ヲ止メ全員下車セシム

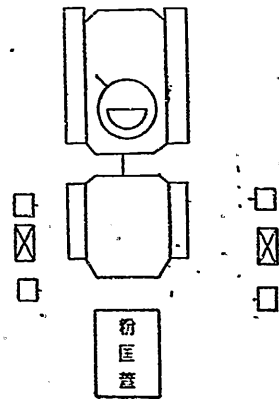
填貨準備ヲ爲シタル貨車分隊ノ作業手ハ別命ナク填貨間消車分隊長ノ指揮ニ入ルモノトス

第二百二十四 填貨用意ヲ爲サシムルニハ消車分隊長ハ左ノ號令ヲ下ス
填貨用意

作業手ハ協力シテ粉匡蓋ヲ後方ニ脱シタル後第十圖ノ如ク定位ニ就ク

0137

第十圖



野野五郎(甲) 消毒機

八九

備考
 噴霧器ノ場合
 ハ消車ノ位置ニ
 貨車ヲ置き粉匣
 蓋ヲ除ク

晒粉箱

第二百二十五

填實始メ

填實ヲ爲サシムルニハ消車分隊長ハ左ノ號令ヲ下ス

作業手ハ協力シテ逐次容器蓋及内袋ヲ除去シテ晒粉ヲ粉匡ニ移シ空箱ヲ適宜ノ位置ニ置ク此ノ際木屑其ノ他ノ異物ヲ粉匡内ニ投入セシメザルノ著意緊要ナリ

填實終了セバ適宜晒粉ノ上面ヲ平ニシ別命ナク粉匡蓋ヲ裝シ定位ニ復ス

消毒

要旨

第二百二十六 分隊ハ敵火ノ下ニ在リテ作業スル場合ニ於テモ消毒ヲシテ克ク其ノ目的及地形等ニ適應セシメ整齊確實ニ作業ヲ實施スルコト特ニ緊要ナリ故ニ分隊教練ニ在リテハ分隊長ノ指揮特ニ掌握竝ニ應用獨斷能力ノ

向上ヲ圖ルニト必要ナリ
第二百二十七 消毒様式ハ消毒路、消毒帯及消毒點トシ或ハ此等ヲ併用ス

準備

第二百二十八 消毒路、消毒帯、消毒點ヲ構成スルニハ小隊長ノ指示ニ基キ更ニ細部ノ偵察ヲ爲シ其ノ數及配置等ヲ消毒目的、地形等ニ適應セシムルコト緊要ナリ
各消毒帯及消毒點間ノ距離ハ地形、散兵ノ躍進距離ヲ考慮シテ定ムベキモ撤毒地域ノ敵ニ遠キ部分ニ於テハ之ヲ大ナラシメ敵ニ近キ部分ニ於テハ逐次之ヲ短縮スル等ノ著意ヲ必要トス而シテ撤毒地域ノ後縁附近ニハ利用部隊ノ通過後ニ於ケル汚毒部ノ消毒ニ資スル爲シ得ル限り消毒點或ハ消毒帯ヲ構成スルコト緊要ナリ又消毒路ノ縱長ハ撤毒地域ノ前、後縁ヨリモ若

野戰瓦斯隊(甲) 消毒教範

干之ヲ外方ニ及サシムルヲ要ス
 第二百二十九 消毒路、消毒帯ノ構成ニ方リテハ通常消毒進路又ハ前進目
 標、作業開始及終了地點、進入路等ヲ又消毒點ノ構成ニ方リテハ各消毒位
 置等所要ノ地點ニ標示ヲ爲スヲ通常トス

實施

第二百三十 消毒ヲシテ其ノ目的ニ合致セシムル爲小隊一齊撤布ノ場合ニ
 於テモ距離間隔ハ必ズシモ之ヲ墨守スルヲ要セズ
 第二百三十一 消毒間消毒車ニ故障ヲ生ジタル場合ニ於テハ分隊長ハ百方手
 段ヲ盡クシテ任務達成ニ勉ムルヲ要ス

第二款 小隊及中隊

消毒

小隊

要旨

第二百三十二 小隊ノ消毒ハ一齊撤布ヲ通常トスルモ状況ニ依リ各分隊ニ消毒スベキ位置ヲ示シ時トシテ消毒區域ヲ擔任セシメ小隊長統轄ノ下ニ實施セシムルコトアリ

第二百三十三 小隊協同部隊ヲ指示セラレテ消毒ニ任ズル場合ニ於テハ中隊長ニ就キ示セル消毒ノ諸法則ヲ準用スルモノトス

準備

第二百三十四 小隊消毒區域ヲ分擔スル場合ニ於テハ小隊長ハ任務、敵情、

野戰瓦斯隊(甲) 消毒教練

地形、使用晒粉量、消毒時期等ヲ考慮シ所要ノ偵察ヲ行ヒ消毒要領ヲ決定スルモノトス

小隊一齊撤布ノ場合ニ於テハ消毒様式、撤布隊形、消毒ノ爲ノ行動要領、進入退出路、要スレバ出發位置等必要ナル事項ニ就キ定ム

各分隊ニ消毒スベキ位置ヲ示シ若クハ消毒區域ヲ擔任セシメテ實施スル場合ニ於テハ其ノ分隊ノ消毒區域、消毒様式、晒粉ノ配當等必要ナル事項ニ就キ定ム

實 施

第二百三十五 豫メ撤毒地域細部ノ狀況特ニ前、後線ヲ明瞭ニ偵知スルコトナク作業ヲ實施スルヲ要スル場合ニ於テハ小隊長ハ分隊ノ撤布開始及終止ノ地點ヲ適切ナラシムル如ク指導スルコト緊要ナリ

Q143

中隊

要旨

第二百三十六 中隊ノ消毒ハ中隊長統一指揮ノ下ニ各小隊ニ消毒區域ヲ分
擔セシメテ實施スルヲ通常トスルモ狀況ニ依リ各小隊ニ協同部隊ヲ指定シ
若クハ一齊撒布ヲ行フコトアリ

準備

第二百三十七 中隊長ハ任務、敵情、地形、關係部隊トノ協定特ニ協同部隊
長ノ企圖及戰闘指導要領、中隊ノ使用シ得ル固粉量等ニ基キ消毒計畫ヲ定
ム而シテ其ノ精粗ハ當時ノ狀況ニ適應セシムルコト緊要ナリ

野戰瓦斯隊(甲) 消毒教範

中隊ノ消毒計畫ニ於テハ通常消毒目的、消毒重點、消毒樣式及其ノ配置、小隊ニ消毒區域ヲ擔任セシメ若クハ協同部隊ヲ指定シテ消毒セシムル場合ニ於テハ各小隊ノ消毒區域若クハ協同部隊、面粉ノ配當、消毒開始及終了時期、中隊準備位置及出發位置要スレバ填實位置、進入時機、撤布ノ爲ノ行動要領、隊列ノ行動、補充、修理、作業ノ掩護及援助、連絡、消毒終了後ノ行動等ニ關シ所要ノ事項ヲ決定スルモノトス。

手撤消毒ヲ實施スル場合ニ於テハ中隊長ハ適宜消毒作業隊ヲ編成スルモノトス。

第二百三十八 中隊長ハ戰鬪經過間各小隊ヲ通常協同スベキ第一線ノ後方ニ近ク前進セシメ中隊隊列ヲ適切ニ指導シ機ヲ失セズ消毒ニ任ジ得ルノ準備ニ在ラシムルコト必要ナリ

實 施

0145

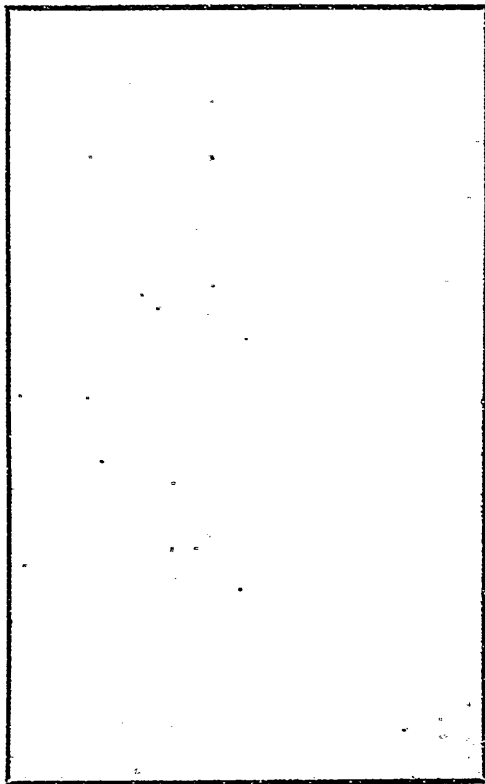
第二百三十九 中隊長ハ狀況特ニ戰況ニ鑑ミ獨斷消毒ヲ敢行スルニ躊躇ス
ベカラズ

第二百四十 中隊長ハ戰鬪ノ經過間絶エズ協同部隊ト密接ニ連絡ヲ保持シ
彼我一般ノ狀況ヲ明カニシ特ニ撤毒地ニ關スル情報ノ收集ニ勉メ又機ヲ失
セズ消毒用資材ヲ補充シ新撤毒地ニ遭遇スルヤ要スレバ部署ノ變更、消毒
資材ノ運用ヲ行ヒ以テ迅速ニ消毒シ戰果擴張ニ遺憾ナキヲ要ス

野戦五聯隊(甲) 消毒教練

九七

0146



野袋五折段(甲) 宿巻枚繰

九八

第二篇 野戰瓦斯隊(乙)

通則

第二百四十一 野戰瓦斯隊(乙)ノ本領ハ錯雜困難ナル地形或ハ夜暗ニ於テモ克ク撤毒地域ヲ構成シ又時トシテ消毒任務ニ服シ以テ全軍戰勝ノ途ヲ拓クニ在リ故ニ指揮官以下兩層ニシテ忍耐ニ富ミ責任觀念旺盛ニシテ果斷克ク其ノ本領ヲ發揮スルヲ要ス

野戰瓦斯隊(乙)ハ兵器ヲ尊重シ資材ヲ節用シ馬匹ヲ愛護シ最大ノ能力發揮ニ遺憾ナカラシムルト共ニ將校ハ常ニ科學ヲ進歩發達ニ留意シ之ガ研鑽ヲ重キ以テ任務ノ遂行ニ資セザルベカラズ

野戰瓦斯隊(乙)ノ主務變換ハ高級指揮官ノ命令ニ依ルモノトス

第二百四十二 各種困難ナル地形ニ於ケル整齊ナル作業ノ爲ニハ作業地ノ

野戰瓦斯隊(乙) 通則

九九

0147

0147

偵察ヲ綿密ニシ且的確ナル指揮ノ下ニ各種地形、地物ヲ克服シ以テ其ノ特性ニ應ズル適切且有効ナル作業ニ習熟スルコト緊要ナリ

第二百四十三 夜間ニ於ケル作業ノ爲ニハ各種ノ状況、地形ニ於テ混雜スルコトナク靜肅且確實ニ準備ヲ整ヘ整齊ニ作業ヲ實行シ得ル如ク演練スルヲ要ス而シテ黎明及薄暮時ニ於ケル作業準備及實施ニ熟達スルコト緊要ナリ

第二百四十四 戰場ニ於ケル迅速確實ナル資材ノ補充ハ野戰瓦斯隊(乙)ノ爲緊要ナル事項トス故ニ屢々之ヲ演練シ能ク其ノ動作ニ熟達セシムルヲ要ス

第二百四十五 野戰瓦斯隊(乙)ノ主務ヲ變換スル場合ニ於テハ撤毒用資材ノミヲ交換スルモノトス

第二百四十六 馬匹ノ能力ハ野戰瓦斯隊(乙)ノ任務達成ニ至大ノ影響ヲ及スモノトス故ニ幹部以下能ク其ノ調教、保育等ニ關シ十分ナル理解ヲ有シ

且常ニ之ヲ愛護シ以テ必要ニ際シ最大能力ヲ發揮セシムルヲ要ス
第二百四十七 指撥官ハ狀況ニ依リ記號若クハ號音ヲ以テ號令及命令ニ代
 ヘ又一般ニ連絡ノ爲記號ヲ用フルコト多シ
 記號トシテ特ニ定ムルモノ左記ノ如シ
 散開又ハ位置ニ就ケ 兩手ヲ左右肩ノ高サニ舉グ
 器材ヲ提ケ 兩肘ヲ側方ニ張り拳ヲ側腹ニ舉グ
 器材ヲ置ケ 兩手ヲ前方肩ノ高サニ舉グ直チニ下ロス
 撤布用意 右手ヲ右側方約四十五度上方ニ舉グ前後ニ數回
 半圓ヲ畫ク
 撤 ケ 兩手ヲ右左ニ數回上下ス
 待 テ 右手ヲ右側方約四十五度上方ニ舉グ
 止 メ 兩手ヲ左右ニ約四十五度上方ニ舉グ
 前 ヘ 片手ヲ高ク舉グ次テ之ヲ進ムベキ方向ニ伸バス

野戰五折隊(乙) 運用

止

レ

片手ヲ高ク舉ゲ直チニ下ロス

武器其ノ他ヲ以テ行フ場合亦右ニ準ズ
其ノ他所要ニ應ジ適宜ノ記號ヲ定ムルコトヲ得

第一章 撤毒教練

第一節 各個教練

要則

第二百四十八 各個教練ノ目的ハ兵ヲ訓練シテ撤布ノ諸動作ニ熟セシメ軍人精神ヲ鍛ヘ軍紀ヲ練リ部隊教練ノ確乎タル基礎ヲ作ルニ在リ
第二百四十九 撤布ノ動作ハ夜間錯雜困難ナル地形ニ於テモ確實迅速ニ實施シ得ル如ク訓練スルコト緊要ナリ

第一款 基本

第二百五十 基本教練ニ於テハ兵ヲシテ各種撤布法ニ就キ晝夜ヲ問ハズ方
向ヲ維持シ所望ノ速度、濃度及幅員ヲ以テ撤布シ得ル如ク演練スルコト緊
要ナリ

第二百五十一 基本ニ於ケル撤布法ハ連續撤布及斷續撤布トス

第二百五十二 撤布速度ハ撤布幅約一米ニテ一分間六十米ヲ基準トス

第二百五十三 基本撤布濃度ハ通常每平米概ネ五十瓦トス

第二百五十四 撤布用意ヲ爲サシムルニハ撤布兵ヲシテ豫メ負紐ヲ裝シ撤
毒器ノ後方約半歩ニ位置セシメ撤布方向(目標)及撤布法ヲ示シタル後左ノ
號令ヲ下ス

撤布用意

噴嘴發ヲ脱シ左足ヲ約半歩前ニ出シ膝ヲ地ニ著クルコトナク兩脚ヲ屈シ負

野戰瓦斯隊(乙) 撤毒教練

紐ノ鈎ヲ鈎環ニ懸ケ右手ヲ以テ織ノ底部ヲ把持シ左手ヲ添ヘ噴嘴ヲ外上方ニ保持シツツ靜カニ立チ右足ヲ左足ニ引キ著ケ織ヲ體ノ右側ニ移シ左手ヲ放チ撤布器ヲ後上方約四十五度ニ保ツ

第二百五十五 連續撤布ヲ爲サシムルニハ左ノ號令ヲ下ス

撤ケ

撤布兵ハ右手ヲ以テ織ノ底部ヲ扛ゲ撤布器ヲ後下方約三十度ニ傾ケ織ヲ自然ニ左右ニ振り幅約一米ノ間ニ蛇行形ニ連續撤布シツツ所命ノ目標ニ向ヒ前進ス

撤布間適宜右手ヲ以テ織ノ底部ヲ把持スルニ換フルニ右前臂ヲ以テ織ノ底部ヲ抱込ミ撤布スルコトヲ得

斷續撤布ヲ爲サシムルニハ「撤ケ」ノ號令ニ例ヘバ左ノ號令ヲ冠ス

十步

此ノ際撤布ヲ中止スベキ步數ハ撤布スベキ步數ト同一トスルモ然ラザルト

キハ豫メ指示ヲ與フ

第二百五十六 撤布ヲ中止セシムルニハ左ノ號令ヲ下ス

待テ

直チニ撤布ヲ中止シ撤布用意ノ儘前進ヲ繼續ス

第二百五十七 撤布ヲ止メシムルニハ左ノ號令ヲ下ス

止メ

撤布ヲ中止シアルトキハ其ノ儘、撤布シアルトキハ直チニ撤布ヲ止メ八歩前進シタル後停止シ撤布用意ト反對ノ順序ニ動作シツツ撤毒器ヲ靜カニ地上ニ卸シ其ノ場ニ起立ス

第一款 撤毒

第二百五十八 撤毒各個教練ニ於テハ主トシテ狀況ニ應ズル撤布ノ要領ヲ教育スルモノトス

野戰瓦斯隊(乙) 撤毒教練

第二百五十九 撤布教育ニ在リテハ兵ヲシテ各種困難ナル狀況、地形特ニ
夜暗ニ於テモ基本各個教練ニ於テ習得セル事項ヲ應用シ整齊確實ニ所命ノ
撤布ヲ實施シ得ルノミナラズ敵ノ利用ヲ顧慮シ地形、地物ノ狀態ニ應ズル
撤布ヲ實施シ得ルニ到ラシメ以テ常ニ自ラ信ジテ撤毒シ得ル能力ヲ與フル
コト緊要ナリ

第二百六十 樹叢、斜面、凹地等ハ敵ノ利用ヲ妨害シ得ル如ク著意シ撤布
スルヲ要ス

地形、地物ノ狀況ニ依リテハ撤毒器ヲ以テ振掛ケ或ハ風向ニ依リテハ噴嘴
ヲ體ノ側方ニシテ前進シツツ撤布スル等適宜ノ方法ヲ用フルモノトス

第二百六十一 夜間撤毒ヲ行フニハ著明ナル目標、空間記憶セル地形、地
物或ハ標示等ニ依リ行進方向ヲ確實ニ維持シ特ニ音響ノ發生ヲ防止シ且位
置及行動ヲ秘匿シツツ各種地形ヲ制シテ隠密ニ作業ヲ實施スルコト必要ナ
リ

縦ヒ敵ノ照明ヲ受クルモ尙有ユル手段ヲ盡クシテ隱密ニ作業ヲ續行スルノ
著意アルヲ要ス

第三款 戦闘間兵一般ノ心得

第二百六十二 戦闘間兵一般ノ心得ハ野戰瓦斯隊(甲)ノモノニ準ズ

第二節 中隊教練

要則

第二百六十三 中隊ハ中隊長ヲ核心トセル志氣結合ノ基礎ナリ乃チ中隊教
練ハ中隊ヲシテ如何ナル場合ニ於テモ中隊長ノ意圖ニ從ヒ衆心一致能ク攻
撃精神ヲ發揚シ困難ナル状態ニ耐ヘ克テ其ノ精神的團結ヲ保チ確實迅速ニ

野戰瓦斯隊(乙) 中隊教練

撤毒シ得ル如ク練成スルヲ主眼トス此ノ趣旨ニ基キ善ク訓練セラレタル中隊ハ豫メ修得セザルコトト雖モ能ク制式及法則ノ適當ナル應用ニ依リ目的ヲ達シ得ルモノトス

第二百六十四 中(小)隊長ハ中(小)隊ヲ指揮スル爲通常號令又ハ命令ヲ、分隊長ハ分隊ヲ指揮スル爲號令又ハ命令ヲ用フ

第二百六十五 小隊教練ニ在リテハ特ニ定ムルモノノ外中隊ノ爲定メタル制式及法則ヲ準用ス

第一款 分隊

要旨

第二百六十六 分隊教練ハ分隊長以下ヲ訓練シ協力一致シテ確實且敏捷ニ

9510

1510

動作シ特ニ撤毒動作ニ熟達セシメ以テ小隊及中隊教練ノ確乎タル基礎ヲ作ルヲ主眼トス

第二百六十七 夜間ノ動作ハ基本ノ時期ヨリ之ヲ實施シ夜暗ニ於ケル動作就中防毒具ヲ裝著シテ行フ兵器器材ノ取扱、點檢及撤毒ニ習熟セシムルヲ要ス

第二百六十八 撤毒準備ニ於テハ通常器材ノ點檢、結合等ヲ、撤毒實施ニ於テハ撤布班ノ動作ヲ演練スルモノトス

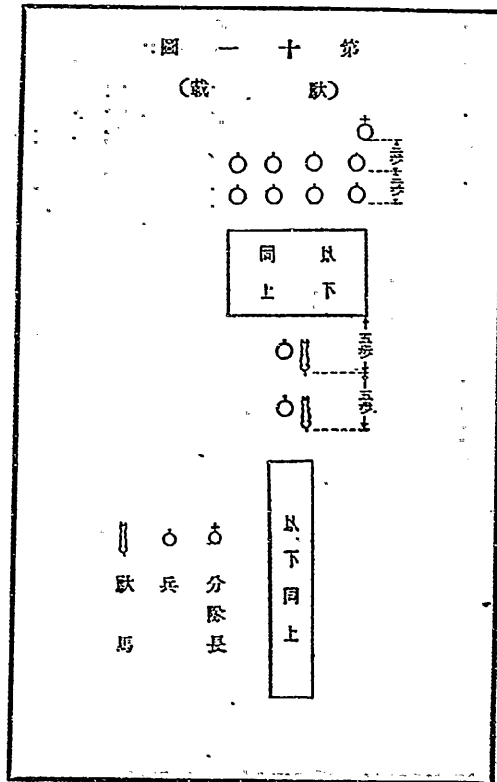
基本

隊形

第二百六十九 分隊ノ隊形第十一、第十二圖ノ如シ

野戰瓦斯隊(乙) 撤毒教練

0158



野戰互新隊(乙) 檢閲教練

110

0159

備考

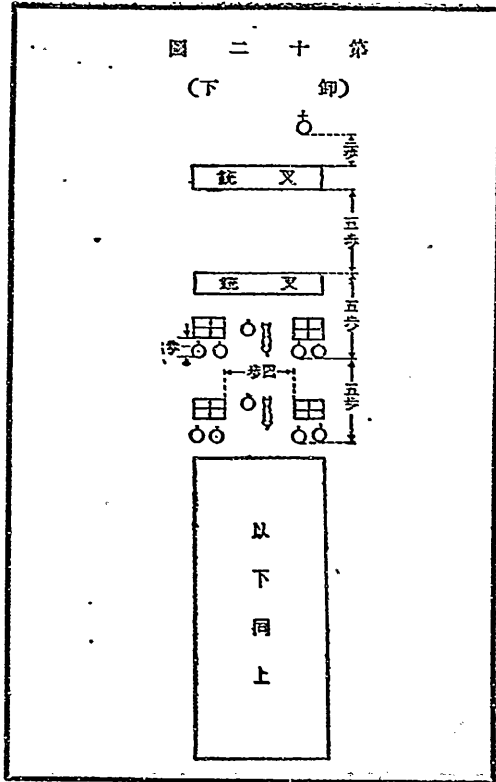
- 一、兵ノ間隔ハ一般歩兵ノ横隊ノモノニ同ジ
- 二、各列右ノ兵ハ夫々分隊長或ハ前方ノ兵ニ、各馬馱兵ハ第三伍ノ後列兵及前方馱兵ニ重ナリ各列毎ニ右ノ兵ニ整頓ス

野戦互新隊(乙) 操縦教範

一三一

0910

第二十圖
(下 卸)



野戰五折隊(乙) 銃器取扱

一三二

1910

備考

- 一、資材箱ハロヲ前方ニシテ置ク
- 二、兵ノ間隔ハ一般歩兵ノ横隊ノモノニ同ジ
- 三、右ノ兵ハ夫々分隊長及前方ノ兵ニ重ナリ其ノ他ノ兵ハ右ノ兵ニ整頓シ取兵ハ馬ヲ左右資材箱ノ中央ニシテ馬ノ肩ノ線ヲ箱ノ前端ノ線ニ在ラシムル如ク導キテ概テ前方ニ重ナル

野戰五挺隊ノシテ 操縦教練

113

馱載及卸下

第二百七十 馱載及卸下ハ通常又銃セシメタル後行フモトス
馱載ノ用意ヲ爲サシムルニハ分隊長ハ通常先頭馬ノ位置ヲ示シタル後左ノ
號令ヲ下ス

馱載用意

兵ハ第十二圖ノ如ク器材ヲ整頓シ馬匹ヲ誘導ス
第二百七十一 馱載セシムルニハ左ノ號令ヲ下ス

載セ

馱兵ハ馬ノ正面ニ立チ兩足ヲ約半歩陷開キ左手ニ曲折部ヲ持チタル儘兩
手ニ牽繩ヲ分チ拇指ヲ銜環ニ接スル如ク持チテ馬ノ頭ヲ高ク保ツ
馱兵ハ馬ノ兩側ニ於ケル準備終ルヲ見テ「宜シ」ト唱ヘ左右同時ニ載セシメ
縛リ終ルヲ見テ定位ニ就ク

0163

0164

兵ハ各、四名ゾツ一組トナリ協力シテ臥載ス
操作終レバ分隊長以下定位ニ就ク

第二百七十二 卸下セシムルニハ左ノ號令ヲ下ス

卸セ

第二百七十一ト概ネ反對ノ順序ニ動作ス

時トシテ資材箱ヲ卸下スルコトナク積載品ノミヲ卸下セシムルコトアリ

臥載行進

第二百七十三 行進ノ速度及歩法ハ一般歩兵ノモノニ同ジ但シ臥兵ハ正規
ノ歩法ヲ取ルコトナク且歩ヲ揃フルヲ要セズ

第二百七十四 直行進ヲ爲スニハ分隊長ハ與ヘラレタル目標ニ向ヒ若クハ
眞直ニ行進シ兵ハ側面縱隊ノ行進ノ要領ニ從ヒ動作シ臥兵ハ其ノ定位ヲ保
チ共ニ前方ニ重ナリテ行進ス

野戰五新隊(乙) 操業教練

一五

野戦瓦新隊(乙) 操符教練

二一六

第二百七十五 右(左)〔半右(左)〕向行進ヲ爲サシムルニハ左ノ號令ヲ下
ス

右(左)斜に右(左)へ 進メ

分隊長及兵ハ伍々右(左)〔半右(左)〕ニ方向ヲ換ヘ停止間ニ在リテハ前進ヲ
起スト同時ニ以上ノ動作ヲ爲シ續キテ直進ス但シ軸翼ニ在ル分隊長及兵ハ

半徑約四歩ノ環形ヲ畫ク如ク行進スルモノトス

殿兵ハ駄馬ヲ誘導シ外翼ノ兵ノ後方ヲ行進セシメ新正面ニ於テ定位ニ入ル
モノトス

少シク方向ヲ換ヘシムルニハ豫メ新目標(方向)ヲ示スベシ
第二百七十六 後向行進ヲ爲サシムルニハ左ノ號令ヲ下ス

半輪に右(左)へ 進メ

右(左)向行進ヲ連續二回行ヒ續キテ行進ス

第二百七十七 停止セバ整頓ス

0165

撤布

第二百七十八 毒液ヲ撤布スル爲撤毒器ヲ結合スルニ方リテハ通常三名一
組トナリ所要ノ資材ヲ以テ器材準備ノ配置ヲ取ラシメタル後行フモノト
ス
器材準備ノ基本配置第十三圖ノ如シ

野戦瓦斯隊(乙) 撤毒教練

一一七

0167

備考

- 一、二個以上ノ組ヲ設クル場合ハ通常約四歩ノ間隔ヲ以テ併列ス此ノ際ノ列番號ハ右ヨリ順序ニ稱呼ス
- 二、各列ノ補給線ノ數ハ適宜定ム
- 三、本圖ニ示ス以外ノ資材ハ適宜ノ位置ニ整頓スルモノトス

野原瓦新設(乙) 標準図様

二一九

8910

野發五新隊(乙) 標準教練

1110

第二百七十九 撒毒器ヲ結合スルニハ左ノ號令ヲ下ス

撒器ヲ著ケ

前方ノ補給罐ヨリ逐次之ニ撒布器ヲ結合ス

一作業手ハ撒布器ニ噴嘴覆ヲ裝シテ逐次他ノ作業手ニ渡シ他ノ二名ハ協力

シテ補給罐ノ口蓋ヲ脱シ撒布器ヲ補給罐ニ裝着緊定ス

全部結合ヲ終レバ器材被服ノ應急消毒ヲ爲シ舊位ニ復ス

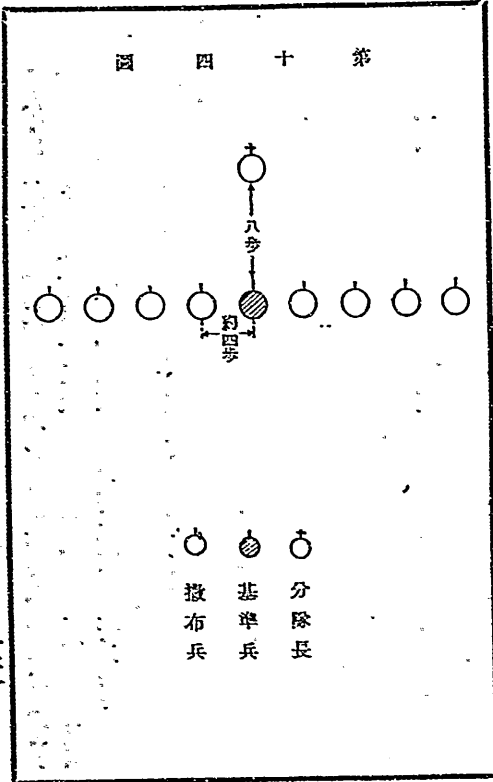
第二百八十 撒布ノ基本様式ハ綯型及耕型トス

第二百八十一 分隊撒布班ノ基本撒布隊形第十四圖ノ如シ

6970

第十四圖

野戰陣形(2) 排隊教練



一一一

野戰五新隊(乙) 操券教練

一三二

第二百八十二 耕型ノ撤布ニ在リテハ撤布兵ハ「撤ケ」ノ號令又ハ記號ニテ全員行進ヲ起スト共ニ奇數番撤布兵ハ直チニ撤布ヲ開始シ偶數番撤布兵ハ所命ノ步數前進シタル後撤布ヲ開始シ爾後第二百五十五ニ準ジ撤布ヲ繼續ス

第二百八十三 撤布前進間基準兵ハ分隊長ヲ基準トシ又ハ行進目標ニ向ヒ撤布兵ハ基準兵ヲ基準トシテ行進ス
撤布兵ハ地形、地物ニ適スル如ク撤布スル爲必ズシモ間隔ヲ墨守スルヲ要セザルモ過度ニ隣兵ニ近接シテ相互ニ汚毒セラレザル如ク注意スルヲ要ス側風ノトキニ於テ特ニ然リ

戰場附近ノ行動

第二百八十四 戰場附近ニ行動スル分隊ハ勉メテ上空及地上ノ敵ニ遮蔽シ共ノ企圖ヲ暴露セザルコト緊要ナリ

第二百八十五 戰場附近ノ行動間小隊疎開セバ分隊ハ一列縱隊ニ移ルモノ
トス分隊長ハ地形ノ地物ノ利用等ヲ適切ニシ勉メテ敵眼、敵火ニ掩蔽シツ
ツ前進スルモノトス

撒毒

要旨

第二百八十六 分隊撒毒教練ノ主眼トスル所ハ基本ノ教練ニ於テ教育セシ
諸制式、諸法則ヲ各種ノ状況、地形等ニ適應セシメ分隊ヲシテ如何ナル場
合ニ於テモ分隊長ノ意圖ノ如ク舉止恰モ一體トナリ確實迅速ニ撒毒シ得
ムルニ在リ

第二百八十七 分隊撒毒教練ハ小隊内ノ分隊トシテ演練スルモノトス

野戰五新隊(乙) 撒毒教練

三三三

準備

第二百八十八 分隊ハ通常準備位置ニ於テ小隊長ノ命令ニ基キ撤毒器ノ結合等所要ノ準備ヲ整フルモノトス

第二百八十九 分隊長ハ踏査ニ方リテハ現地ニ就キ分隊撤毒區域(部位)、器材置場等ヲ偵察シ隣接分隊長ト所要ノ協定ヲ遂ゲ小隊長ノ決定セル撤毒要領ニ基キ撤毒ノ爲ノ部署、撤布ノ方法等細項ヲ定メ要スレバ標示ヲ行ヒ又ハ標兵ヲ配置ス

第二百九十 分隊長ハ狀況特ニ地形・明暗ノ度、器材置場ト撤毒地トノ距離等ヲ考慮シ撤布班要スレバ補給班ノ區分並ニ人員ヲ定ムルモノトス而シテ撤布班ノ人員ハ分隊長ノ指揮掌握確實ニシテ作業ヲ整齊ニ實施シ得ルヲ度トシ成ルベク多キヲ可トス
撤布班ハ通常分隊長自ラ之ヲ指揮スルモノトス

2470

第二百九十一 撤毒区域内ノ錯雜セル局地又ハ特ニ重要ナル地區、地物ニ對シテ特別ノ撤布班ヲ以テ撤毒セシムルヲ有利トスルコトアリ此ノ場合ニ於テハ分隊長ハ現地ニ就キ撤布方法等ニ關シ的確ニ指示スルコト緊要ナリ
第二百九十二 藪莽、黎明ヲ利用シ撤毒地ヲ構成セントスル場合ニ於テハ稔メ爲シ得ル限りノ諸準備ヲ整ヘ撤布班ノ人員ヲ成ルベク大ナラシメ一舉ニ撤布ヲ完了スルヲ可トス
第二百九十三 器材置場ハ勉メテ撤毒地ニ近ク出入容易ニシテ敵眼ニ遮蔽スル地點ニ選定シ分隊ハ該地點ニ所要ノ資材ヲ集結シ撤布開始ノ準備ヲ爲シ又撤布終了後ノ應急消毒ヲ行フモノトス
第二百九十四 標示ハ狀況特ニ地形、豫想撤布時機等ニ依リ適宜其ノ材料及設置法ヲ定ムベシト雖モ勉メテ所在ノ地物ヲ利用シ簡易ニ設置シ敵ノ視察ヲ避クルコトニ勉ムルモノトス

野戰瓦斯隊(乙) 撤毒教練

第二百九十五 補給班ハ撤毒器ヲ次回ノ撤布開始位置ニ配置シ或ハ空罐ヲ
收集シテ逐次之ヲ器材置場ニ運搬集結スルモノトス
撤毒器ノ交換及空罐ノ收集ハ縦ヒ暗夜ニ於テモ迅速確實且靜慮ニ實施シ得
ザルベカラズ

第二百九十六 分隊長撤毒部署ヲ決定セバ之ニ基キ所要ノ命令ヲ下シ準備
ニ著手セシム此ノ際現地ニ就キ撤毒地域ノ状態ヲ示シ所要ノ注意ヲ與ヘ以
テ作業間發生シ易キ諸種ノ錯誤ヲ防止スベキモノトス

第二百九十七 分隊ハ小隊命令ニ基キ豫メ所要ノ資材ヲ器材置場等作業位
置附近ニ運搬シ置クコトアリ

第二百九十八 防毒具ヲ裝著シテ行フ動作ハ諸種ノ困難ヲ伴フヲ以テ爲シ
得ル限り更衣前ニ諸準備ヲ完了シ又準備完了後ト雖モ状況之ヲ許セバ一時
防毒具ノ全部若クハ一部ヲ脱セシムルヲ可トスルコトアリ

0174

實施

第二百九十九 撤毒實施ニ方リテハ分隊長ハ自己ノ企圖スル所ニ基キ敵火ノ状態及明暗ノ度ニ稽ヘ地形、地物ノ利用ヲ適切ニシ以テ迅速的確ニ撤毒ヲ實施スルコト必要ナリ

第三百 分隊長ハ小隊長ヨリ撤毒開始ヲ命ゼラルルヤ分隊ヲ率キテ先ヅ器材置場ニ分進シタル後撤布ヲ開始ス然レドモ既ニ器材置場ニ進入シアルトキハ直チニ撤布ヲ開始スルモノトス

第三百一 地形、風向等ヲ爲撤布手相互ニ汚毒ノ虞大ナル場合等ニ於テハ撤布手ヲ梯次ニ配置シ又ハ間隔ヲ大ナラシムル等撤布隊形ノ選定ヲ適切ナラシムルコト緊要ナリ此ノ際基準兵ノ位置ハ此等ノ隊形ヲ考慮シ之ヲ定ムルモノトス

第三百二 撤布前進間次ノ撤毒器ノ配置位置ニ違スルニ先ダチ毒液缺乏シ

野戰五新隊(乙) 撤毒隊

或ハ尙若干毒液殘存スル場合ニ於テモ其ノ配置位置ヲ變更セザルヲ可トス

第三百三 撤布間分隊長ハ絶エズ撤布手ノ撤布法則履行ノ確否、撤布要點

ニ對スル著意ノ適否等ニ注意シ以テ適切ニ撤毒ヲ實施シ得ザルベカラズ

第三百四 撤毒間甚ダシク汚毒セラレタルモノアルトキハ小隊長ノ命ニ依

リ防毒具ノ全部若クハ一部ヲ交換セシムルコトアリ

第三百五 分隊撤毒ヲ完了セバ器材置場ニ人員、資材ヲ集結シ噴嘴履ヲ裝

シ應急消毒ヲ行ヒ小隊集合位置ニ到ルモノトス

夜間ノ動作

第三百六 夜間ノ動作ハ先ヅ熟地ニ於テ發間、消暮又ハ月明ノ夜等ニ於テ行ヒ逐次其ノ程度ヲ向上シ暗夜生地ニ及シ且各種ノ狀況、地形ヲ選定シテ之ガ教育ヲ行フヲ必要トス

第三百七 夜間ノ運動ニ方リテハ著明ナル目標、標示、晝間記憶セル地形、地物等ニ依リ行進方向ヲ維持スルコトニ慣熟スルコト緊要ナリ

第三百八 夜間燈火ヲ用フルコトナク實施スル器材ノ點檢取扱及音響防止ノ處置ニ習熟セシムルハ極メテ緊要ナル事項ナリ

第三百九 夜間撤毒ハ特ニ整齊確實ナラシムルコト緊要ナリ之ガ爲爲シ得ル限リ薄暮迄ニ諸準備ヲ完了スルヲ要ス

夜間撤毒ノ爲晝間餘裕少キ場合ニ於テモ少クモ撤毒地ノ偵察、標示ハ勉メテ薄暮ノ時期ヲ利用シテ之ヲ實施シ又標兵ヲ使用スル場合ニ於テハ此ノ際現地ニ配置スルヲ可トス

止ムヲ得ザレバ標燈班ヲ設ケ撤布班ノ行進方向ノ標示ニ任ゼシムルコトアリ但シ燈火ハ中隊長ノ許可ヲ使用スルヲ禁ズ

夜間撤毒準備ヲ爲ス場合ニ於テハ特ニ火光ノ使用、警戒ノ處置ニ關シ十分ノ注意ヲ拂ヒ企圖ヲ秘匿シテ靜謐且確實ニ實施スルコト緊要ナリ

野戰瓦斯隊(乙) 撤毒教練

第三百十 夜間撤毒準備ヲ行フニ方リテハ夜暗ノ爲ヒ生ズル錯誤及危害ヲ豫防スルコト緊要ナリ之方爲分隊長以下明瞭ナル標識ヲ附シ且適宜器材ノ位置ヲ明カナラシムルノ著意ヲ必要トス

第三百十一 夜間撤毒ニ在リテハ時宜ニ依リ誘導兵ヲ設ケ分隊ノ誘導ニ專任セシムルコトアリ

第三百十二 夜間ニ在リテハ至近ノ距離ヨリ不意ニ攻撃ヲ受クル虞アルヲ以テ分隊長以下絶エズ四周ヲ警戒シ且迅速ニ之ニ對應スルノ準備ヲ整ヘアルコト緊要ナリ

第二款 小隊及中隊

密 集

要 旨

九新

第三百十三 密集隊形ハ軍隊ノ團結力鞏固ニシテ指揮掌握容易ナリ故ニ勉
 メテ此ノ隊形ヲ以テ停止シ運動スベキモノトス
 第三百十四 中(小)隊密集教練ハ中(小)隊ノ團結ヲ鞏固ニシ中(小)隊長ノ
 號令並ニ記號ニ依リ各種隊形ノ用途ニ鑑ミ確實且敏捷ニ規定ノ動作ヲ實施
 シ得シムルヲ主眼トス
 第三百十五 中隊密集教練ニ在リテハ小隊長ハ小隊ノ爲スベキ動作ヲ小隊
 員ヲ豫告スルモ妨ナシ又整頓、隊形變換等ニ在リテハ小隊ノ動作ヲ監視ス
 ルモノトス
 第三百十六 段列ハ特ニ示スモノノ外本款ノ規定ニ準ズ
 第三百十七 編成及隊形
 第三百十七 中隊ハ若干ノ小隊及段列ヲ成リ小隊ハ第一ヨリ逐次番號ヲ
 附ス

野戰五新隊(乙) 投擲教練

0180

野戦五新隊(乙) 投審教練

133

中隊ハ指揮班ヲ編成ス

小隊ハ若干ノ分隊ヨリ成リ第一ヨリ逐次番號ヲ附ス

段列ハ若干ノ分隊ヨリ成リ第一ヨリ逐次番號ヲ附ス

第三百十八 中隊ノ密集隊形ハ横隊、併立縦隊及縦隊トス

横隊ハ主トシテ集合及短距離ノ運動ニ、併立縦隊及縦隊ハ主トシテ運動ニ

用フ

第三百十九 中隊ノ横隊及縦隊ノ隊形ハ第十五、第十六圖ノ如シ

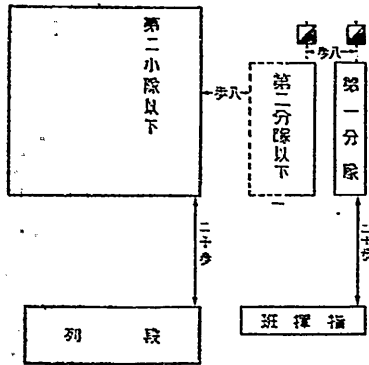
0181

0181

第五十圖

隊 校

隊 小 一 第



野戰五新隊(乙)班長指

一三三

分隊長

0182

011

野戦五挺隊(乙) 撥隊教練

一三四

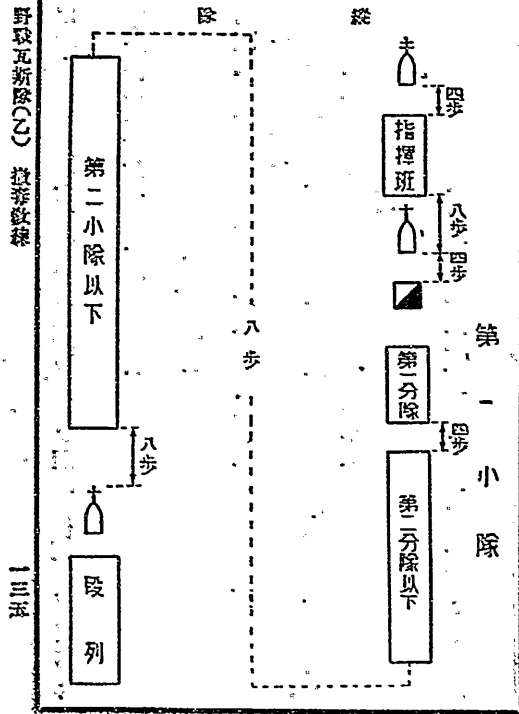
備考

- 一、中隊長(小隊長)(段列長)ハ中隊(小隊)(段列)ノ中央前ニシテ分隊長ノ後ヨリ
十(二)(六)歩前ニ位置ス
- 二、小(分)隊ハ時宜ニ依リ正規ノ順序ニ拘ラズ配置シ又距離間隔ハ之ヲ伸縮ス
ルコトヲ得
- 三、中隊指揮班及段列ノ隊形ハ中隊長之ヲ定ム
- 四、中隊長ハ時宜ニ依リ中隊指揮班及段列ノ位置ヲ變更スルコトヲ得
- 五、中隊長ハ各小隊及段列ニ屬セザル者ノ位置ヲ定ム

0183

0183

第十六圖



第三百二十 併立縦隊ハ縦隊ニ在ル小隊ヲ八歩ノ間隔ニ併列シタルモノト
ス
中隊長ノ位置ハ中央小隊ノ前方約十歩トス

密集ノ諸動作

第三百二十一 横隊ニ在ル中隊ヲ整頓セシムルニハ左ノ號令ヲ下ス
嚮導何歩前へ
各分隊長ハ前進シ右翼分隊長若クハ特ニ示サレタルトキハ其ノ分隊長ニ整
頓シ中隊長ハ其ノ位置ヲ正シタル後左ノ號令ヲ下ス

左(左)へ 準へ
直レ

「準へ」ノ號令ニテ中隊ハ前進シ各分隊長ハ分隊長ヲ基準トシテ正シク整頓
ス

0184

「直レ」ノ號令ニテ頭ヲ正面ニ復シ左手ヲ下ロス
 其ノ位置ニ於テ整頓セシムルニハ單ニ「左(左)」ヘ 準ヘ、直レノ號令ヲ下
 ス
 第三百二十二 橫隊又ハ併立縱隊ノ行進ニ在リテハ中隊長ハ通常基準小隊
 及其ノ行進目標ヲ示スモノトス此ノ際基準小隊ノ右分隊長ヲ基準トス
 直行進ニ在リテハ「前」ヘ 進メ「ノ號令ニテ中隊ハ一齊ニ行進ヲ起シ各分隊
 毎ニ歩ヲ揃フルモノトス
 停止セシムルニハ「中隊 止レ」ノ號令ヲ下ス
 第三百二十三 方向ヲ換フルニハ橫隊又ハ併立縱隊ニ在リテハ「左(左)」ニ
 方向を換ヘ 進メ「ノ號令ニテ騎翼分隊(小隊)ハ右(左)」向行進ヲ爲シ其ノ
 分隊(小隊)ノ深サヲ前進シテ停止シ其ノ他ノ分隊(小隊)ハ捷路ヲ經逐次
 新線ニ就キ騎翼分隊(小隊)ニ準ヒ停止ス但シ指揮班、中隊段列ハ各、其ノ
 長ノ指揮ヲ以テ適宜新位置ニ就クモノトス

野戰五新隊(乙) 整務教練

縦隊ニ在リテハ「位々左(左)へ」進ムノ號令ニテ先頭分隊ハ右(左)向行進ヲ爲シ其ノ他ノ分隊ハ先頭分隊ト同所ニ到リ右(左)向行進ヲ爲ス

第三百二十四 横隊ヨリ同方向ニ縦隊ヲ作ラシムルニハ左ノ號令ヲ下ス

「左(左)より縦隊作れ」進ム

右(左)翼分隊ハ直進シ其ノ他ノ分隊ハ小隊長ノ指示ニ依リ行進ヲ起シ縦隊線ヨリ入リ指揮班ハ駆歩ヲ以テ定位ニ就ク

第三百二十五 縦隊ヨリ同方向ニ横隊ヲ作ラシムルニハ左ノ號令ヲ下ス

「左(左)へ並び進ム」

先頭分隊ハ停止間ニ在リテハ動カズ行進間ニ在リテハ停止シ其ノ他ノ分隊ハ捷路ヲ經逐次新線ニ就キ軸翼分隊ニ準ヒ停止ス

縦隊ヨリ右(左)方ニ横隊ヲ作ラシムルニハ左ノ號令ヲ下ス

「右(左)へ進ム」

先頭分隊ハ右(左)向行進ヲ爲シ分隊ノ深サダケ前進シテ停止シ其ノ他ノ分隊ハ逐次新線ニ就キ停止ス

指揮班、段列ハ各、其ノ長ノ指揮ヲ以テ適宜新位置ニ就ク

第三百二十六、縱隊ヨリ同方向ニ併立縱隊ヲ作ラシムルニハ左ノ號令ヲ下ス

併立縱隊作ル 進メ

小隊長ノ指示ニ從ヒ先頭小隊ハ停止間ニ在リテハ動クコトナク行進間ニ在リテハ停止シ中央(後尾)小隊ハ左(右)方ニ定規ノ間隔ヲ取ル如ク進出ス一側ニ併立縱隊ヲ作ラシムルニハ「左(右)へ併立縱隊作ル 進メ」ノ號令ヲ下ス

指揮班及中隊段列ハ示サレタル位置ニ就ク

戰場附近ノ行動

野戰瓦斯隊(乙) 指導教範

第三百二十七 本條以下ニ於テハ主トシテ中隊ノ行動要領ニ就キ記述ス小隊獨立セル場合亦之ニ準ズ、

第三百二十八 戰場附近ニ行動スル中隊ハ所要ニ應ジ搜索竝ニ警戒ヲ行フモノトス

第三百二十九 戰場附近ニ行動スル中隊ハ狀況之ヲ許セバ夜間、薄暮又ハ黎明時ヲ利用シ企圖ノ秘匿ニ勉ムルモノトス

突間行動スル場合ニ於テハ地形、陰影等ヲ利用シ成ルベク長ク指揮卓握ニ便ナル隊形ヲ保持スルコトニ勉ムベキモノトス

第三百三十 戰場附近ニ行動スル中隊上空及地上ノ敵ニ暴露セントスル處アルニ至レバ狀況特ニ地形ヲ考慮シ小隊及中隊段列毎ニ逐次躍進セシメ又ハ行進目標ヲ示シテ各別ニ行動セシメ止ムヲ得ザレバ疎開隊形ヲ以テ前進シ要スレバ各小隊及中隊段列等ノ隊形ヲ指示スル等適宜ノ處置ヲ講ジ損害ノ減少、企圖ノ秘匿ニ勉ムベキモノトス

第三百三十一 中隊ヲ疎開スルニハ中隊長ハ各小隊ノ關係位置及基準小隊ノ行進目標(方向)ヲ示シタル後「開ケ」ノ號令ヲ下ス
 基準小隊ハ示サレタル行進目標(方向)ニ向ヒ其ノ他ノ小隊ハ現在ノ關係位置ヲ保持シ又ハ命ゼラレタル配置ニ移リ距離間隔ヲ取り其ノ位置ニ就クモノトス

第三百三十二 中隊疎開ノ爲各小隊ノ關係位置ハ狀況特ニ地形ニ依リ定ムベシト雖モ通常併立縱隊又ハ橫隊ニ在ル小隊及中隊段列ヲ重疊シタルモノノ距離間隔ヲ開キタル隊形ヲ有利トシ小隊及中隊段列ノ間隔ハ約百米ヲ標準トス

第三百三十三 中隊疎開ニ移レバ小隊ハ地形、陰影ノ利用等ニ依リ勉メテ敵火ヲ避ケ且敵眼ニ遮蔽シテ行動スルモノトス
 中隊段列ノ行動モ亦右ニ準ズルモノトス

第三百三十四 小隊ヲ疎開スルニハ小隊長ハ基準分隊及其ノ行進目標(方

野戰瓦斯隊(乙) 搜索教練

一四一

向)各分隊ノ關係位置ヲ示シタル後「開ケ」ノ號令ヲ下ス
 疎開ニ於テハ別命ナケレバ各分隊ノ間隔ハ約三十米、距離ハ約百米トスル
 モ地形ノ利用ヲ適切ナラシムル爲各分隊ニ於テ適宜伸縮スルコトヲ得、
 第三百三十五 中隊ハ對空警戒ヲ部署シ敵機ノ攻撃ニ際シテハ通常全力ヲ
 以テ射撃スルモノトス而シテ馬匹ノ狂奔ニ基ク隊伍ノ混亂防止ノ處置ヲ講
 ズルコト特ニ緊要ナリ
 第三百三十六 夜間ノ行動ニ方リテハ中隊ハ勉メテ道路ニ依ルヲ可トシ時
 間ノ餘裕アル限り綿密ニ進路ノ偵察、標示及所要ノ補修ヲ行ヒ要スレバ標
 兵ヲ配置スル等所要ノ準備ヲ行フヲ要ス路外行進ニ於テ特ニ然リトス
 村落内等道路交錯シ混雜ヲ豫想スル場合ニ於テハ豫メ迂回路ヲ選定シ又ハ
 所要ノ人員ヲ先行セシメ交通整理ヲ爲ス等所要ノ處置ヲ講ズルコト必要ナ
 リ

1610

0137

撤毒

小隊

要旨

第三百三十七 小隊長ノ的確ナル作業指揮、分隊長以下ノ適切ナル協同動作、検査ニ廻スル獨斷專行、嚴肅ナル作業軍紀及瓦斯軍紀ハ小隊ノ撤毒遂行上必須ノ要件ナルヲ以テ小隊ノ撤毒教練ニ在リテハ之方演練ニ勉ムルト共ニ分隊長ノ能力ヲ遺憾ナク向上セシムルコト緊要ナリ

第三百三十八 小隊教練ハ中隊長ノ指揮下ニ在リテ撤毒スルヲ主トシテ演練スルモ獨立シテ撤毒スルコトヲモ亦演練スルヲ要ス

對瓦斯新隊(乙) 撤毒教練

一四三

小隊獨立シテ撤毒スル場合ニ於ケル小隊長ノ動作ハ中隊長ニ準ズルモノトス

第三百三十九 小隊ノ撤毒ハ各分隊ニ撤毒區域ヲ擔任セシメ小隊長統轄ノ下ニ分隊毎ニ實施セシムルヲ通常トス

準備

第三百四十 小隊長ハ中隊長ノ企圖ニ基キ勉メテ各分隊長及所要ノ兵員ヲ伴ヒ小隊撤毒區域特ニ著意スベキ要點、進入路等必要ナル事項ニ就キ偵察ヲ行ヒ且隣接小隊長ト協定ヲ遂ゲ所要ニ應ジ標示ヲ行フモノトス

第三百四十一 小隊長ハ任務、撤毒區域、友軍ノ配備、火網稱成等ノ狀態、使用毒量、撤毒時期等ニ基キ小隊ノ準備位置、各分隊ノ撤毒區域、撤毒樣式、補給繼ノ配當、所要ニ應ジ分隊器材置場、撤毒區域内ニ設クル通路等必要ナル事項ニ就キ撤毒要領ヲ定ム

第三百四十二 小隊長ハ重要區域ニ於ケル撒布量ヲ大ナラシムル如ク各分隊ノ撒毒要領ヲ定ムルコト緊要ナリ

第三百四十三 小隊長ハ中隊命令ニ基キ小隊ヲ小隊ノ準備位置ニ進入セシム

第三百四十四 準備位置ハ敵眼、敵火ニ掩蔽シ資材ノ準備ニ便ニシテ撒毒地域ニ接近シ且爾後ノ行動ニ便ナル地ニ選定スルヲ要ス此ノ際他部隊トノ混雜ヲ惹起セシメザルコトニ留意スルヲ要ス

第三百四十五 準備位置ニ進入セバ小隊長ハ速カニ撒毒器ノ點檢、結合、資材ノ配當等撒毒ノ爲ノ準備ヲ整ヘ前進ヲ準備セシムルモノトス

第三百四十六 遮蔽物ニ乏シキ地區ニ於テ準備位置ヲ選定セザルベカラザル場合ニ於テハ特ニ馬ノ偽裝ヲ完全ニシ爲シ得レバ豫メ遮蔽物ヲ設置スル等十分遮蔽ノ準備ヲ整ヘ要スレバ分散配置スルコトニ勉ムルモノトス

第三百四十七 小隊長ハ分隊ヲ器材置場ニ前進セシムルニ先ダチ成ルベク

野戰瓦斯隊(乙) 撒毒設備

二四五

0194

0195

野戦五新隊(C) 撤毒教範

一四六

分隊長ヲ集メ現地ニ就キ撤毒ニ關シ命令ス

實施

第三百四十八 小隊長ハ中隊長ヨリ撤毒開始ヲ命ゼラレタルトキハ各分隊ニ撤毒開始ヲ命ジ器材置場ニ分進セシム時宜ニ依リ豫メ器材置場ニ分進セシメタル後撤毒開始ヲ命ズルコトアリ

第三百四十九 撤毒間小隊長ハ小隊ヲ指揮スルニ便ナル地點ニ位置シ作業實施ヲ指導監督スルモノトス

第三百五十 小隊自衛ノ爲警戒區域ヲ配當セラレタルトキハ關係部隊ト連絡ヲ密ニシ監視兵ヲ配置シ要スレバ危険ナル方向ニ斥候ヲ派遣ス時宜ニ依リ各分隊毎ニ警戒セシムルコトアリ

直接掩護ノ部隊ヲ附セラレタルトキハ當時ノ狀況ニ依リ之ヲ部署ス

第三百五十一 小隊長ハ常に作業手ノ體力保持ニ注意シ勉メテ防毒具裝着

五〇一〇

0195

0195

ノ期間ヲ短縮スルノ著意アルヲ要ス
第三百五十二 小隊撤毒ヲ終了セバ集合位置ニ於テ簡易消毒ヲ爲シ資材ヲ
秋戦シテ爾後ノ行動ヲ準備スルモノトス

申 隊

要 旨

第三百五十三 中隊ヲ確實ニ掌握シテ好機ニ投ジ適切ニ撤毒ヲ實施スルハ
中隊長ノ責任ナリ故ニ中隊長ハ常ニ中隊ノ鞏固ナル團結ヲ保持シ機眼ニ富
ミ輕快適切ナル指揮ニ依リ明確ナル企圖ニ基キ小隊長以下ニ協同ト獨斷ト
ノ選擇ヲ與ヘ且中隊隊列ノ運用ヲ適切ニシ以テ中隊ノ能力ヲ最高度ニ發揚
セザルニカカズ

野戰瓦斯隊(乙) 撤毒教練

四七

野戦五部隊(乙) 撤毒教範

二四八

準備

第三百五十四 中隊ノ撤毒ハ中隊長統一指揮ノ下ニ各小隊毎ニ撤毒區域ヲ分擔シテ實施セシムルヲ通常トス

第三百五十五 中隊ノ撤毒ハ以下示ス外第二部ニ據ルモノトス

第三百五十六 中隊長ハ全般ノ狀況ヲ明カニシ中隊ノ使用方面嚮定セバ機ヲ失セズ所要ノ搜索ヲ行ヒ之ニ基キ意見ヲ具申スルト共ニ逐次爾後ノ行動ヲ準備スルモノトス

第三百五十七 中隊長ハ上級指揮官ヨリ撤毒ニ關スル命令ヲ受クレバ所要ニ應ジ協同又ハ配屬部隊長ニ就キ其ノ企圖及要求並ニ該方面ノ狀況ヲ承知シ所要ノ協定及偵察ヲ行フモノトス

第三百五十八 中隊長ト協同部隊長トノ協定ハ爲シ得ル限り現地ニ就キ撤毒計畫立案ニ必要ナル事項ニ關シ狀況ノ緩急ニ應ジ之ヲ行フモノトス

第三百五十九 中隊長ハ狀況ノ緩急ニ應ジ敵情、友軍ノ配備、火網ノ構成ト地形トノ關係、撤毒地域、中隊ノ準備位置及進入路等撤毒計畫立案ニ必要ナル事項ヲ就キ所要ノ偵察ヲ行フモノトス

中隊長ハ此ノ際要スレバ標示ヲ行フ

第三百六十 中隊長ハ任務、敵情、地形、氣象、關係部隊長トノ協定特ニ協同部隊ノ戰鬥指導要領就中防禦ニ在リテハ火網ノ構成及逆襲計畫、中隊ノ使用シ得ル毒量等ニ基キ撤毒計畫ヲ定ム而シテ其ノ精粗ハ當時ノ狀況ニ適應セシムルコト緊要ナリ

中隊ノ撤毒計畫ニ於テハ通常撤毒ノ目的、地域、重點、様式、各小隊撤毒區域、補給線ノ配當、撤毒開始及終了ノ時機、中隊ノ準備位置、前進時機ニ馬匹ノ位置、段列ノ配屬、行動、補充、作業ノ掩護及援助、連絡、狀況特ニ氣象ノ變化並ニ毒效力ノ減退ニ應ズル對策、撤毒終了後ノ行動等ニ關シ所要ノ事項ヲ決定スルモノトス

野戰瓦斯隊(乙) 撤毒教練

一四九

第三百六十一 中隊長ハ撤毒計畫ヲ概定セバ中隊ヲ準備位置ニ進入セシメ
 或ハ爾後ノ作業ヲ爲便ナル位置ニ集結セシム

第三百六十二 中隊ノ準備位置ハ狀況特ニ地形及撤毒地ノ狀態ニ依リ一
 地若シハ數地ニ設ケ又ハ各小隊毎ニ小隊ヲ準備位置ヲ設ケシムルモノト
 ス

第三百六十三 中隊ノ撤毒計畫確定セバ狀況ノ許ス限り撤毒開始迄ニ關係
 部隊ニ其ノ要項ヲ通報スルコト緊要ナリ而シテ夜間撤毒ヲ實施スル場合ニ
 於テハ遲クモ日没迄ニ通報スルモノトス

第三百六十四 中隊撤毒開始ノ時機ハ上級指揮官ノ命令ニ基キ通常中隊長
 協同部長ト協議ノ上之ヲ定ムルモノトス

第三百六十五 中隊長ハ各小隊長及中隊段列長ヲ集メ現地ニ就キ撤毒ニ關
 シ命令ス

第三百六十六 撤毒實施迄ニ時間ノ餘裕アル場合ニ於テハ過早ニ準備位

6610

置ニ進入セシムルコトナク其ノ後方適宜ノ位置ニ待機セシムルヲ通常トス
 此ノ際中隊長ハ協同部隊トノ連絡容易ニシテ中隊ノ指揮ニ便ナル地點ニ位置シ前進ノ時機ヲ待ツモノトス
 第三百六十七 中隊ヲ作業ノ爲準備位置ニ進入セシムルノ時機ハ企圖秘匿ノ爲爾後ノ準備ニ支障ナキ限り勉メテ遅キヲ可トス
 第三百六十八 中隊撤毒作業ノ爲掩護隊ヲ配屬セラレタルトキハ中隊長ハ當時ノ状況ニ基キ適宜部署スルモノトス
 第三百六十九 小隊ヲ他部隊ニ配屬スル場合ニ於テハ中隊長ハ小隊長要スレバ中隊段列長ヲ集メ全般ノ状況特ニ中隊主力ノ行動、小隊ノ配屬セラレベキ部隊、配屬ノ時機、地點及之ニ到ル進路、使用毒量、補充、段列ノ配屬、中隊長ノ位置及連絡法要スレバ掩護及援助等ニ關シ所要ノ事項ヲ命令スルモノトス

野戦瓦斯隊(C) 投毒教練

第三百七十 中隊長ハ部下ヲ他部隊ニ配屬シタル場合ニ於テハ各種ノ手段ヲ講ジ連絡ノ保持ニ勉メ中隊段列ヲシテ補充ヲ圓滑ナラシムルト共ニ適時配屬シタル部下ヲ手裡ニ掌握スルノ準備ヲ整ヘアルコト緊要ナリ

第三百七十一 中隊長ハ撤毒ニ關スル命令ヲ下シタル後ト雖モ敵情ノ搜索ニ勉メ第一線部隊ト緊密ナル連絡ヲ保持シ爾後得タル狀況ヲ逐次小隊ニ通報シ且中隊段列ノ行動ヲ適切ニ指導スルモノトス

實施

第三百七十二 撤毒開始ノ時機到ルヤ中隊長ハ各小隊ニ撤毒開始ヲ命ズ

第三百七十三 中隊長ハ撤毒實施ノ爲好機ヲ捕捉シ獨斷之ガ開始ヲ命ズルノ著意緊要ナリ

第三百七十四 撤毒實施間中隊長ハ所要ニ應ジ自衛ノ處置ヲ講ズルモノトス時宜ニ依リ各小隊ニ警戒ヲ擔任セシムルコトアリ

第三百七十五 撤毒長時間ニ互ルトキハ中隊長ハ作業手汚毒ノ狀況ト防毒具ノ能力トニ積ヘ適宜之ヲ更新スルヲ必要トス

第三百七十六 撤毒實施間中隊長ハ一般ノ戰況ヲ觀察シ且中隊ヲ指揮スルニ容易ナル位置ヲ占メ常に上級指揮官及協同部隊長ト確實ニ連絡ヲ保ツヲ要ス

第三百七十七 中隊豫定ノ撤毒ヲ終了セバ速カニ簡易消毒ヲ爲シ爾後ノ行動ヲ準備ス

第三百七十八 精密消毒ハ一戰團終了後行フヲ通常トスルモ戰團間ト雖モ機會ヲ得ル毎ニ之ヲ實施スルノ著意緊要ナリ

第三百七十九 中隊長ハ撤毒開始及終了ヲ關係指揮官ニ報告又ハ通報スルモノトス

補充

野戰瓦斯隊(乙) 撤毒教範

第三百八十 中隊ハ如何ナル場合ニ於テモ補充ニ就キ百方手段ヲ盡クシ常ニ遺憾ナク其ノ能力ヲ發揮シ得ザルベカラズ

第三百八十一 中隊長ハ撤毒計畫ニ基キ機ヲ失セズ中隊段列長ニ命令シ補充給繼ノ補充ヲ回滑ナラシムルヲ要ス

中隊段列ハ通常中隊ノ準備位置又ハ其ノ後方補充ニ便ナル地點ニ位置セシムルモノトス時トシテ中隊段列ノ一部ヲ小隊ニ配屬スルコトアリ

第三百八十二 中隊段列長ハ絶エズ中隊長及小隊長ト連絡ヲ確保シ補充給繼ノ補充ニ支障ナガラシムルコト緊要ナリ

第三百八十三 中隊段列長ハ中隊長ノ命令ニ依リ軍補給廠ヨリ補充給繼ノ補充ヲ受クルモノトス

第二章 消毒教練

0203

第一節 各個教練

要則

第三百八十四 消毒ノ動作ハ發間熾盛ナル敵火ノ下ニ於テモ沈著機敏ニ之ヲ實施シ得ルコト緊要ナリ

第一款 基本

第三百八十五 基本教練ニ於テハ消函ニ依リ撒布ノ要領ヲ教育スルモノトス

第三百八十六 基本ニ於ケル撒布法ハ速步撒布及駈步撒布トス

第三百八十七 基本ノ撒布濃度ヲ以テ行フ一分間ノ撒布速度左ノ如シ
速步撒布 撒布幅二米ニテ少クモ三十米

野戰瓦斯隊(乙) 消毒教練

0204

既歩撤布 撤布幅一米ニテ少クモ百四十米
第三百八十八 基本ノ撤布濃度ハ通常每平方米概ネ二百瓦トス
第三百八十九 撤布用意ヲ爲サシムルニハ撤布兵ヲ豫メ準備セル消函ノ後
 方約半歩ニ位置セシメ撤布方向(目標)、撤布法、撤布幅ヲ示シタル後左ノ
 號令ヲ下ス

撤布用意

撤布兵ハ蓋ヲ函ヨリ引離シ函ノ開口部ヲ前上方ニシ兩手ニテ保持ス
第三百九十 撤布セシムルニハ左ノ號令ヲ下ス

撤ケ

撤布兵ハ上體ヲ前ニ屈シ兩手ヲ以テ左右ニ消函ヲ移動シ或ハ上下ニ之ヲ動
 カシ函粉ヲ振落シツツ所命ノ如ク前進ス此ノ際要スレバ脚ヲ約一步ニ開キ
 又消函ヲ成ルベク地面ニ近ク操作スルモノトス
第三百九十一 撤布ヲ止メシムルニハ左ノ號令ヲ下ス

0205

止メ
撤布ヲ止メ停止シ消函ヲ地上ニ卸シ其ノ場ニ起立ス

第二款 消毒

第三百九十二 消毒各個教練ニ於テハ狀況ニ應ズル運動及撤布ノ要領ニ就キ併セ教育スルモノトス

撤布兵ノ教育ノ爲ニハ面粉ニ依ル消毒ノ他所在ノ物料ニ依ル掩覆或ハ除(積)土等ノ方法ニ就テモ教育スルヲ要ス

第三百九十三 運動ノ教育ニ在リテハ兵ノ行動ヲシテ能ク狀況ニ適合セシメ壘間敵火ノ下ニ在リテモ各種地形、地物ヲ利用シ或ハ好機ヲ看破シテ機敏ニ行動シ適切ナル姿勢ト歩度トヲ以テ運動シ得ル如ク周到ナル教育ヲ施スコト必要ナリ又夜間ニ在リテハ錯雜困難ナル地形ニ於テモ大膽、沈著ニシテ確實ニ方向ヲ維持シ記號ニ應ジ靜肅ニ行動シ或ハ迅速果敢ニ運動スル

野戰瓦斯隊(乙) 消毒教練

等ノ要領ニ就キ演練スルコト緊要ナリ

第三百九十四 撤布ノ教育ニ在リテハ兵ヲシテ暗夜錯雜地又ハ密間敵火ノ下ニ在リテモ基本各個教練ニ於テ習得セル事項ヲ應用シ適切ナル姿勢ト歩度トヲ以テ確實ニ所望ノ撤布ヲ實施シ得ルノミナラス特ニ消毒點ノ構成ニ在リテハ常ニ通過部隊ノ行動ヲ考慮シ要スレバ自ラ消毒スベキ位置ヲ選定シ或ハ要點ノ撤布濃度ヲ大ナラシムル等消毒目的、地形、地物ノ状態ニ適應シテ撤布シ得ル如ク演練シ以テ獨斷應用能力ノ向上ヲ圖ルヲ要ス

第三百九十五 密間敵火ノ下ニ暴露シテ作業ヲ實施スルニハ運動ト撤布トノ連繫ヲ密ニシ敏捷果敢ニ或ハ地形、地物ヲ利用シ或ハ低姿勢ヲ以テ作業スル等作業ノ實施ヲ狀況ニ適合セシムルコト緊要ナリ

匍匐シテ撤布スルニハ消函ヲ破ヘ或ハ地上ニ推進シツツ手ニテ撥出シテ撤布シ或ハ適當ノ距離ヲ間シテ晒粉ヲ地上ニ排ケ手ニテ之ヲ播散ラス等方法ヲ用フルモノトス

第三百九十六 風ノ爲甚ダシク塵粉ノ飛散スル虞少キ場合ニ於テ敵情之ヲ許セバ上盤ヲ前ニ屈スルコトナク普通ノ速度ノ速度ヲ以テ幅約一米ノ撒布ヲ實施スルヲ有利トスルコトアリ

第三百九十七 樹叢地ノ消毒ノ爲長柄鎌ノ使用ニ習熟シアルコト必要ナリ

第二節 中隊教練

第一款 分隊

消毒

要旨

第三百九十八 分隊ハ敵前ニ於テ作業スルコト多ク且目的及地形等ニ適應セル消毒ヲ實施スルコト特ニ緊要ナリ故ニ分隊教練ニ在リテハ分隊長ノ指

野戰瓦斯隊(乙) 消毒教練

揮特ニ掌擧、應用獨斷能力ノ向上ヲ圖ルコト必要ナリ

第三百九十九 分隊長ハ消毒ノ爲分隊ヲ一團ト爲シ若干ハ若干ノ消毒班ニ

區分シテ作業ニ任ズルモノトス

第四百 消毒様式ハ消毒路及消毒點トシ或ハ此等ヲ併用ス而シテ消毒點ヲ不規則ニ點々配置スル方法ヲ特ニ消毒點ノ基布ト稱ス

準備

第四百一 消毒路、消毒點ヲ構成スルニハ小隊長ノ指示ニ基キ更ニ細部ノ偵察ヲ爲シ其ノ數、配置、幅員等ヲ消毒目的、地形等ニ適應セシムルコト緊要ナリ

各消毒點間ノ距離ハ地形、敵兵ノ阻進距離等ヲ考慮シテ定ムベキモ撤毒地ノ敵ニ遠キ部分ニ在リテハ之ヲ大ナラシメ敵ニ近キ部分ニ在リテハ逐次之ヲ短縮スル等ノ若慮ヲ必要トス而シテ撤毒地ノ後縁附近ニハ利用部隊ノ通

8020

過後ニ於ケル汚毒部ノ消毒ニ資スル爲爲シ得ル限リ消毒點ヲ構成スルヲ可トス又消毒路ノ縱長ハ撤毒地ノ前、後縁ヨリモ若干外方ニ及サシムルヲ可トス

第四百二 消毒路構成ノ爲ニハ消毒路ノ數ヲ考慮シ分隊ヲ若干ノ消毒班ニ區分シ夫々之ニ消毒路ヲ配當シ或ハ特ニ縱深長大ナル場合ニ於テハ其ノ全長ヲ適宜區分シ各班ニ分擔セシムル如ク部署スルモノトス

第四百三 一般徒歩兵ノ爲消毒點ヲ構成スル場合ニ於テハ配置スベキ消毒點ノ數ニ應ジ各消毒點ニ一若クハ二名ノ撤布兵ヲ配置シ又ハ同一撤布兵ニ一若クハ二箇ノ消毒點ヲ擔任セシメ分隊長直接指揮シテ作業ヲ實施スルヲ通常トス

重火器陣地等稍、大ナル地積ヲ有スルモノノ爲消毒點ヲ構成スル場合ニ於テハ消毒班ヲ編成シテ作業ヲ分擔セシムル如ク部署スルコトアルモノトス

野戰五折隊(乙) 消毒教練

第四百四 分隊長ハ消毒路構成ニ任ズル消毒班長ニ對シ擔任スベキ消毒路ノ位置、幅員、撤布濃度、面粉ノ配當、作業ノ爲各班ノ行動、作業間ノ分隊長ノ位置、直接警戒及連絡其ノ他所要ノ事項ヲ命令シテ作業ニ任ゼシムルモノトス

消毒點構成ニ任ズル班長其ノ他ニ對シテモ亦前項ニ準ジ所要ノ事項ヲ命令スルモノトス

第四百五 消毒班長ハ消毒路構成ノ爲ニハ通常作業手ヲ撤布兵及補給兵ニ區分シ狀況之ヲ要スレバ更ニ直接警戒兵、誘導兵等ヲ設ケ消毒點構成ノ爲ニハ狀況之ヲ要スレバ直接警戒ヲ設クル外特ニ任務ヲ區分セザルヲ通常トス

第四百六 分隊長ハ消毒路ノ構成ニ在リテハ通常進路又ハ行進目標(方向)並ニ作業開始及終了地點、進入路等ヲ又消毒點ノ構成ニ在リテハ消毒スベキ位置ヲ定メ要スレバ所要ノ標示ヲ爲ス

五折一

四イ

0211

實施

第四百七 分隊長ハ消毒路構成ノ爲消毒班ニ分進ヲ命ジ若クハ自ラ作業開始地點ニ誘導配置シ作業ヲ開始セシム

消毒路構成ノ爲分進ヲ命ゼラレタル消毒班長ハ作業開始地點ニ於テ消毒進路若クハ前進方向(目標)ヲ指示シ、撤布法、撤布幅、要スレバ撤布濃度、補充、警戒等ニ關シ命令ヲ下シ隊形ヲ取ランメタル後撤布ヲ開始ス

消毒路ハ其ノ出入口附近及中間所々ニ晒粉ヲ堆積スルノ著意ヲ必要トス

狀況特ニ資材ノ關係ニ依リ撤布ヲ斷続スルコトアリ

作業班長ハ撤布兵ヲ所望ノ方向ニ誘導シ且撤布動作ヲ監視シ要スレバ補足撤布ヲ命ズル等作業ノ指揮ニ任ズルモノトス

作業頭ニ在ル撤布兵ハ撤布幅員等ニ應ジ決定メ通常ニ若クハ二名ヨリ成リ撤布ニ任シ爾餘ノ者ハ之ニ代行シ交代シテ撤布要スレバ晒粉ノ補足撤布ヲ

野戰瓦斯部隊(乙) 消毒訓練

二六三

爲シ又ハ消函ノ傳達ニ任ス

補給兵ハ適宜ノ方法ニ依リ消函ヲ携行シ消毒作業ヲ遲滞セシメザル如ク逐

次消函ヲ撤布兵ニ交付シ所要ニ應ジ器材置場ヨリノ消函ノ運搬及補充ニ任

ズ補充ヲ終レバ撤布兵ニ續行スルモノトス

第四百八 消毒點基布ノ爲分隊長ハ撤布兵ニ消毒目的、消毒點ノ位置其ノ

他所要ノ事項ヲ的確ニ示シ之ヲ各消毒點ニ配置シ逐次又ハ同時ニ撤布セシ

ムルモノトス

消毒班ニ對シテハ適時前進ヲ命ジ若クハ自ラ作業位置ニ誘導シテ作業ヲ開

始セシム

第四百九 釜間敵火ノ下ニ於テ消毒點ヲ基布スルニハ分隊長ハ撤毒地ノ全

縱深ニ互リ撤布兵ニ消毒點概略ノ位置ヲ指示シテ配置ニ就カシメ又ハ豫メ

各兵ノ擔任スベキ消毒點ノ關係位置ヲ示シ自ラ基準撤布兵ヲ誘導シテ其ノ

位置ヲ決定シ逐次配置ニ就カシムル等狀況ニ適應スル方法ヲ取ルモノトス

0212

此ノ際消毒點ノ配置ヲ巧妙ナラシメントシテ作業開始ヲ遅延シ又ハ好機ヲ逸スルガ如キハ嚴ニ戒メザルベカラズ

第四百十 夜間消毒點ヲ葦布スルニハ明暗ノ度ニ依リ差異アルモ通常分隊長ハ豫メ偵察セル所ニ從ヒ作業ノ要領ヲ指示シ作業手ヲ逐次消毒點ニ誘導シ撤布ヲ開始セシム

第四百十一 重火器陣地等ノ爲消毒點ヲ構成スル要領亦第四百八乃至第四百十二準ズ

第四百十二 消毒作業終レバ分隊長ハ所要ノ點檢ヲ爲シ要スレバ補足撤布ヲ命ジ又夜間ノ爲ニハ消毒位置ニ於ケル道標其ノ他所要ノ標示ヲ爲スモノトス

第二款 小隊及中隊

消毒

野戰瓦斯隊(乙) 消毒教練

小隊

要旨

第四百十三 小隊ノ消毒ハ通常各分隊ニ消毒スベキ位置ヲ示シ狀況ニ依リ消毒區域ヲ擔任セシメ小隊長統轄ノ下ニ實施セシムルモノトス時宜ニ依リ各分隊ニ協同スベキ部隊ヲ指示シ適宜實施セシムルコトアリ

第四百十四 小隊協同部隊ヲ指示セラレテ消毒ニ任ズル場合ニ於テハ中隊長ニ就キ示セル消毒ノ諸法則ヲ準用スルモノトス

準備

第四百十五 小隊長ハ任務、敵情、地形、使用藥粉量、消毒時期等ニ基キ偵察ヲ行ヒ消毒要領ヲ定ム

0214

各分隊毎ニ消毒スベキ位置ヲ指示シ若クハ消毒區域ヲ分擔セシメテ實施スル場合ニ於テハ各分隊消毒區域又ハ位置、様式、晒粉ノ配當、撤布濃度、作業順序等必要ナル事項ニ就キ定ム

實施

第四百十六 晝間敵前ニ於テ奇襲的ニ作業ヲ敢行セントスル場合ニ於テハ小隊ノ撤布開始ハ之ヲ同時ナラシムルゴト特ニ緊要ナリ
第四百十七 敵火ノ下ニ於テ消毒スル場合ニ於テハ小隊長ハ能ク部下分隊ヲ掌握シ我方歩、砲火其ノ他ノ掩護手段ト緊密ニ協調シ一意消毒ヲ敢行スルヲ要ス此ノ時ニ於ケル小隊長ノ勇敢機敏ナル率先垂範ト分隊長ノ機宜ニ適スル獨斷トハ消毒ノ完成ニ至大ナル影響ヲ及スモノトス

野戰互新隊(乙) 消毒教練

中隊

要旨

第四百十八 中隊ノ消毒ハ各小隊ニ協同部隊ヲ指示シテ實施セシムルヲ通常トスルモ狀況ニ依リ各小隊ニ消毒區域ヲ擔任セシメテ實施セシムルコトアリ

準備

第四百十九 中隊長ハ任務、敵情、地形、關係部隊トノ協定特ニ協同部隊ノ戰鬥指導要領、中隊ノ使用シ得ル函粉量等ニ基キ消毒計畫ヲ定ム而シテ其ノ精粗ハ狀況ニ適應セシムルコト緊要ナリ
中隊消毒計畫ニ於テハ通常消毒ノ目的、重點、様式、配置、各小隊ノ消毒

區域若クハ協同部隊、面粉ノ配當、消毒開始及終了ノ時機、中隊準備位置、前進時機、馬匹ノ位置、段列ノ配屬、行動、補充、作業ノ掩護及援助、連絡、消毒終了後ノ行動等ニ關シ所要ノ事項ヲ決定スルモノトス

第四百二十 作業掩護ノ爲中隊自ラ發煙ヲ實施スル場合ニ於テハ中隊長ハ所要ノ發煙班ヲ編成シテ煙幕ヲ構成セシム此ノ際友軍ノ戰鬪ニ不利ナル影響ヲ及サザルノ著意緊要ナリ

第四百二十一 中隊長ハ戰鬪經過間各小隊ヲシテ通常協同スベキ第一線ノ後方ニ近ク前進セシメ中隊段列ヲ適切ニ指導シ機ヲ失セズ消毒ニ任ジ得ルノ準備ニ在ラシムルコト必要ナリ

實 施

第四百二十二 中隊長ハ狀況特ニ戰況ニ鑑ミ獨斷消毒ヲ實施スルヲ要スル

野戰消毒(乙) 消毒教範

消毒部隊の活動

一七〇

中隊火力或ハ煙幕等ニ依ル掩護下ニ作業ヲ實施スル場合ニ於テハ各小隊ノ
 作業開始ヲ同時ウラシムルニ特ニ緊要アリ
 第四百二十三 中隊長ハ戰鬥ノ經過間絶エズ協同部隊ト密接ニ連絡ヲ保持
 シ彼我一般ノ狀況ヲ明カニシ特ニ撤毒地ニ關スル情報ノ收集ニ勉メ新撤毒
 地域ニ遭遇スルヤ要スレバ部署ヲ變更、消毒資材ノ運用ヲ行ヒ以テ迅速ニ
 消毒シ第一線部隊ノ戰果擴張ニ遺憾ナキヲ要ス

第三篇 野戦瓦斯小隊

通則

第四百二十四 野戦瓦斯小隊ノ本領ハ適時適切ニ撤落地域ヲ制毒シ以テ第一線部隊ノ戦闘ニ協同スルニ在リ

第四百二十五 野戦瓦斯小隊教練一般ノ要領ハ鞍馬編制ニ基ク特異ノモノヲ除ク外野戦瓦斯隊(乙)ノ消毒教練ノ要領ニ依ル

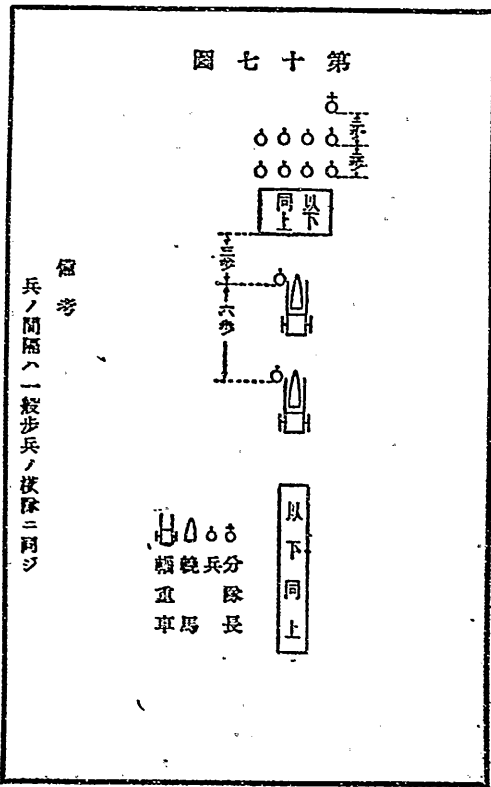
第一章 鞍馬編制ノ野戦瓦斯小隊教練

第四百二十六 分隊ノ隊形第十七圖ノ如シ

野戦瓦斯小隊 通則 鞍馬編制ノ野戦瓦斯小隊教練

0220

第七十圖



野戦瓦新小隊 銃馬車制ノ野戦瓦新小隊教練

一七二

備考
兵ノ間隔ハ一般歩兵ノ隊ニ同シ

繫駕、脱駕、車載及卸下

第四百二十七 繫駕ヲ爲サシムルニハ左ノ號令ヲ下ス

馬ヲ繫ケ

各車輛ハ取兵ハ馬ヲ左方ヨリ轅木ノ前方ニ導キテ正面ニ立チ兩足ヲ約半歩
陷開キ左手ニ曲折部ヲ持チタル儘兩手ニ牽繩ヲ分チ拇指ヲ銜環ニ接スル如
ク持チ馬頭ヲ儘カニ高メ兩轅木間ニ靜カニ後退セシム一 番乃至十五番作業
手ハ番號順ニ三名一組(第一乃至第五組ト呼ブ)トナリ各組ハ同一番號ノ車
輛ノ繫駕ニ任ズ即チ一 番、四 番、七 番、十 番、十三 番(右)二 番、五 番、八 番、
十一 番、十四 番(左)ハ夫々轅木前端外側ニ到リ轅木ヲ保持シ取兵ノ馬誘導
ヲ補助シ馬定位ニ就クヤ轅木ヲ轅木受金ニ通シ挽索及荷革、端革ノ順序ニ
之ヲ裝著シ支桿ヲ支桿駐鉤ニ鉤ス三 番、六 番、九 番、十二 番、十五 番ハ適
宜取兵又ハ他ノ作業手ノ動作ヲ補助ス

野坂五新小隊 鞍馬廻朝ノ野坂五新小隊教練

野戦五新小隊 銃馬器制ノ野戦五新小隊教範

一七四

十六番ハ分隊長ノ許ニ至リテ隨機ノ任務ニ服シ發備隊兵ハ適宜他ノ隊兵ヲ補助ス

操作終レバ定位ニ就ク

第四百二十八 脱駕ヲ爲サシムルニハ要スレバ所要ノ指示ヲ與ヘタル後左ノ號令ヲ下ス

馬ヲ解ク

第四百二十七ト概ネ反對ノ順序ニ行ヒ動作終レバ定位ニ就ク

第四百二十九 車載、卸下ハ先ヅ作業手ヲシテ又銃シ背囊ヲ卸サシメタル後行フモノトス

第四百三十 車載スルニハ分隊長ハ各車輛毎ニ車載スベキ資材ヲ車輛ノ側方四歩ノ所ニ整置セシメ所要ノ事項ヲ指示シタル後左ノ號令ヲ下ス

載セ

隊兵ハ馬ノ正面ニ立テ兩足ヲ約半歩踏開キ左手ニ曲折部ヲ持テタル儘兩手

ニ牽纏ヲ分チ指指ヲ銜環ニ接スル如ク持テ馬ノ頭ヲ高ク保ツ

作業手ハ繋駕ノ場合ト同様ニ三名ヲ以テ一組トナリ各車輛ノ資材ヲ積載ス

十六番ハ分隊長ノ許ニ在リテ臨機ノ任務ニ服シ豫備隊兵ハ所要ニ應ジ馭兵

ヲ補助シ或ハ積載ヲ援助ス

車載終レバ定位ニ復ス

車載スベキ資材少キトキハ豫メ車輛ノ側方ニ敷置スルヲ省略スルコトアリ

第四百三十一 卸下ヲ爲サシムルニハ分隊長ハ卸下スベキ資材及其ノ排列

位置其ノ他所要ノ事項ヲ指示シタル後左ノ號令ヲ下ス

卸セ

兵ハ車載ト同要領ニテ資材ヲ卸下シ所命ノ如ク整置シタル後定位ニ復ス

車載行進

野戦五新小隊 鞍馬廻場ノ野戦五新小隊教練

第四百三十二 行進ノ速度及歩法ハ一般歩兵ノモノニ同ジ但シ隊兵ハ正規ノ歩法ヲ取ルコトナク且歩ヲ揃フルヲ要セズ

第四百三十三 直行進ヲ爲スニハ分隊長ハ與ヘダレタル目標ニ向ヒ若クハ眞直ニ行進シ兵ハ側面縱隊ノ行進ノ要領ニ從ヒ動作シ隊兵ハ其ノ定位ヲ保チ共ニ前方ニ重ナリテ行進ス

第四百三十四 右(左)半右(左)向行進ヲ爲サシムルニハ左ノ號令ヲ下ス

右(左)〔斜ニ右(左)〕ハ 進メ

分隊長及兵ハ伍々右(左)〔半右(左)〕ニ方向ヲ換ヘ停止間ニ在リテハ前進ヲ起スト同時ニ以上ノ動作ヲ爲シ縦キテ直進ス但シ軸翼ニ在ル分隊長及兵ハ半徑約七歩ノ環形ヲ畫ク如ク行進スルモノトス

隊兵ハ鞍馬ヲ誘導シ外翼ノ兵ノ後方ヲ行進セシメ新正面ニ於テ定位ニ入ルモノトス

0225

第四百三十五 後向行進ヲ爲サシムルニハ左ノ號令ヲ下ス

半輪ニ右(左)ヘ進メ

右(左)向行進ヲ連続ニ同行ト被キテ行進ス

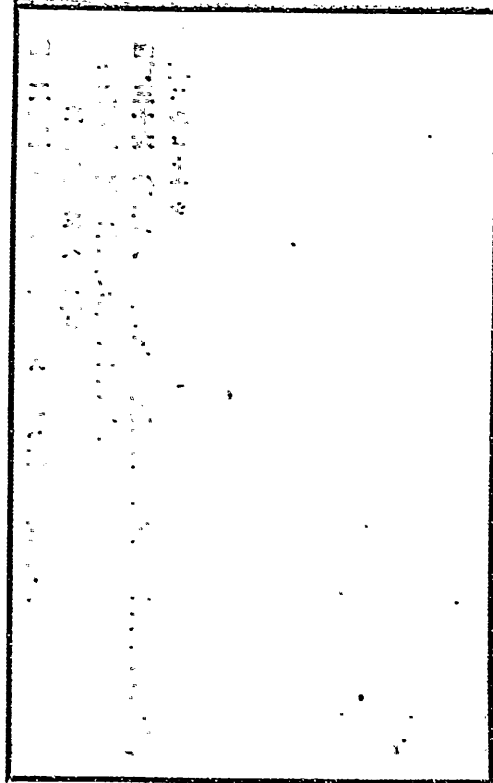
第四百三十六 停止セバ整頓ス但シ鞍馬定位ニ止ラサルモ隊兵ハ之ヲ定位ニ誘導スルコトナシ

野戦瓦斯小队 鞍馬編隊ノ野戦瓦斯小队教練

一七七

0226

0226



野原五新小隊 徳島編制ノ野原五新小隊改練

一七六

五九二二

第二部

總則

第四百三十七 野戰瓦斯隊各級指揮官ハ瓦斯ニ關スル識能豊富ニシテ他兵種ノ戰闘法ニ通曉シ戰術トヲ適切ニ調和セシメ他部隊特ニ歩兵ト協同シテ撤避地ヲ構成シ若クハ之ヲ制毒シ友軍ヲシテ遺憾ナク其ノ效果ヲ活用セシムベキモノトス

野戰瓦斯隊ノ主務變換ハ師團長若クハ其以上ノ指揮官ノ命令ニ依ルモノトス

第四百三十八 野戰瓦斯隊ハ勉メテ之ヲ統一シ全能力ヲ發揮セシムル如ク使用スルヲ本旨トス而シテ重點ニ對シ十分ノ兵力、資材ヲ使用スルヲ必要トス

總則

第四百三十九 師團ニ配屬セラレタル野戰瓦斯隊ハ師團長之ヲ直轄使用スルヤ或ハ第一線歩兵ニ配屬スルヤハ狀況ニ依ルモノトス

第一線歩兵ニ配屬セラレタル野戰瓦斯隊(甲)ハ第一線歩兵ノ指揮官之ヲ直轄使用スルヲ通常トス

第一線歩兵ニ配屬セラレタル野戰瓦斯隊(乙)ハ第一線歩兵ノ指揮官之ヲ直轄使用スルヤ或ハ更ニ部下部隊ニ配屬スルヤハ狀況ニ依ルモ通常大隊以下ニハ配屬セザルモノトス

第四百四十 野戰瓦斯隊ヲ分屬スルニ方リテハ之ヲ中隊以下ニ分割セザルヲ通常トシ止ムヲ得ザル場合ニ於テモ小隊以下ニ分割スルコトハ之ヲ避クルヲ要ス

第四百四十一 戰闘ニ方リ野戰瓦斯隊ノ所屬指揮官ヨリ受クル命令ハ所屬部隊ノ大小、狀況ノ緩急等ニ依リ差異アルモ概ネ左記事項中必要ノ件ニ關シ命令スルモノトス

0229

協同スベキ部隊

撤(制)毒目的

撤(制)毒地域若クハ方面

撤(制)毒時期

使用資材量及補充

作業終了後ノ行動

掩護及援助等

第四百四十二 情報ノ収集適當ナルトキハ撤(制)毒ノ部署方法ヲ適切ナラ

シメ以テ有利ニ瓦斯ヲ使用シ或ハ能ク僅少ノ制毒資材ヲ以テ大ナル效果ヲ

發揮シ得ルモノトス

第四百四十三 野戦瓦斯隊ト他部隊トノ協同連繫ハ撤(制)毒ヲシテ之ガ利

用部隊ノ戦闘指導要領ニ最モ緊密ニ合致セシムルヲ主眼トス之ガ爲狀況ノ

許ス限リ事前ノ協定及爾後ノ連繫ヲ緊密ナラシムルコト緊要ナリ

越前

一八一

0230

地圖

第四百四十四 撤(制)毒特ニ撤毒地域ノ構成ハ敵ノ意表ニ出ヅルニ從ヒ其ノ效果益、大ナルモノトス故ニ常ニ企圖ヲ秘匿ニ勉ムルト共ニ有ニル手段ヲ盡クシテ準備、爲シ得レバ實施ヲ底掩スルコト緊要ナリ

一八二

第一篇 撤毒

第一章 情報

第四百四十五 撤毒地域ノ構成、作業掩護ノ方法等ヲシテ状況ニ適合セシメンガ爲ニハ適時敵情特ニ其ノ對化學戰裝備、編制及訓練、敵ノ近接状況、攻撃ノ時期、方法等ヲ判定シ得ベキ諸情報ヲ収集スルコト緊要ナリ故ニ野戰瓦斯隊指揮官ハ關係諸部隊ト緊密ニ連絡ヲ保持スルノミナラズ所要ニ應ジ自ラ搜索ヲ行ヒ此等資料ノ収集ニ勉ムルト共ニ敵情ヲ明カニスルノ著意緊要ナリ

第四百四十六 撤毒ヲシテ地形ニ適應セシメンガ爲野戰瓦斯隊指揮官ハ特ニ擔任撤毒地域内ノ地形ニ通曉シアルコト必要ナリ之ガ爲各種ノ手段ヲ盡クシテ情報ノ収集ニ勉ムルト共ニ勉メテ指揮官自ラ所要ノ偵察ヲ行フヲ要

ス
 狀況ニ依リ部下將校ニ對シ現地ノ偵察ヲ命ズル場合ニ於テハ目的ヲ明確ニ指示シ之ニ基キ行動セシムルコト緊要ナリ
 作業開始前十分地形ヲ明カニシ得ザリシ場合ニ於テハ作業間ニ於テモ適宜搜索ヲ續行シ之ガ補綴ニ勉ムルモノトス車撤部隊ニ於テ特ニ然リ
 第四百四十七 氣象情報收集ノ爲野戰瓦斯隊指揮官ハ豫メ作戦地方ノ氣象統計ヲ調査スルト共ニ高等司令部又ハ氣象部隊ト連絡シ一般ノ氣象狀態ヲ明カニシ且自隊氣象機關ノ運用ヲ適切ナラシムルコト緊要ナリ

第二章 他部隊トノ協同

第四百四十八 野戰瓦斯隊指揮官ハ撤毒地域構成ノ爲協同部隊指揮官ト會同シ其ノ企圖殊ニ戰闘指導ノ要領及氣象其ノ他狀況ノ變化ニ應ズル對策等ヲ詳知シ撤毒地域特ニ其ノ重點、撤毒部署及撤毒時機等ヲシテ之ニ適應セ

シムルコト緊要ナリ
 第四百四十九 野戰瓦斯隊指揮官ハ適時第一線部隊指揮官ト連絡シ其ノ配
 備及行動ヲ明カニシ又準備位置、出發位置等ノ選定ヲ適切ニシ撤毒ニ方リ
 錯誤混亂ヲ避クルト共ニ自隊ノ警戒ヲシテ状況ニ適應セシムルコト緊要ナ
 リ
 第四百五十 撤毒ハ友軍ノ掩護下ニ行ハルルヲ通常トシ撤毒地ノ警戒、掩
 護ハ當該方面ノ部隊ニ依リ實施セラルルヲ本則トス
 第四百五十一 野戰瓦斯隊指揮官ハ機ヲ失セズ撤毒掩護ニ任ズル部隊ニ連
 絡シ撤毒要領ヲ開陳シ要スレバ所要ノ要求ヲ爲シ以テ撤毒掩護ノ部署行動
 ヲ適切ナラシムルト共ニ之ガ成果ノ利用ニ遺憾ナキヲ要ス
 第四百五十二 野戰瓦斯隊指揮官ハ作業援助部隊ニ對シテハ目的、要求ス
 ベキ作業ノ種類、完成ノ時期等ヲ的確ニ示シ其ノ作業ヲシテ我が撤毒作業
 ニ緊密ニ連繫セシムルコト緊要ナリ

撤毒 野戰瓦斯隊ノ協同

第四百五十二 野戰瓦斯隊指揮官ハ撤毒ノ開始及終了並ニ之ニ關聯スル必要事項ハ配屬又ハ協同部隊指揮官及撤毒掩護ニ任ズル部隊長ニ通報又ハ報告シ要スレバ當該方面ノ前進部隊、警戒部隊等ニ對シテ通報スベキモノトス

第三章 撤毒指揮

第四百五十四 撤毒ノ爲ノ準備シ程度及實施ノ方法ハ之ニ使用シ得ル時間ノ多寡、地形、時期等ニ依リ差異アルモノトス

第四百五十五 撤毒ノ爲時間ノ餘裕大ナル場合ニ於テハ野戰瓦斯隊指揮官ハ偵察、協同部隊トノ協定及撤毒作業ノ諸準備等ヲ綿密ニシテ撤毒計畫ヲ定メ最大ノ毒效力ヲ發揮シ得ルコトニ勉メザルベカラズ

第四百五十六 撤毒ノ爲時間ノ餘裕少キ場合ニ於テハ組織アル撤毒計畫ヲ立案スルコト通常困難ナルガ故ニ野戰瓦斯隊指揮官ハ任務ト一般ノ觀察ト

ニ基キ撤毒ノ考案ヲ定メ先ヅ部下指揮官ニ對シ概略ノ撤毒地域又ハ協同部隊及使用毒量ノ標準等ヲ命令シ速カニ作業ニ著手セシメ其ノ範圍内ニ於テ獨斷處置セシメ爾後更ニ前命令ヲ補足スル如ク實施スルモノトス

第四百五十七 廣大ナル地域ノ撤毒ヲ擔任スル場合ニ於テハ野戰瓦斯隊指揮官ハ撤毒地域ヲ適宜區分シ各區分毎ニ逐次作業ヲ實施スルヲ可トスルコトアリ分離セル二箇以上ノ廣大ナル撤毒地域ヲ擔任スル場合ニ於テ特ニ然

第四百五十八 薄暮及拂曉ハ撤毒ノ爲有利ナル機會ナルヲ以テ爾他ノ狀況之ヲ許セバ勉メテ之ヲ利用スルヲ可トス

然レドモ薄暮及拂曉撤毒ハ動モスレバ夜間及晝間撤毒トナル虞アルヲ以テ豫メ綿密ナル計畫ヲ立テ特ニ撤毒部隊ノ特性ヲ考慮シ縦ヒ時期遷延スルモ之ヲ對策ニ缺クル所ナキヲ要ス

第四百五十九 毒效力ノ減退ヲ補足シ若クハ狀況ノ進展ニ應ジ撤毒重點ヲ

成形セントスルガ如キ場合ニ於テハ中隊長以上ノ指揮官ハ一時毒液ヲ控置スルコトアリ

作業ハ通常敵ニ近キ方面ヨリ之ヲ開始スルモノトス

第四百六十 地形險蔽錯雜セル場合ニ於テハ野戰瓦斯隊(乙)指揮官ハ現地

踏査ニ依リ部下指揮官ニ綿密的確ナル任務ヲ與ヘ標示其ノ他ノ適當ナル方

法ニ依リ作業ノ準備ヲ周到ニシ實施ヲ容易ナラシムルコト緊要ナリ

第四百六十一 野戰瓦斯隊指揮官ハ撤毒ニ方リ狀況ノ緩急ニ應ジ左記事項

中必要ノ件ニ關シ命令スルモノトス

撤毒目的

撤毒地域狀況ニ依リ撤毒區域

撤毒重點

撤毒時期

使用毒量及其ノ補充

2870

撤毒終了後ノ行動
掩護及援助

其ノ他撤毒ノ準備及實施上特ニ必要ナル事項等

狀況ニ依リ單ニ協同部隊、使用毒量等ノミヲ示シ處置セシムルコトアリ

第四百六十二 撤毒開始時期ハ豫期スル戰況、撤毒地域構成ノ爲ノ所要時
間、氣象ノ影響ニ依ル毒效力ノ減退等ニ稽ヘ戰術上最重要ナル時期ニ於
テ遺憾ナク毒效力ヲ發揮シ得ルヲ度トシ之ヲ過早ナラシメザルヲ可トス
敵ハ故ラニ我ヲシテ撤毒ノ時期ヲ誤ラシムル如ク行動スルコトアルヲ以テ
之ニ欺騙セラレザルノ著意緊要ナリ

第四百六十三 野戰瓦斯隊指揮官撤毒實施ニ方リテハ部下指揮官ノ撤毒計
畫及實施ノ狀況ヲ監察シ適時所要ノ命令ヲ下達シ以テ統一アル撤毒ヲ實施
スルコト緊要ナリ

第四百六十四 野戰瓦斯隊(乙)ニ在リテモ戰況之ヲ要スレバ損害ヲ顧ミル

撤毒 撤毒指揮

コトナク蓋間敵前近距離ニ於テ撤毒ヲ敢行セザルベカラザルコトアリ
 第四百六十五 野戦瓦斯隊(甲)ハ時トシテ自己ノ構成セル撤毒地ヲ利用シ
 テ一時戦闘ヲ行フノ止ムヲ得ザルコトアルモノトス
 野戦瓦斯隊(甲)ニ於ケル輕裝甲車ノ射撃ニ關シテハ附録其ノ二ニ據ルノ外
 戰車輕裝甲車射撃教育規定ニ據ルモノトス

第四章 撤毒地域構成ノ一般要領

第四百六十六 撤毒地域ハ其ノ毒效カト敵ニ與フル精神上ノ效果トニ依リ
 火力ト相俟テテ敵ニ損害ヲ與ヘ若クハ其ノ行動ヲ掣肘シ得ル如ク之ヲ構成
 スルモノトス
 第四百六十七 撤毒地域ハ之ガ利用部隊ノ戦闘指導要領ニ合致シ克ク其ノ
 特性ヲ發揮シ得ル如ク決定スベキモノニシテ通常豫想スル敵ノ攻撃重點方
 面、我ノ確保ヲ要スベキ戰術要點前面及我ガ兵力ヲ節約セントスル方面等

0239

ニ構成セラルルモノトス時トシテ翼側、配備ノ間隙敵進路上ノ要點等ニ之ヲ構成スルコトアリ迂回困難ナル地區、敵ノ爲利用ヲ必要トスル要地等ニハ局部的ノ小ナル撤毒地ヲ構成スルモ尙效果ヲ擧ゲ得ルモノトス我ガ攻勢ヲ企圖スル正面ニ於テハ撤毒ヲ實施セザルヲ通常トスルモ時トシテ救護ノ目的ヲ以テ故ラニ斯クノ如キ方面ニ撤毒地ヲ構成スルコトアリ此ノ場合ニ於テハ豫期スル攻撃部署ヲ考慮シ攻勢ニ方リ成ルベク毒效力ノ危害ヲ避ケ得ル如ク選定スルヲ要ス

第四百六十八 撤毒地域ノ幅員及縦深ハ地形、撤毒目的、撤毒重點、友軍ノ部署等ニ依リ異ナルモ成ルベク廣大ナラシムルヲ可トス

撤毒地域ノ幅員ハ敵若シ之ヲ迴避スル場合ニ於テハ其ノ攻撃部署ヲ著シク困難ナラシムルカ或ハ分隊セル各部隊ノ協同ヲ困難ナラシムル如ク決定スベキモノトス

撤毒地域ノ縦深ハ撤毒重點ニ於テ之ヲ大ナラシムルコト緊要ナリ而シテ撤

撤毒 撤毒地域構成ノ一般要領

毒地域ニ指向セラルル我ガ火力熾烈ナルト豫想スル敵ノ通過時ニ於ケル瓦斯濃度ノ大ナルトニ從ヒ逐次縦深ヲ小ナラシメ得ルモ少クモ敵ヲシテ數回停止セシムルニ必要ナル縦深ヲ與フルコト必要ナリ又其ノ前線ハ之ヲ歩兵ノ火網内ニ在ラシムル如クスルヲ通常トス

第四百六十九 野戦瓦斯隊(乙)ハ携行毒量小ナルヲ以テ狀況ニ依リ各要點ニ撤毒シ此等ノ綜合配置ト巧ナル火力組織ト相俟ツテ目的ヲ達成スル如ク撤毒地域ヲ構成スルコトアルモノトス

野戦瓦斯隊(甲)ニ在リテモ携行毒量小ナル場合ニ於テハ時トシテ此ノ要領ヲ準用スルヲ有利トスルコトアリ

第四百七十 撤毒地域ノ前、後線ハ成ルベク之ヲ不規則ナラシメ敵ヲシテ其ノ位置ヲ捕捉スル能ハザラシメ撤毒地域ニ對スル敵ノ行動及制毒作業ヲ困難ナラシムルコト緊要ナリ

第四百七十一 撤毒量ハ撤毒目的、使用毒量、地形、地點ノ要度等ニ依リ

異ナルモ撤毒重點ニ於テ之ヲ大ナラシムルコト緊要ナリ又一般ニ我ニ近キ位置ハ然ラザル位置ニ比シ逐次大ナラシムルノ著意ヲ必要トス
時トシテ防護裝備完備セル敵ニ對シテハ防毒其裝者或ハ單ニ裝面ノミヲ強要スルニ必要ナル少量ノ毒ヲ使用スルコトアリ

第四百七十二 陣地前ニ設クル撤毒地ト我が陣地トノ距離ハ第一線部隊ノ任務、歩兵火網ノ縱深、地形、使用毒量、氣象等ニ依リ差異アルモ敵ヲシテ撤毒地域内ニ於ケル近接戰闘ヲ強要スル爲ニハ我が守兵ニ危害ヲ及サザルヲ度トシ成ルベク陣地ニ接近セシムルヲ可トス之ガ爲氣象ノ關係上時トシテ守兵モ亦一時裝面スルノ止ムヲ得ザルコトアルモノトス

第四百七十三 森林及住民地ニ於ケル撤毒地ノ構成ハ森林及住民地ノ價值、撤毒目的等ニ依リ差異アルモ攻撃據點トシテノ利用ヲ妨害スル場合ニ於テハ我ニ近キ線端ニ撤毒スルヲ可トス
第四百七十四 敵砲兵陣地、觀測所或ハ重火器ノ陣地タルベキ要地ニ對ス

撤毒 撤毒地域構成ノ一般要領

ル撤毒ハ隊ノ利用ヲ妨害スル如ク實施スルコト必要ニシテ使用毒量及撤毒
區域ハ之ヲ過小ナラシメザルコト緊要ナリ

第四百七十五 偽撤毒地域ノ撤毒ハ敵ヲシテ眞撤毒地域ト誤認セシムル如
ク前後及要點ハ比較的撤毒量ヲ大ナラシメ然ラザル地域ニ於テハ適宜疎散
ニスル等少量ノ毒莖ヲ以テ目的ヲ達成スルコトニ勉ムルモノトス
狀況之ヲ許セバ偽液ヲ用フルコトアリ

第五章 補充

第四百七十六 人員及資材ノ補充ハ野戰瓦斯隊ノ戦力ヲ保持増進スル爲緊
要ナリ故ニ各級指揮官ハ常ニ之ニ留意スルヲ要ス

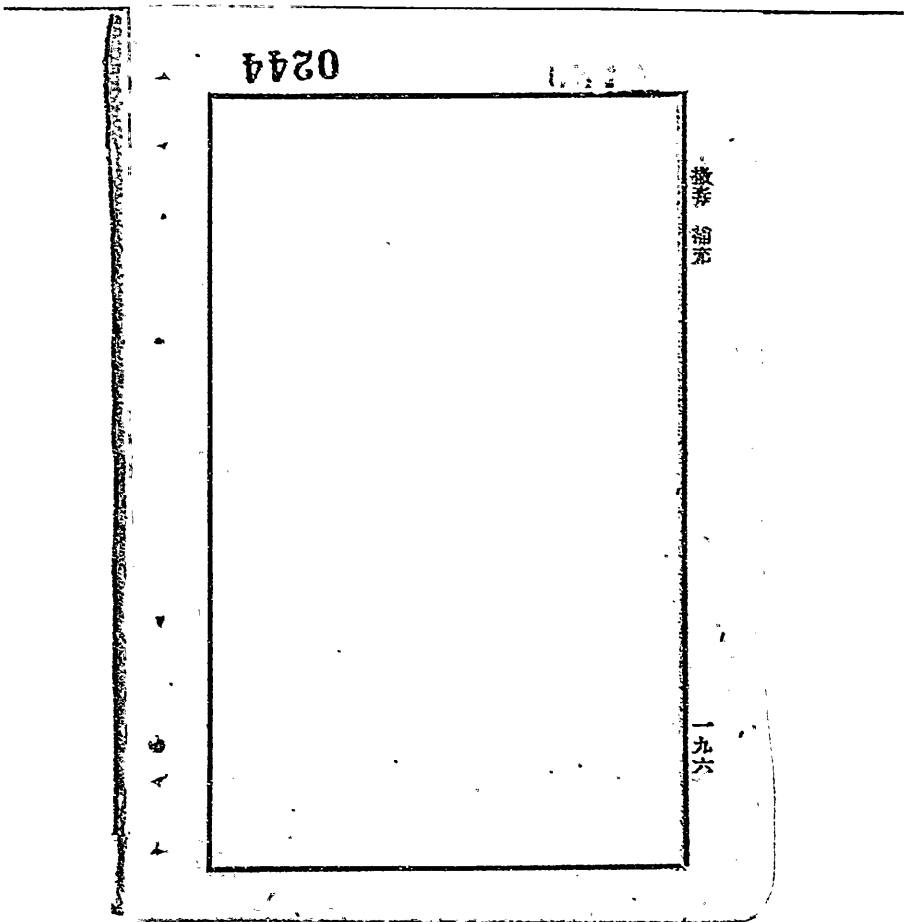
第四百七十七 野戰瓦斯隊指揮官ハ絶エズ毒液消費ノ狀況ヲ詳カニシ之ヲ
上級指揮官ニ報告シ機ヲ失セズ補充ノ處置ヲ講ジ資材ノ整備ニ遺憾ナキヲ
要ス

0243

第四百七十八 野戰瓦斯隊指揮官ハ上級指揮官ノ命令ニ基キ段列ニ對シ適時所要ノ命令ヲ與ヘ毒液ヲ補充セシムルモノトス
第四百七十九 野戰瓦斯隊ノ化學戰資材ハ軍補給廠ヨリ補充ヲ受クルヲ通常トス

撥充

一九五



第二篇 制毒

第一章 情報

第四百八十 制毒及作業掩護ノ方法等ヲシテ状況ニ適合セシメンガ爲豫メ
敵ノ撤毒ニ關スル慣用戰法、撤毒地域構成要領及使用瓦斯等ニ關スル情報
ヲ收集シテ之ガ對策ヲ考究スルト共ニ適時撤毒地域ト敵陣地特ニ火力配置
トノ關係及附近ノ地形ヲ明カナラシムルコト極メテ緊要ナリ故ニ野戰瓦斯
隊指揮官ハ關係諸部隊ト緊密ニ連繫シテ全般ノ状況ヲ明カニスルノミナラ
ズ所要ニ應ジ自ラ搜索ヲ行ヒ敵情ヲ明カニスルノ著意緊要ナリ

第四百八十一 制毒ノ計畫及實施ヲシテ状況ニ適合セシメンガ爲ニハ撤毒
地域ノ狀態特ニ敵陣地トノ關係、幅員、縱深、撤毒時期、毒效力等ヲ明カ
ニスルコト極メテ緊要ナリ而シテ縱深及後縁等ハ適時的確ニ把握スルコト

制毒 情報

困難ナルヲ以テ敵軍ノ配備、地形、氣象特ニ風向等ニ依リ判定スベキ場合多シトス又毒效力ハ瓦斯ノ種類、濃度、撤毒時期、地形、氣象等ニ依リ著シク異ナルモノナルコトニ留意スルヲ要ス

第四百八十二 敵ハ撤毒ノ時期ヲ勉メテ遅クシ時トシテ我方攻撃前進ヲ認メタル後之ヲ實施スルコトアリ障地内部ニ於ケル戦闘ニ於テ特ニ然リトス

敵ノ撤毒實施間ニ於ケル搜索ハ其ノ效果特ニ大ナルヲ以テ之ガ好機ヲ逸セザルヲ要ス

第四百八十三 時トシテ敵ハ毒液ヲ稀薄ニ撒布セル撤毒地域又ハ偽撤毒地域ヲ構成スルコトアルヲ以テ敵軍全般ノ部署、撤毒地域構成要領、使用瓦斯等ヲ搜索調査シ速方ニ其ノ企圖ヲ看破スルコト必要ナリ

第四百八十四 第四百四十六、第四百四十七ハ本章ニ之ヲ準用スルモノトス

第二章 他部隊トノ協同

第四百八十五 野戦瓦斯隊指揮官ハ制毒ノ爲協同スベキ部隊ノ指揮官ト會同シ其ノ企圖特ニ撤毒地域通過指導要領ヲ詳知シ以テ制毒要領特ニ制毒路、制毒帯、制毒點ノ配置、制毒開始及終了時機等ヲシテ之ニ適應セシムルコト緊要ナリ

第四百八十六 制毒ノ成果ヲ利用スル爲制毒位置ニ到ル標示ノ設置及通過ノ誘導等ハ通過部隊ノ擔任トスルモ狀況ニ依リ野戦瓦斯隊ニ於テモ協同部隊ノ爲所要ノ標示ヲ設置シ又誘導ヲ擔任スルコトアルモノトス

第四百八十七 配屬又ハ協同スベキ部隊自力ヲ以テ制毒ヲ實施スル場合ニ於テハ野戦瓦斯隊ハ重要ナル方面又ハ困難ナル方面ノ作業ヲ擔任スルヲ通常トス

野戦瓦斯隊ハ時トシテ他隊ノ行フ制毒作業ノ指導ニ任ジ或ハ之ヲ援助スル

制毒 他部隊トノ協同

第四百八十八 第四百四十九乃至第四百五十三ハ本章ニ之ヲ準用スルモノトス

第三章 制毒指揮

第四百八十九 野戰瓦斯隊指揮官ハ絶エズ敵情ヲ觀察シ特ニ瓦斯ニ關スル企圖ノ諜知ニ勉メ又關係部隊ノ戰闘指導要領ヲ詳知シ且制毒資材ノ整備ニ勉メ適時適切ニ制毒作業ヲ實施シ得ル如ク諸般ノ準備ヲ整ヘアルコト緊要ナリ而シテ此ノ場合狀況ノ變化ニ應ズル爲通常所要ノ制毒資材時トシテ一部ノ兵力ヲ控置スルヲ要スルコトアリ

第四百九十 制毒資材ハ戰闘ノ重要時期ニ其ノ大部ヲ使用スベキモノニシテ之ガ爲野戰瓦斯隊指揮官ハ能ク所屬部隊指揮官ト連絡シ絶エズ全般ノ狀況ヲ觀察シ以テ之ガ效果ヲ有利ニ發揮スルコトニ勉ムベキモノト

6720

ス
第四百九十一 野戦瓦斯隊指揮官ハ制毒ニ方リ部下部隊ニ協同部隊ヲ命ジテ作業セシムルヤ或ハ直接指揮ノ下ニ制毒地域ヲ配當シテ作業セシムルヤハ狀況ニ依ルモノトス

第四百九十二 制毒ハ制毒目的、準備ノ爲使用シ得ル時間、明暗ノ度等ニ依リ制毒ノ要領ニ差異アルモノトス

第四百九十三 第四百五十五乃至第四百五十七、第四百六十八本節ニ之ヲ準用スルモノトス

第四百九十四 火戦ニ任ズル部隊ノ爲制毒作業ヲ實施スルニ方リテハ野戦瓦斯隊指揮官ハ配屬又ハ協同部隊ト連絡シ作業掩護隊ノ配置、敵ノ撤毒地掩護部隊ノ驅逐、制毒作業ヲ妨害スル敵ニ對スル制毒等ニ關シ周到ナル準備ヲ整ヘ以テ好機ニ投ジ迅速ニ作業ヲ敢行スルヲ要ス

第四百九十五 野戦瓦斯隊指揮官ハ制毒ニ方リ狀況ノ緩急ニ應ジ左記事項

制毒 制毒指揮

0250

制毒 標準指針

中必粟ノ事項ニ關シ命令スルモノトス

協同部隊又ハ制毒地域

制毒重點

制毒要領

制毒時期

使用面粉量及其ノ補充

制毒終了後ノ行動

掩護及援助

其ノ他制毒ノ準備及實施上特ニ必要ナル事項等

第四百九十六 野戰瓦斯隊指揮官ハ制毒實施ニ方リテ部下部隊ノ制毒計畫

及實施ノ狀況ヲ觀察シ適時所要ノ命令ヲ下達シ或ハ控置兵力及資材ヲ適切

ニ運用シ以テ統一アル制毒ヲ實施スルコト緊要ナリ

第四百九十七 夜間ノ制毒作業ハ隱密ニ實施シ企圖ノ秘匿ニ勉ムルヲ要ス

11011

然レ下モ状況ノ推移ニ伴ヒ強行作業ニ轉移セザルベカラザル場合少カラザルヲ以テ常ニ之ガ準備ニ缺クル所ナキヲ要ス

第四百九十八 空間敵ノ火制下ニ於テ制毒作業ヲ敢行スル場合ニ於テハ作業ヲ妨害スル敵ヲ制壓シ或ハ煙幕ヲ利用シ隊形、歩度ノ選擇、地形ノ利用等ヲ適切ニシ速カニ作業ヲ實施スルモノトス

第四百九十九 野戰瓦斯隊ハ隨時隨處ニ行ハルベキ瓦斯雨下又ハ瓦斯彈ニ依ル撥毒地域ノ制毒ニ任ズルコト屢、ナルヲ以テ新クノ如キ顧慮アル場合ニ於テハ狀況計ス限リ適時之ニ應ジ得ルノ準備ヲ整フルト共ニ制毒ノ實施ニ方リテハ作業ヲシテ狀況ニ即應セシムルコト緊要ナリ

第五百 野戰瓦斯隊(甲)ハ狀況特ニ地形ニ依リ車輛ニ依ル消毒ノ外手消其ノ他有ユル手段ヲ盡クシテ制毒ヲ實施スルヲ要スルコトアリ

第五百一 野戰瓦斯隊指揮官ハ常ニ現地應用資材ノ收集利用ニ勉メ制毒能力ノ増強ニ資スルコト緊要ナリ

制毒 制毒路、制毒帯、制毒點構成ノ一般要領

二〇四

應用制毒資材ノ收集整備ハ成ルベク配屬部隊指揮官ノ統制ノ下ニ之ヲ行フ
ヲ可トス

第四章 制毒路、制毒帯、制毒點

構成ノ一般要領

第五百二 制毒ハ主トシテ我が攻撃重點正面ニ之ヲ實施シ以テ攻撃力ノ増
大ニ資スベキモノトス

第五百三 制毒ハ其ノ目的ニ合スル如ク實施スルヲ以テ本旨トシ徒ラニ形
式ニ拘泥シ若クハ巧緻ニ互ルガ如キハ敵ニ之ヲ戒メザルベカラズ

第五百四 制毒ニ方リテハ撤毒地ノ價值ヲ判斷シ制毒目的、制毒資材、制
毒ノ效果ヲ利用スル部隊ノ防毒具ノ状態等ニ基キ制毒路、制毒帯、制毒點
ノ構成要領ヲ之ニ適應セシムルコト緊要ナリ

第五百五 制毒ノ爲メ面粉消毒及爾他ノ制毒方法ヲ併用スル場合ニ於テハ通常重要ナル方面ニ對シテ面粉ヲ用フルヲ有利トス然レドモ面粉ハ氣温ニ依リテハ消毒ノ效果必ズシモ十分ナラザルコトニ留意スルヲ要ス又面粉ノ散布濃度ハ毒效力、制毒目的ニ適應セシムルコト必要ナリ

地表面ノ状態、氣象特ニ風向之ヲ許セバ燒夷ニ依リ制毒目的ヲ達成スルコトアリ然レドモ燒夷ハ時トシテ廣範圍ニ互リ影響ヲ及スコトアルヲ以テ高級指揮官ノ企圖ニ基キ實施スルヲ通常トス

時トシテ除土、除雪等ノ方法ニ依ルヲ可トスルコトアリ

第五百六 制毒路、制毒帯、制毒點ハ利用部隊ノ爲メ停止地點及其ノ進路ニ對シ構成スルモノトス而シテ火戰ニ任ズル部隊ノ停止ノ爲メハ有利ニ射撃ヲ實行シ得ル地點ヲ、爾他ノ目的ノ爲メハ敵火ニ對シ安全ナル位置ニ之ヲ選定スルヲ可トス

第五百七 夜間檢毒地域ヲ通過スル部隊及晝間ト雖モ敵火ノ顧慮少キ撤毒

制毒路、制毒帯、制毒點構成ノ一般要領

地域ヲ通過スル部隊ノ爲ニハ制毒路ヲ構成スルヲ有利トス

第五百八 制毒路ノ數、幅員、配置ノ要領ハ利用部隊ノ撤毒地域通過時期及部署ニ依リ差異アルモ夜間隱密通過ノ爲ニハ幅員小ナル多數ヨリモ少數ナルモ幅員十分ナルヲ有利トシ晝間敵火ノ下ニ於ケル部隊通過ノ爲ニハ幅員大ナルモノ少數ヨリモ幅員小ナルモノ多數ヲ構成スルヲ有利トス

第五百九 火戰ニ任ズル部隊ノ爲ノ制毒ハ徒歩兵ニ在リテハ消毒帶若クハ横方向消毒點ヲ有利トシ狀況特ニ資材之ヲ許セバ消毒路、消毒帶ヲ併用シテ井桁狀ト爲スヲ以テ更ニ有利ナリトス而シテ其ノ配置ハ専ラ戰團部署ニ適應セシメ此等相互間ノ距離ハ概ネ火線分隊ノ一躍進距離ニ、其ノ間隔ハ火線分隊ノ相互ノ間隔ニ略、一致セシムルヲ有利トス

重火器障地、砲兵觀測所等ノ爲ニハ各、其ノ特性ニ鑑ミ戰團配置ニ適應セシムルコト緊要ナリ

第五百十 敵火ノ下ニ於テ射撃ヲ行フコトナク撤毒地域ヲ通過スル部隊ノ

爲ノ制毒ハ撤毒地域敵ニ近キ場合ニ於テハ消毒帶若クハ横方向ノ消毒點ヲ、逐次敵ト離隔スルニ從ヒ消毒路又ハ縦方向ノ消毒點ヲ有利トス而シテ
 第五百九ノ如ク井桁狀ニ配置スルヲ得バ更ニ有利ナリトス
 第五百十一 函粉ニ依ル制毒ハ動モスレバ敵ニ對シ著明ナル目標ヲ呈シ敵火ヲ誘致スルニ至ル虞アルヲ以テ重要ナル地點ハ爲シ得ル限り遮蔽ニ留意スルヲ要ス

第五章 補充

第五百十二 補充ニ關シテハ第二部第一篇第五章ニ準ズルモノトス

例 補充

1104

0256

0000

東洋館

1004

附録

其ノ一 觀兵ノ制式

野戰瓦斯隊(甲)

- 第一 觀兵式ニ於テハ撤(消)車ハ各窓扉ハ總テ閉鎖シ自動車ハ幌ヲ疊ミ乘員ハ背裝ヲ卸下スルモノトス
- 第二 觀兵式ニ於テハ各小隊第四分隊及段列ハ編成セズ又秘密保持ヲ要スル場合ニ於テハ後車ヲ離脱スルモノトス
- 第三 閱兵式ノ隊形(附録附圖第一)ハ併立縱隊若クハ横隊トシ分列式ノ隊形(附録附圖第二)ハ併立縱隊ヲ用フ
- 第四 分列行進ヲ起サシムルニハ中隊長ハ「前進」ノ記號ヲ爲ス

附録 觀兵ノ制式

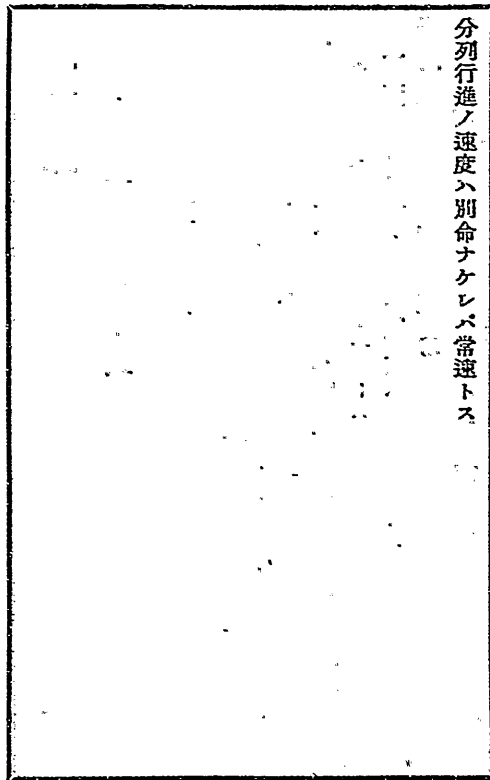
0258

0525

附録 羈兵ノ制式

分列行進ノ速度ハ別命ナケレバ常速トス

三〇



野戰瓦斯隊(乙)

第一 閱兵式ノ隊形ハ横隊ヲ用フ但シ小隊長ハ分隊長ト同線ニテ各小隊右翼分隊長ノ右方四歩ニ位置シ中隊長ハ右翼小隊長ノ右方四歩ニ位置スルモノトス

第二 觀兵式ニ於テハ指揮班及段列ハ之ヲ編成セザルモノトス而シテ編成ニ加ラザル人員ハ列外小隊トナリ左翼小隊ノ後方十六歩ニ位置スルモノトス

秘密保持ヲ要スル場合ニ於テハ資材箱ヲ駄載セザルモノトス

第三 分列式ノ隊形ハ小隊ノ横隊ヲ重疊シタル隊形(附録附圖第三)ヲ用

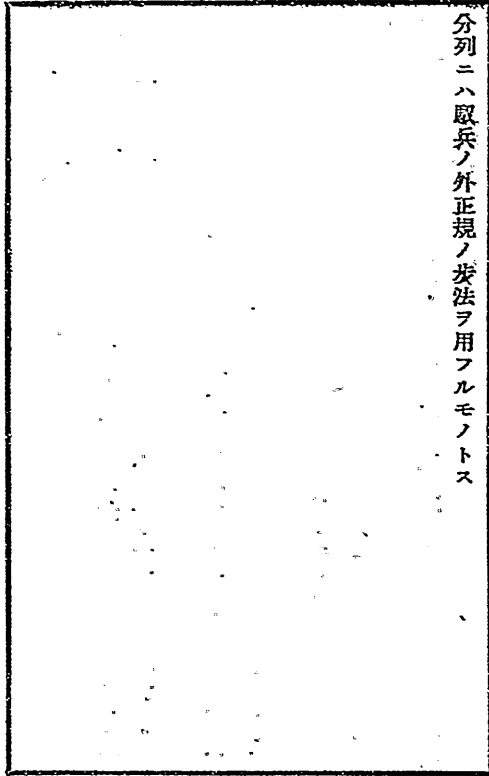
第四 分列行進ヲ起サシムルニハ中隊長ハ左ノ號令ヲ下ス

各列に前へ進メ

附録 觀兵ノ隊式

0260

五



附録 義兵ノ録式
分列ニハ 義兵ノ外正規ノ炭法ヲ用フルモノトス

二三

其ノ二 輕裝甲車ノ射撃

- 第一 射撃教育ハ先ヅ地上ニ於テ其ノ要領ヲ會得セシメタル後之ヲ車上ニ移シ漸次運動ト連繫セシムルモノトス
 - 第二 射撃動作特ニ裝填、故障排除並ニ銃塔ノ操作ハ射撃效力ノ發揚ニ影響スル所頗ル大ナリ而モ此等ノ動作ハ狹隘暗黒ニシテ動搖激シキ車内ニ於テ爲サザルベカラザルヲ以テ教育ニ方リテハ常ニ茲ニ著意シテ訓練スルコト緊要ナリ
 - 第三 射撃姿勢ハ車輛ノ動搖ニ對シ照準ヲ保持スル爲特ニ堅確ニシテ疑ルコトナク自然ノ状態ニ在ルヲ要ス
 - 第四 射撃用意ハ通常停止間ニ於テ行フモノトス
- 射撃用意ヲ爲スニハ射手ハ車外ヨリ銃口蓋ヲ脱シ之ヲ物入ニ收メ防彈器裝着ノ確否及眼鏡口ヲ點檢シタル後乗車シ銃ヲ縛著ヲ解キ其ノ取附ノ確否、

附錄 輕裝甲車ノ射撃

二二三

眼鏡ノ異狀ノ有無、照準線ノ正否、油槽ノ油量、銃尾機關ノ機能及結合ノ良否等ヲ點檢シ、藥莢受ヲ裝著シ、銃ヲ縛著シ、打殼拔及槌ヲ帶革ニ差シ、品莖ハ之ヲ身邊ニ置キ爲シ得レバ、規盤子分離彈倉及銃塔ノ旋回狀態ヲ點檢シ、操作終レバ舊位ニ復ス。

藥莢受ヲ裝著スルニハ左手ヲ以テ藥莢受駐栓ヲ引キ、右手ヲ以テ藥莢受ヲ銃尾ノ相當孔ニ裝入シ、左手ノ駐栓ヲ緩メ之ヲ駐止ス。次デ左手ヲ以テ彈匣子受ヲ銃尾ノ左方ヨリ相當孔ニ挿入スルモノトス。

第五、射撃用意ノ解除ハ通常停止間ニ於テ行フモノトス。射撃用意ヲ解クニハ第四ト概ネ反對ノ操作ヲ爲ス。

第六、裝填ヲ爲スニハ射手ハ右手ヲ以テ銃把ヲ握リ、左手ヲ以テ縛著ヲ解キ、銃尾ヲ下ゲ、壓桿ヲ上方ニ起シタル後、彈藥箱ヨリ彈倉ヲ取出シ、之ヲ裝填架ニ裝シ、壓桿ヲ閉テ、左手ヲ以テ確實ニ槓桿ヲ握リ、一舉ニ十分後方ニ引キ、之ヲ舊位ニ復シ、安全裝置ニ爲シタル後、銃ヲ縛著ス。

0263

第七 彈藥ヲ抽クニハ射手ハ右手ヲ以テ銃把ヲ握リ左手ヲ以テ縛著ヲ解キ銃尾ヲ下ガ壓桿ヲ上方ニ起シ右手ノ拇指ヲ以テ彈倉止ヲ壓シ左手ヲ以テ彈倉ヲ次テ兩手ヲ以テ藥莖受ヲ脱シテ受彈座上ノ荷包ヲ取出シ殘彈ナキヤヲ確メタル後左手ヲ以テ壓桿ヲ閉ヂ安全裝置ヲ解キ槓桿ヲ後方ニ引キ之ヲ保持シタル儘引鐵ヲ引キテ遊底ヲ靜カニ前進セシメ銃尾ヲ閉チ銃ヲ縛著ス

第八 射撃開始ニ先ダテ撃方用意ヲ爲ス

撃方用意ヲ爲スニハ射手ハ正面シテ座席ニ腰ヲ掛ケ銃ノ縛著及安全裝置ヲ解キテ右手ヲ以テ銃把ヲ握リ左手ヲ以テ銃塔駐轉機握把ヲ握リテ上體ヲ自然ニ保持ス此ノ際裝填シアラザル時ハ裝填ス

第九 据銃、照準、射撃方法並ニ故障ノ豫防及排除ハ戰車輕裝甲車射撃教育規定ニ據ル

第十 撤消車ノ射撃ハ停止射撃及行進射撃トス

附錄 輕裝甲車ノ射撃

二二五

第十一 射撃ハ通常發射毎ノ點射トシ狀況ニ依リ連続點射或ハ雜射ヲ行フ
コトアリ

發射毎ノ點射ハ一點ヲ照準シテ發射スルモノニシテ一回ニ連続發射スベキ
彈數ハ目標ノ景況、射距離、車輛ノ狀態並ニ射手ノ伎倆等ニ依リ異ナルモ
通常三乃至五發ヲ基準トス

連続點射ハ一點ヲ照準シ連続發射スルモノトス
雜射ハ照準線ヲ左右ニ移動シツツ射撃スベキ正面ニ射彈ヲ撒布スル如ク連
續發射スルモノトス

第十二 銃塔ヲ操作スルニハ右手ヲ以テ銃ヲ保持シタル儘左手ヲ以
テ銃塔駐轉機握把ヲ握リ之ヲ水平ニシテ銃塔ノ緊定ヲ緩メ所望ノ方向ニ旋
回シ握把ヲ垂直ニシテ之ヲ緊定ス

第十三 射撃ヲ中止セントスルトキハ引鐵ヲ故チ彈藥ヲ補ヒ次發ノ用意ヲ
爲ス而シテ此ノ間ヲ利用シ爲シ得ル限り彈藥ヲ取り易キ位置ニ整備スルモ

ノトス
 第十四 射撃ヲ止メシムルニハ引鐵ヲ放チ安全裝置ヲ爲シタル後銃ヲ縛著ス
 第十五 射撃ハ自衛ノ目的ヲ以テ行フヲ本則トス
 第十六 自衛ノ爲行フ射撃ハ至近ノ目標ニシテ自己ニ最モ危害ヲ與フルモノニ對シテ行フモノトス
 第十七 射撃ニ方リテハ射手ハ沈著ニシテ自ラ好機ヲ求メテ發射シ迅速ニ效果ヲ擧グルコトニ勉ムルモノトス
 第十八 射撃ヲ行フニハ射手ハ爲シ得レバ豫メ操縦手ニ對シ射撃目標、射撃方法等ヲ告知スルヲ可トス
 操縦手ハ分隊長ノ指示ニ從ヒ適切ナル操縦ヲ行ヒ爲シ得レバ射彈觀測ノ結果ヲ報告スル等射撃ト運動トノ連繫ヲ緊密ナラシムルモノトス
 第十九 撤(消)車ハ携帶彈藥ノ補充困難ナルヲ以テ常時之ヲ節用シ緊要ノ

附錄 輕裝甲車ノ射撃

9970

野戦瓦斯隊教練規定 終

時期ニ不足ナカシムルヲ要ス

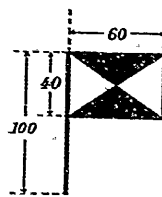
附録 輕裝甲車ノ射撃

二一八

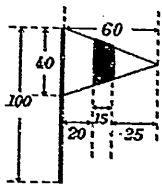
旗官揮指

備考

- 一、第二小隊長以下ノ旗ハ第一小隊長ノ旗ニ準ズ但シ赤線ノ數ハ其ノ小隊長ノ番號ニ應ズルモノトス
- 二、旗竿ハ適宜伸縮スルコトヲ得
- 三、數字ノ單位ハ種トス



中隊長

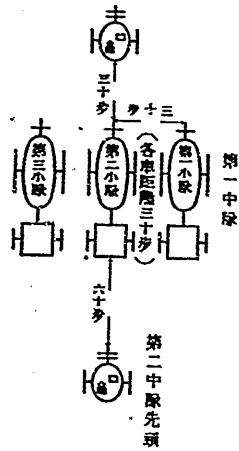


第一小隊長

形隊ノ式列分

備考

- 一、中隊長ハ中隊ノ中央前ニ、小隊長車ハ小隊ノ先頭ニ、兩隊ノ分隊ハ其ノ後方ニ連列順序ニ位置スルモノトス
- 二、敬禮ハ中隊毎ニ之ヲ行ヒ大隊長ハ受禮者ノ許ニ行クコトナシ
- 三、中(小)隊長ハ中(小)隊長旗ヲ、各車長ハ車長旗ヲ、番直ニ掲ゲ右方約四十五度ニ倒シテ敬禮ス撥鞍手ハ定位ニ在リテ姿勢ヲ正ス
- 四、各隊毎ニ各車ノ距離間隔ハ之ヲ伸縮スルコトヲ得
- 五、各車ヒゲル府校以下ハ分列式ニ參與セザルモノトス



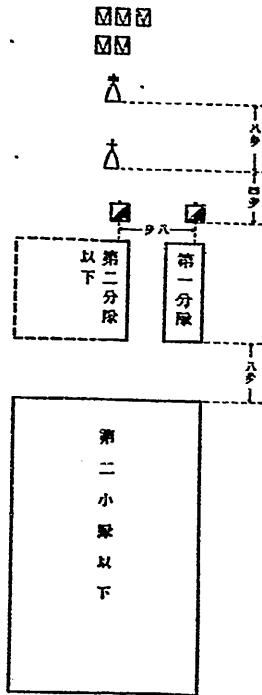
0271

形隊、式列分

附録附圖第三

備考

- 一、中隊長ハ中隊ノ中央前ニ位置スルモノトス
- 二、本圖ニ規定ミル以外、各分列式ニ參與スルコトナリ
- 三、隊間距離ハ之ヲ伸縮スルコトアリ



◻ 中隊長
 ◻ 副中隊長
 ◻ 隊員